

令和8年度

教育行政の施策概要



鹿児島県教育委員会

目 次

	ページ
はじめに	1
I かがしま未来創造ビジョン・鹿児島県教育大綱	2
II 鹿児島県教育振興基本計画	
1 基本目標	3
2 本県教育の取組における視点	6
3 本県教育施策の方向性	8
4 基本目標と施策の関連図	10
5 令和8年度教育委員会予算の概要	11
III 令和8年度の施策概要	
1 主な事業	12
2 全39施策の事業概要	14
3 計画の実現に向けた事業概要	90

(※ 施策の体系は、P10の「基本目標と施策の関連図」を御覧ください。)

はじめに

県教育委員会では、国の教育振興基本計画を参酌し、また、「かごしま未来創造ビジョン」や県教育大綱等を踏まえ令和6年2月に策定した「第4期鹿児島県教育振興基本計画」に基づき、10年後を見据えた本県教育の目指す姿の実現に向けて各種施策に取り組んでいます。

この計画では、基本目標に「夢や希望を実現しともに未来を創る鹿児島の人づくり～誰もが幸せや豊かさを感じられる地域や社会を目指して～」を掲げ、「知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、未来の社会の創り手となる人間」「伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養い、互いに認め、高め合い、生涯を通じて幸せや生きがいを感じながら意欲的に自己実現を目指す人間」を育成するため、令和6年度から5年間に取り組む施策として、5つの方向性に基づき、39の施策を体系化しております。

ここに、基本目標の実現に向けて、令和8年度に取り組む施策や事業を示し、本県教育の充実と発展を目指して、これらの施策や事業を積極的に推進します。

(※ 県教育振興基本計画の施策体系に基づき、他部局所管事業についても掲載しています。)

I かごしま未来創造ビジョン・鹿児島県教育大綱

かごしま未来創造ビジョン(改訂版) (令和4年3月策定)

おおむね10年後を見据えた中長期的な観点から、鹿児島を目指す姿や施策展開の基本方向などを示すもの

【鹿児島を目指す姿】

誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島

- 1 未来を拓く人づくり
～県民一人ひとりが地域に誇りを持ち多彩な個性と能力を発揮する社会へ～
- 2 暮らしやすい社会づくり
～誰もが生涯を通じて健やかで安心して心豊かに暮らせる社会へ～
- 3 活力ある産業づくり
～地域の魅力・資源を生かした産業の振興が図られ、将来を担う新たな産業が創出されている活力ある社会へ～

(教育関連部分抜粋)

1 未来を拓く人づくり

～県民一人ひとりが地域に誇りを持ち多彩な個性と能力を発揮する社会へ～

地域や各種産業を支える人材、新たな未来を切り拓いていく人材の確保・育成に取り組めます。また、郷土の発展を支えようとする人材を育成するため、郷土教育の充実を図るとともに、誰もが個性と能力を十分に発揮できる社会を目指します。

【施策展開の基本方向】

- IV 地域を愛し世界に通用する人材の育成、文化・スポーツの振興
- 1 子どもの夢や希望を実現する教育環境づくり
 - 2 鹿児島の発展を牽引する人材の育成
 - 3 文化の薫り高いふるさとかごしまの形成
 - 4 「する・みる・ささえる」スポーツの振興

鹿児島県教育大綱 (令和6年2月策定)

地教行法第1条の3に基づく、本県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱

【基本目標】 夢や希望を実現し ともに未来を創る鹿児島の人づくり

【基本方針】

1 本県教育の取組における視点

- (1) 時代を超えて変わらない価値のあるものの尊重
- (2) 社会の変化を乗り越え、未来の社会の創り手となる資質・能力の育成
- (3) 生涯を通じて一人一人が幸せや生きがいを感じることでできる教育環境づくり
- (4) 学校・家庭・地域・企業等の積極的な連携・協働
- (5) 郷土の教育的な伝統や風土の活用と未来への継承
- (6) 教育デジタルトランスフォーメーション (DX)の推進

2 本県教育施策の方向性

(1) お互いの人格を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

(2) 未来の社会の創り手となる資質・能力を伸ばし、社会で自立する力を育む教育の推進

(3) 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進

(4) 地域全体で子供を守り育てる環境づくりの推進

(5) 生涯を通じて学び活躍できる環境づくりとスポーツ・文化の振興

Ⅱ 鹿児島県教育振興基本計画

1 基本目標

《基本目標》

夢や希望を実現し ともに未来を創る鹿児島の人づくり
～誰もが幸せや豊かさを感じられる地域や社会を目指して～

《具体的人間像》

- 1 知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、未来の社会の創り手となる人間
- 2 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養い、互いに認め、高め合い、生涯を通じて幸せや生きがいを感じながら意欲的に自己実現を目指す人間

本県は、日本列島の南に位置するという地理的条件から、古くから中国や韓国、東南アジアをはじめ世界の国・地域の文化と接しながら、独自の歴史や文化を作り上げてきました。「郷中教育」や「日新公じっしんこういろは歌」などの教えもあり、日本の黎明期をリードした西郷隆盛や大久保利通など、多くの偉人も輩出してきています。

また、豊かな自然、日本の近代化をリードした歴史、地域に根ざした個性あふれる文化、全国に誇れる農林水産業等の産業、様々な分野で活躍している人材など、教育的資源も豊富です。

さらに、教育を大事にする伝統や風土があり、地域全体で子供たちを育てるといった伝統的な地域の教育力も残っています。

平成31年2月に策定した第3期県教育振興基本計画では、「夢や希望を実現し未来を担う鹿児島の人づくり～あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり～」を基本目標に掲げ、「知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、生涯にわたって意欲的に自己実現を目指す人間」、「伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養い、これからの社会づくりに貢献できる人間」の育成に取り組んできました。

また、令和5年6月16日に閣議決定された国の「新たな教育振興基本計画」では、教育基本法を普遍的な使命としつつ、新たな時代の要請を取り入れていく「不易流行」の考え方を基調とし、総括的な基本方針として「持続可能な社会の創り手の育成」「日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上」を掲げ、2040年以降の社会を見据えた教育政策の在り方が示されました。

このようなことを踏まえ、第4期県教育振興基本計画では、基本目標を「夢や希望を実現し ともに未来を創る鹿児島の人づくり～誰もが幸せや豊かさを感じられる地域や社会を目指して～」とします。

夢や希望には、将来のなりたい自分の姿などを思い描く長期的なものや、日々の生活を振り返る中で、自分が目指す姿を思い描く短期的、中期的なものがあります。現代は将来の予測が困難な時代であると言われる中であって、子供たちのみならず、県民一人一人が、それぞれの夢や希望をもち、その実現に向けて、意欲をもって挑戦できる環境を整えていくことは、ますます重要性を増すことが考えられます。

夢や希望の実現には、規範意識、倫理観、感謝や思いやりの心、他者の痛みを理解する優しさ、生命を大切に作る心、自己肯定感・自己有用感などの豊かな心や、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、未来の社会の創り手となる資質・能力を育てていく必要があります。

また、一人一人が夢や希望の実現に向けて意欲的に挑戦し続ける中で、誰もが幸せや豊かさを感じられる地域や社会を創ることのできる、鹿児島に誇りをもった人材育成も進めていく必要もあります。

これらのことを踏まえながら、「知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、未来の社会の創り手となる人間」「伝統と文化を尊重し、それらを育ててきた我が国と郷土を愛する態度を養い、互いに認め、高め合い、生涯を通じて幸せや生きがいを感じながら意欲的に自己実現を目指す人間」の育成に取り組みます。

1 知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、未来の社会の創り手となる人間

将来の予測が困難な時代において、持続可能な社会を維持・発展させていくためには、学び続ける人材の育成が求められています。そのためには、学習者を主体として、他者との協働や課題解決型学習などを通じ、深い学習を体験し、自ら思考することを重視する考え方は、初等中等教育のみならず、生涯学習や社会教育においても重要です。

また、子供たちは、社会生活を送る上で、豊かな情操や規範意識、自他の生命の尊重、他者への思いやり、対面でのコミュニケーションを通じて人間関係を築く力、困難を乗り越え、物事を成し遂げる力、公共の精神等を身に付ける必要があります。特に、本県の子供たちは、「学力等調査」で自己肯定感が低かったことから、これを高めていくことが必要です。

さらに、体力は人間の活動の源であり、健康の維持といった身体面のほか、意欲や気力といった精神面の充実にも大きく関わっています。一人一人が、充実した人生を送ることができるよう、生涯にわたってスポーツに親しむ習慣や体力・運動能力を身に付けさせるとともに、心身の健康づくりに必要な知識、習慣も身に付けさせることが必要です。

これらのことを踏まえ、一人一人が自分のよさや可能性を認識し、個々の状況に応じて知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、そのよさや持てる力を発揮し、多様な人々と協働しながら未来の社会の創り手となる人間の育成を目指します。

2 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養い、互いに認め、高め合い、生涯を通じて幸せや生きがいを感じながら意欲的に自己実現を目指す人間

グローバル化する社会の中で、グローバルな立場から社会の持続的な発展を生み出し、地球規模の諸課題を自らに関わる問題として捉え、世界を舞台に国際的なルール形成をリードしたり、社会経済的な課題解決に参画したりするグローバル・リーダーや、グローバルな視点をもって地域社会の活性化を担う人材の育成を推進していくことが必要です。

そのためには、日本や外国の文化を理解し、日本への愛着や誇りを持ちつつ、グローバルな視野で活躍するための資質・能力の育成が求められており、国際的な交流活動の推進や外国語教育の充実、国際理解教育の推進などを図っていく必要があります。

さらに、個人の自発的意思に基づいて行うことを基本とし、教養を高め、多様な人々と出会い、自己実現を図る学習は、長寿化が進展する人生 100 年時代において、誰もが幸せや豊かさを感じられる社会の実現につながる重要な意義を有するものであります。そのためには、誰一人取り残されず、相互に多様性を認め、高め合いながら年齢を問わず学び続けことができる教育環境を整備していくことが必要となります。

これらを踏まえ、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養い、誰一人取り残されず、相互に多様性を認め、高め合いながら年齢を問わず学び続け、生涯を通じて幸せや生きがいを感じながら意欲的に自己実現を目指す人間の育成を目指します。

2 本県教育の取組における視点

基本目標「夢や希望を実現し ともに未来を創る鹿児島の人づくり～誰もが幸せや豊かさを感じられる地域や社会を目指して～」の実現に向けて、次の視点から施策の推進を図ります。

(1) 時代を超えて変わらない価値のあるものの尊重

教育には、「不易（時代を超えて変わらない価値のあるもの）」と「流行（時代の変化とともに変えていく必要があるもの）」があると言われています。個人の尊重、自律心と責任感、他人を思いやる心、公共の精神、規範意識、伝統や文化を大切にする心、幅広い教養や健やかな体などの豊かな人間性は、いつの時代の教育でも大切に育んでいかなければならないもの（「不易」）であり、施策の推進に当たって重要視されるものです。

(2) 社会の変化を乗り越え、未来の社会の創り手となる資質・能力の育成

これからの時代は、社会の変化にいかに対処していくかという受け身の観点に立つのであれば難しい時代になると言われています。社会の変化を前向きに受け止め、デジタル化が進展する中にあっても、人間ならではの感性を働かせて、社会や人生、生活をより豊かなものにする必要（「流行」）があります。

そのためには、一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、未来の社会の創り手になることができるよう、その資質・能力を育成していきます。

とりわけ、人工知能（AI）、ビッグデータ等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられた Society5.0 においては、「主体性」「リーダーシップ」「創造力」「課題設定・解決能力」「論理的思考力」「表現力」「チームワーク」等の資質・能力を備えた人材が期待されています。また、誰もが幸せや豊かさを感じられる地域や社会の創り手となるためには、「協働性」「利他性」「多様性への理解」「社会貢献意識」「自己肯定感」「社会的情動スキル」「非認知能力」を育成する視点も重要となります。

(3) 生涯を通じて一人一人が幸せや生きがいを感じることでできる教育環境づくり

一人一人が幸せや生きがいを感じるようにするためには、誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す学びを、学校をはじめとする教育機関の日常の教育活動に取り入れていく必要があります。

また、子供たちが幸せや生きがいを感じられるためには、学校教育を担う教師が、保護者や地域との信頼関係を築くことができ、心理的安全性が保たれ、良い労働環境にあることが大切です。

さらに、本県においては、離島や中山間地域等の地理的条件にかかわらず、どこでも充実した教育が受けられるようにすることも必要です。

これらを実現するため、必要な教育環境づくりに努めます。

(4) 学校・家庭・地域・企業等の積極的な連携・協働

学校は、一人一人の個性に応じて、基礎的・基本的な知識・技能や学ぶ意欲をしっかり身に付けさせるとともに、情操を豊かにする教育や健やかな体を育む教育を行い、児童生徒の能力を最大限に伸ばしていく役割があります。

家庭は、教育の原点であり、家庭教育は、全ての教育の出発点です。子供に社会生活を送るために必要な習慣を身に付けさせ、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図ることが求められます。

地域は、社会の基本的単位である家庭を支えるとともに、大人や異年齢集団の中での交流を通した様々な体験の積み重ねによる人間性の育成など、子供が家庭・地域の中で役割を果たし、自立した個人として成長する上で、非常に大きな役割を担っています。

企業は、学校等と連携した職業教育^{*1}・キャリア教育^{*2}への協力、企業としての教育力や資源を活用した取組、社員のワーク・ライフ・バランス^{*3}の確保のための取組等により、社会的責任として、地域社会の教育力向上のため、役割を担っていくことが求められています。

本県教育における学校、家庭、地域、企業等の役割を再度見直し、まずは、それぞれの役割を確実に果たすとともに、積極的に他に働きかけて相乗効果を高めるなど、連携や協働を図りながら施策を推進します。

(5) 郷土の教育的な伝統や風土の活用と未来への継承

本県には、教育を大事にする伝統や精神、風土があり、豊かな自然、日本の近代化をリードした歴史、地域に根ざした個性あふれる文化、全国に誇れる農林水産業等の産業、様々な分野で活躍している人材など、教育的資源が豊富であり、また、地域全体で子供たちを育てるといった伝統的な地域の教育力も残っています。

これらを有効活用するとともに、未来への継承を図ります。

(6) 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

デジタル化には一般的に、第1段階として紙の書類をデジタル化するなどの「デジタルタイゼーション」、第2段階として業務プロセスをデジタル化するなどの「デジタルライゼーション」、第3段階としてデジタル化で業務、組織を変革することを目指す「デジタルトランスフォーメーション」があります。

教育分野においては、GIGAスクール構想による1人1台端末の実現をはじめICT環境整備が進展してきたところです。これにより、第1段階の準備は整ったところであり、今後、第2段階への移行を着実に進め、ICTを効果的に活用した探求的な学びなどの第3段階を目指します。

1 職業教育：児童生徒が働くことの意識や専門的な知識・技能を習得することの意義を理解し、将来の職業を自らの意思と責任で選択できるよう、専門的な知識・技能を習得させていく教育。

2 キャリア教育：児童生徒一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。

3 ワーク・ライフ・バランス：仕事と生活を調和させることで、働く人が仕事上の責任と、仕事以外の生活でやりたいことや、やらなければならないことの両者を無理なく実現できる状態のこと。

3 本県教育施策の方向性

「1 本県教育の取組における視点」を踏まえ、基本目標の実現のために、今後5年間に取り組む施策の方向性を以下の5点に整理します。

I お互いの人格を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

お互いの人格を思いやりの気持ちを持って尊重し、基本的な生活習慣や人としてしてはならないことなど、社会生活を送る上でもつべき最低限の規範意識を養うとともに、法や決まりを遵守し、適切に行動できる人間を育てることが重要です。また、子供たちが、安心して学習に取り組むためには、所属する集団の仲間による支援や助言等が不可欠です。

本県には、「負けるな、嘘を言うな、弱い者をいじめるな」など、困難に直面したときにあきらめずに努力することや他人を思いやる心を持たなければならないという教えもあります。

将来の予測が困難な時代を生き抜いていく上で、子供たちの規範意識を養い、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性や心身共に健康で幸福な生活を営むことができる資質・能力を育成する教育を推進します。

II 未来の社会の創り手となる資質・能力を伸ばし、社会で自立する力を育む教育の推進

子供たちが、基礎・基本を確実に身に付けるとともに、自ら学び、考え、主体的に判断、行動し、よりよく問題を解決する能力を育む教育を推進します。

また、伝統や文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うことや望ましい勤労観・職業観を身に付けさせます。

さらに、環境教育や福祉教育などの社会の変化に対応した教育や、子供一人一人の自立と社会参加に向けて障害の状態や教育的ニーズに応じる特別支援教育を推進します。

III 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進

学校において、それぞれの教育の目標が達成されるためには、学校や教職員がその役割を十分に果たし、「信頼される」学校づくりを進める必要があります。

また、地方創生の観点から、「次世代の学校」として、学校と地域が連携・協働し、学校を核として地域を活性化していくことが不可欠であるとの考えから、「地域とともにある学校」づくりが求められています。

さらに、信頼される学校づくりの推進に当たっては、校長のリーダーシップの下、学校における働き方改革の推進や教職員の更なる資質向上、安全・安心な環境づくりなどにも取り組みます。

IV 地域全体で子供を守り育てる環境づくりの推進

教育の振興には、地域の担う役割は大きいものがあります。本県には、「人の子も我が子も地域の子」という言葉があるように、子供を地域で育てるといふ風土が、現在でも残っています。

今後も、全ての県民が地域全体で子供を守り育てるための取組を推進します。

V 生涯を通じて学び活躍できる環境づくりとスポーツ・文化の振興

子供から大人まですべての県民が、生涯を通じてあらゆる機会にあらゆる場所で学ぶことができ、その成果を適切に生かし活躍できることは、幸せで豊かな人生を送ることにもつながります。

また、スポーツ活動は、心身両面にわたる健康の保持増進に資するものであり、県民誰もが、それぞれの関心や適性に応じて、生涯にわたり「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができる環境づくりに取り組む必要があります。

さらに、郷土の伝統文化や文化財を守り育て、様々な芸術に親しむことは、ふるさとの理解や豊かな感性の涵養に必要なものです。

4 基本目標と施策の関連図

2040年以降の社会を見据えた教育の姿

《基本目標》

夢や希望を実現しともに未来を創る鹿児島の人づくり
～誰もが幸せや豊かさを感じられる地域や社会を目指して～

《具体的人間像》

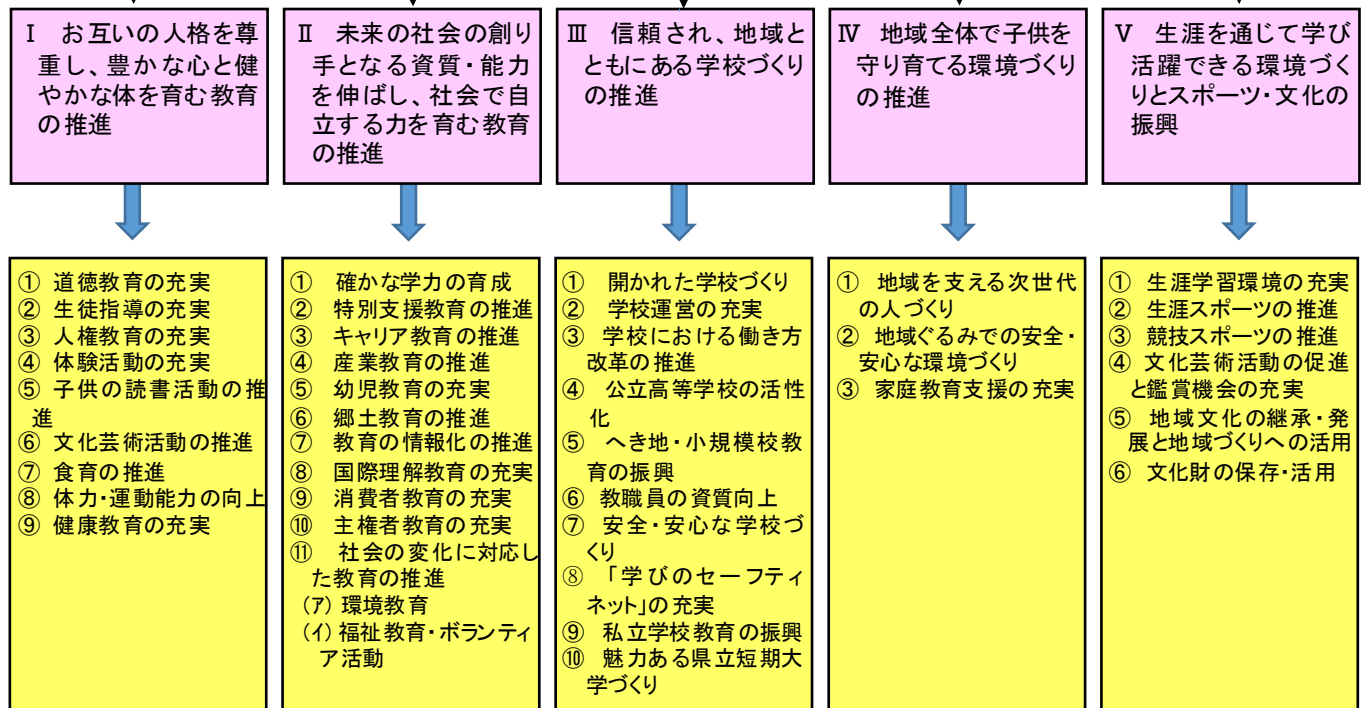
- 1 知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、未来の社会の創り手となる人間
- 2 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養い、互いに認め、高め合い、生涯を通じて幸せや生きがいを感じながら意欲的に自己実現を目指す人間

令和6年度から5年間に取り組む施策

《本県教育の取組における視点》

- 1 時代を超えて変わらない価値のあるものの尊重
- 2 社会の変化を乗り越え、未来の社会の創り手となる資質・能力の育成
- 3 生涯を通じて一人一人が幸せや生きがいを感じることでできる教育環境づくり
- 4 学校・家庭・地域・企業等の積極的な連携・協働
- 5 郷土の教育的な伝統や風土の活用と未来への継承
- 6 教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

《本県教育施策の方向性》



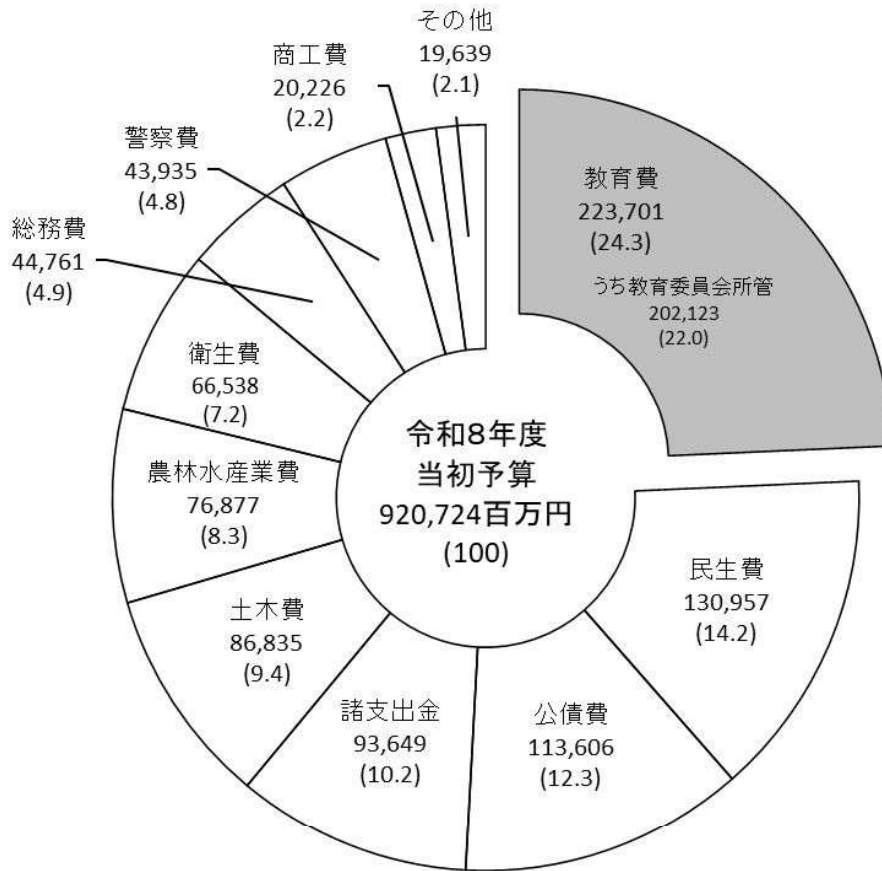
計画の実現に向けて

- 教育行政の着実な推進
- 学校・家庭・地域・企業等との連携・協働
- 関係部局・関係機関との連携・協力
- 市町村との連携・協力
- 国との連携・協力
- ICTの効果的活用
- 計画の進捗状況の確認

5 令和8年度 教育委員会予算の概要

(1) 鹿児島県一般会計当初予算

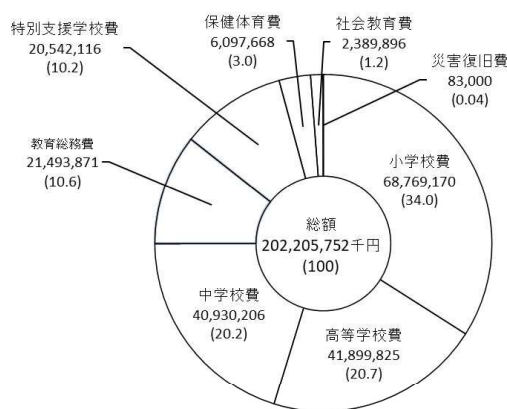
(単位:百万円、()は構成比%)



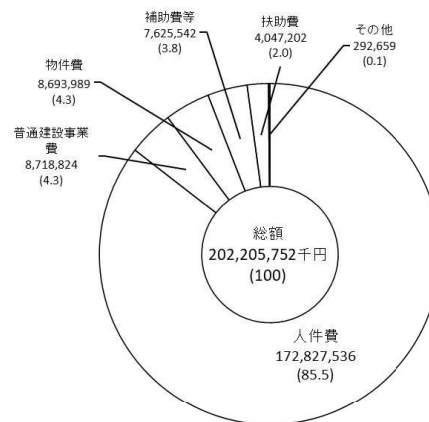
(2) 教育委員会予算の内訳

(単位:千円、()は構成比%)

○ 目的別内訳



○ 性質別内訳



(注) 端数処理のため、合計は内訳の計と必ずしも一致しない。

Ⅲ 令和8年度の施策概要

第4期県教育振興基本計画の基本目標である「夢や希望を実現し ともに未来を創る鹿児島の人づくり～誰もが幸せや豊かさを感じられる地域や社会を目指して～」の実現に向けて、各施策の取組を進めます。

1 主な事業（**新**は新規事業、**拡**は拡充事業）

○ **生徒指導対策総合推進事業**（215,281千円） 【P16】

児童生徒の様々な悩みや課題に対応するため、スクールカウンセラーや臨床心理士等による専門的な知見に基づく教育相談体制の充実を図るなど、総合的な生徒指導対策を推進する。

○ **地域スポーツ・文化活動推進事業**（112,471千円） 【P28】

地域の持続可能なスポーツ・文化活動の環境を整備するため、部活動の地域展開等に向けた市町村への支援等を行う。

○ **未来を創る資質・能力育成事業**（7,539千円） 【P32】

令和の教育改革の理念に基づき、社会の変化を乗り越え、未来の社会の創り手となる生徒の資質・能力の確実な育成を目指す。研究指定校や研究推進員と授業改善の研究、科学技術コンソーシアムの創設と構築、高校生探究コンテスト開催をとおして、教員の指導力や総合的な探究の時間の質の向上を推進する。

拡 **特別支援教育総合推進事業**（40,616千円） 【P35】

教育、福祉、医療、保健、労働等の関係機関と連携し、発達障害を含む障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う特別支援教育を総合的に推進する。

新 **特別支援学校卒業生等ステップアップ支援事業**（20,264千円） 【P35】

特別支援学校卒業生等のうち、様々な理由で一般企業への就職が厳しい者等について、就労支援コーディネーターによる支援のもと、特別支援学校で校務補助員として一定期間雇用し、就労に必要なスキル向上等を図り、一般企業等への就職を支援する。

拡 **かごしま次世代キャリア創造推進事業**（27,847千円） 【P39】

高校生のキャリア形成や県内就職を含む進路選択を支援するため、高校教育課及び県立高校に配置しているキャリアガイダンススタッフによる就職支援を充実させ、これまで主な対象としていた3年生に加え、1・2年生の早期段階から、地域産業と連携した実践的なキャリア教育を推進するとともに、生徒一人一人の適性や希望に応じた進路支援体制を整備する。

新 **県立高校ICT環境整備事業**（145,695千円） 【P46】

県立高校において、生徒の個に応じた学習効果を高める観点から、生徒が自分に合った学習者用タブレット端末を選択の上、自ら管理し学校や家庭で利用できるよう、端末の購入が困難な生徒に対して、購入に要する経費の補助を行う。

○ **鹿児島県公立学校情報機器等整備費補助事業**（1,061,380千円） 【P46】

鹿児島県公立学校情報機器整備基金を活用し、義務教育段階の公立学校における情報機器の更新等を円滑に行うため、共同調達等に係る会議体を設置し、学習者用端末の整備を行うとともに、市町村が行う整備の補助を行う。

○ 「かごしまの先生」人材発掘・活躍サポート推進事業 (6,581 千円) 【P58】

新たな教員志望者を発掘するため、本県の教員として働くことのやりがいや魅力を積極的にPRするとともに、県外での採用試験やブランクのある教職経験者を支援する研修等を行う。

○ 教員採用試験問題作成委託事業 (11,580 千円) 【P60】

学校における更なる働き方改革を推進するため、教員採用選考試験問題の作成業務等の委託を行う。

○ 県立高校の将来ビジョン検討事業 (664 千円) 【P62】

県立高校の将来ビジョン検討委員会からの答申や国の動向を踏まえ、今後の望ましい県立高校の教育の在り方について検討を行い、本県の「県立高校の将来ビジョン」を策定する。

新 鹿児島県公立高等学校等教育改革推進事業 (38,625 千円) 【P62】

高校教育改革を先導する拠点校を設定し、基盤となる連携体制を構築した上で、国が示すアドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援、理数系人材育成支援、多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保の3類型に応じた取組を実施する。

○ 県立高校生徒通学支援事業 (17,313 千円) 【P62】

県立高校における教育に係る経済的負担の軽減を図り、通学費を理由に生徒が希望する学びを諦めることがないように、高額な通学費を負担している生徒などに対して通学費の一部を支援する。

新 日本語指導充実促進事業 (8,423 千円) 【P71】

外国人材の帯同家族を含む日本語指導が必要な児童生徒の転入があった際、各小中学校が日本語指導体制を迅速に構築できるよう、日本語指導支援専門員を配置し、教員等に対して日本語指導の手法などの助言等を行う。

拡 離島生徒指定大会遠征費助成事業 (25,162 千円) 【P71】

離島生徒の経済的負担を軽減するため、県が指定する大会等に参加する生徒に対し、航路運賃及び楽器等の輸送費を含む費用の一部を助成する。

新 公立学校給食費負担軽減事業 (4,684,563 千円) 【P71】

子育て支援に取り組む自治体を支援する観点から、県立特別支援学校小学部及び各市町村へ補助金を交付する。

拡 公立高等学校就学支援金等事業 (3,218,871 千円) 【P71】

教育に係る経済的負担の軽減を図るため、公立高校の生徒に対して授業料に充てるための就学支援金を支給する。

拡 奨学のための給付金事業 (1,041,365 千円) 【P71】

授業料以外の教育費負担の軽減を図るため、国が定める所得要件を満たす世帯の高校生の保護者等に対して奨学のための給付金を支給する。

新 かごしまの神楽魅力発見事業 (5,932 千円) 【P88】

県内に所在する神楽（神舞）の魅力・価値を発信し、次世代に継承する地域の担い手の確保・育成や、文化・観光資源としての活用促進を図るため、国の重要無形民俗文化財の指定に向けて、県内の神楽（神舞）の調査等を実施する。

2 全 39 施策の事業概要

- ・ 施策に記した○番号は《本県教育施策の方向性》の施策番号
- ・ **新**は新規事業、**拡**は拡充事業、(再掲)は他項での主掲載分を重複表示してある事業
- ・ **ゴシック体**の事業名は、各施策の【主な事業】で説明しているもの
- ・ 所管課に【※】があるものは、他部局の事業
- ・ 予算欄の【 】表示は、令和7年度3月補正予算で、主に令和8年度に事業を行うもの

I お互いの人格を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

① 道徳教育の充実

- 子供たちの道徳心を培い、正義感、責任感、自他の生命の尊重、他者への思いやり、自己肯定感、人間関係を築く力、社会性などを、学校教育活動全体を通じて育みます。
- 自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育を推進します。
- 更なる授業改善と指導力の向上に資するよう、関係機関と連携し、研修の場の提供に努めます。
- 家庭や地域社会との連携を深め、児童生徒の道徳性を育む取組が社会全体で進められるようにします。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○全校的な指導体制の確立 ▶道徳教育の全体計画や年間指導計画の作成 ▶郷土教材「かごしまの心」等の各種教材の活用 ▶総合的な学習の時間や特別活動等における特色ある教育活動の推進	—	義務・高校教育課 特別支援教育課
○道徳教育総合支援事業 ○教員経験年次別等研修事業(再掲)→p. 66	8,933 45,217	義務教育課 義務・高校教育課 特別支援教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66 ▶道徳 5講座 105人 ▶上記以外の「心の教育」関係 2講座 20人	8,564	義務教育課
○地域で支える家庭教育推進事業(再掲)→p. 78 ▶家庭教育学級長等研修会 ▶家庭教育支援員研修会	4,387	社会教育課
○青少年社会教育施設における研修事業(再掲)→p. 20	3,284	〃
施策予算額計	70,009	

【主な事業】

- 道徳教育総合支援事業(8,933千円)
道徳科の効果的な指導方法や指導方法の改善を行うとともに、郷土の読み物教材作成や授業研究会や協議会等の実施を通して、道徳教育に関する教職員の資質向上や県民の理解と意識の向上を図る。
▶心の教育振興会議による指導事例等の提言
▶地区道徳教育研修会(教育事務所ごとに開催)
▶道徳教育実践地区による取組(委託市町村での研究実践)
▶道徳教育フォーラム
▶道徳教育パワーアップ研究協議会
▶郷土の読み物教材(中学校)の作成、配布



① 道徳教育の充実（義務教育課・高校教育課・特別支援教育課・社会教育課）

【令和8年度予算額 70,009千円】

道徳教育の充実に向けた取組
～ 学校、家庭、地域が一体となった道徳教育の充実 ～

学 校

道徳科を要とした道徳教育の充実

- 小・中学校、義務教育学校、特別支援学校、高等学校における発達の段階に応じた道徳教育の推進
- 児童生徒、地域の実態に応じた道徳教育全体計画、指導計画等の作成と活用
- 校長の明確な方針の下、道徳教育推進教師を中心とした組織的な取組
- 児童生徒の道徳性を養うため、道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、多面的・多角的に考える道徳科の授業実践
- 道徳科の授業を通じた、校内研修の充実
- 「郷土の先人」、「かごしまの心」、「不屈の心」等、郷土教材を活用した授業実践
- 学級通信等による、家庭や地域への情報発信

家 庭

基本的なしつけ・学習

- ・ 家の仕事の分担
- ・ 家族と一緒に過ごす工夫
- ・ 家族間の心の交流
(一緒にの食事、読み聞かせ等)
- ・ 郷土教材等を活用した家庭内での対話

など

地域・企業等

広く豊かな体験

- ・ 青少年社会教育施設の活用
- ・ 高齢者とのふれあい
- ・ 異年齢集団での活動
- ・ ボランティア活動の実施
- ・ 地域人材等の活用
- ・ 職場体験学習による勤労観の育成

など

連携

県教育委員会

学校の取組の支援

- 道徳教育総合支援事業
 - ・ 心の教育振興会議
 - ・ 郷土教材の活用
 - ・ 地区道徳教育研修会
 - ・ 道徳教育パワーアップ研究協議会
 - ・ 道徳教育フォーラム
 - ・ 郷土教材の作成・配布

(令和7年度: 小学校中・高学年)
(令和8年度: 中学校)

など

教師の指導力の向上

- 教員経験年次別研修事業
 - ・ 教職経験者研修
 - ・ 道徳教育推進研修
- 総合教育センター研修事業
 - ・ 短期研修講座
- かごしま県教員等育成指標に基づいた資質の向上
 - ・ ICTを活用した道徳科の充実
 - ・ 学級経営の充実
 - ・ 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応

など

家庭、地域、企業等の取組の支援

- 「家庭の日」「育児の日」などの啓発
- 地域で支える家庭教育推進事業
 - ・ 家庭教育学級長等研修会
 - ・ 家庭教育支援員研修会
 - ・ 企業の理解促進
 - ・ 広報・啓発活動
(啓発資料等の作成・配布)
- キャリア教育、職場体験学習
- 青少年の自然体験活動

など

② 生徒指導の充実

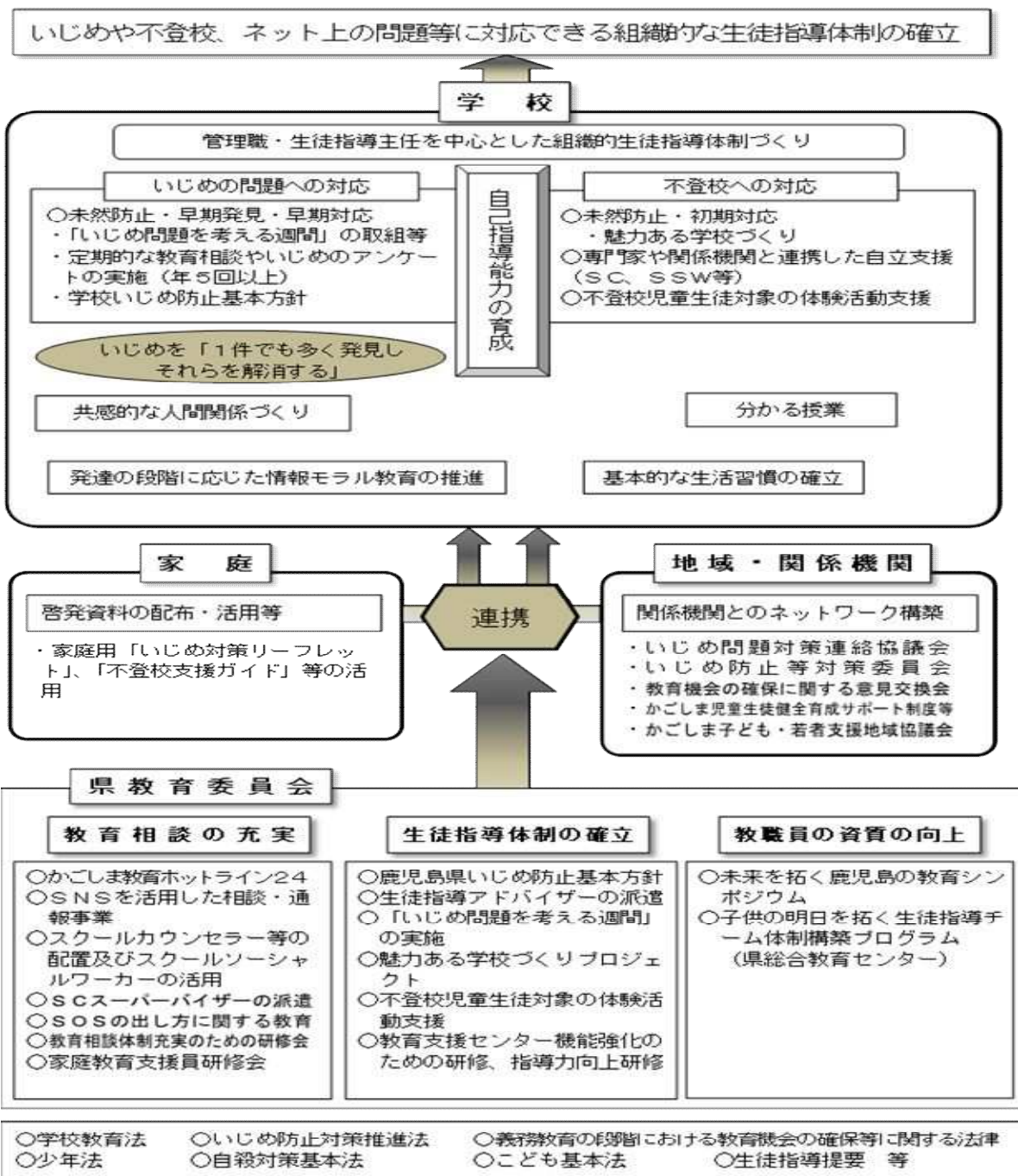
- 生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることを目的としています。この目的を達成するために、児童生徒一人一人が自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力、すなわち「自己指導能力」を身に付けられるように努め、ウェルビーイングの向上を図ります。
- 生徒指導提要进行を踏まえ、生徒指導の実践に当たっては、課題予防、早期対応といった課題対応の側面のみならず、全ての児童生徒を対象に児童生徒が自発的・自主的に自らを発達させていくことを尊重し、学校・教職員がいかにそれを支えるかという発達支持的生徒指導の側面に重点を置いた働きかけを行います。
- 全ての児童生徒にとって、安心して学べる場所になるよう、魅力ある学校づくりに取り組みます。
- 学校生活アンケート等のアセスメントツールを活用し、問題行動等の早期発見に努めます。
- 生徒指導に関する教職員の資質向上を図るとともに、学校の生徒指導体制を充実し、全教職員が一体となったチーム学校としての生徒指導に努めます。また、学校、家庭、地域、関係機関等の連携を推進します。
- 児童生徒の様々な悩みや課題に対応するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど専門的な知見に基づく組織的な教育相談体制の充実に努めます。
- いじめについては、「一件でも多く発見しそれらを解消していく学校こそが、家庭や地域から信頼される学校である。」という基本認識に立ち、いじめの積極的な認知、早期対応に努めます。
- SNSを巡るトラブル等のインターネット上の問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に努めるとともに、児童生徒が被害者及び加害者とならないよう、情報モラルに関する教育を推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○教員経験年次別等研修事業(再掲)→p. 66	45,217	義務・高校教育課 特別支援教育課
○未来を創る子供を支える生徒指導体制構築プログラム 13講座 1,300人	2,484	義務教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66 1講座 10人	8,564	〃
○全教職員による組織的な指導体制の確立 ▶各学校における個別支援計画の作成 ▶保護者や関係機関と連携した家庭訪問や個別訪問の実施	—	高校・義務教育課
○生徒指導対策総合推進事業 ▶スクールカウンセラー配置事業 ▶臨床心理士等相談員派遣事業 ▶スクールソーシャルワーカー活用事業 ほか	215,281	〃
○かごしま教育ホットライン24	30,557	義務・高校教育課
○学校訪問指導	—	高校・義務教育課
○いじめ、不登校、情報モラル等についての広報・啓発	—	高校・義務教育課 教育DX推進室
○人権教育の充実(再掲)→p. 18	3,237	人権同和教育課
○地域で支える家庭教育推進事業(再掲)→p. 78 ▶家庭教育学級長等研修会 ▶家庭教育支援員研修会 ▶家庭教育支援キャラバン「親子すくすくフェスタ」	4,387	社会教育課
○福祉機関や警察との連携強化	—	高校・義務教育課
○ICT教育推進・人材育成事業(再掲)→p. 46	27,482	教育DX推進室
施策予算額計	337,209	

② 生徒指導の充実

(高校教育課・義務教育課・特別支援教育課・社会教育課・人権同和教育課・教育DX推進室)

【令和8年度予算額 337,209千円】



【主な事業】

○ 生徒指導対策総合推進事業（215,281千円）

児童生徒の様々な悩みや課題に対応するため、スクールカウンセラーや臨床心理士等による専門的な知見に基づく教育相談体制の充実を図るなど、総合的な生徒指導対策を推進する。

- ▶いじめ防止対策推進事業
- ▶スクールカウンセラー配置事業
- ▶臨床心理士等相談員派遣事業
- ▶スクールソーシャルワーカー活用事業
- ▶生徒指導アドバイザー派遣事業
- ▶子どもの心のSOS相談事業
- ▶不登校児童生徒支援事業



③ 人権教育の充実

- 誰一人取り残されず、相互に多様性を認め、高め合い、他者のウェルビーイングを思いやることができる学校づくりを推進するために、全ての教育活動を通じて、児童生徒の人権尊重の精神の涵養を図ります。
- 複雑化・多様化する人権課題へ対応するため、教職員等の更なる人権意識の高揚と資質の向上を図ります。
- 「児童の権利に関する条約」及び「こども基本法」を踏まえ、児童生徒の権利等の理解促進や人権教育の推進、児童生徒が安心して学べる学習環境づくりなど、児童生徒の権利利益の擁護を図り、その最善の利益を実現できるよう取り組みます。
- 「鹿児島県人権教育・啓発基本計画」に基づき、市町村教育委員会等との一層の連携の下、全ての学校及び地域において地域の実情に即した同和教育をはじめとする人権教育に取り組み、人権尊重の精神に立った学校づくり、地域づくりを進めます。
- 学校、家庭、地域等との緊密な連携の下、積極的に社会教育における人権教育の充実を図ります。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○人権教育研修事業 ▶ 人権教育教職員等研修会 ▶ 人権教育研修	10,176	人権同和教育課
○人権教育推進事業 ▶ 人権教育の充実 ▶ 人権教育管理職研修会 ▶ 人権教育研究助成事業	8,193	〃
○人権教育開発事業 ▶ 人権教育総合推進地域事業 ▶ 人権教育研究指定校事業	1,010	〃
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)p.66 1講座10人	8,564	義務教育課
○人権教育啓発事業 ▶ 人権教育啓発活動促進事業 人権教育指導者研修会 人権教育ブロック別指導者研修会 人権教育調査研究	626	社会教育課
○若年層のための意識啓発 ▶ 学校への男女共同参画お届けセミナー ▶ デートDV防止セミナー ▶ 高校生のためのピアサポーター養成講座	853	※男女共同参画室
○子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業 ▶ 児童生徒、教職員、保護者等を対象としたワークショップ等の開催 ▶ 教職員向けの男女共同参画研修・ワークショップの開催 ▶ 実践書(ワークショップマニュアル付き)の作成	2,111	〃
施策予算額計	31,533	

【主な事業】

○ 人権教育の充実

教職員や教育行政職員を対象に、各種人権教育研修会や巡回指導を実施するとともに、そのための啓発・推進資料を作成するなど、人権教育の一層の推進・充実を図る。

- ▶ 人権同和教育基礎講座(6月3日 加音ホール)
- ▶ 課題別研究会
 - ・「進路保障」(6月24日 薩摩川内市)
 - ・「地域とつながる人権教育」(10月21日 いちき串木野市)
 - ・「部落問題学習」(1月27日 南九州市)
- ▶ 学校力向上人権教育研修
 - ・人権教育授業実践研修会(5月～6月 6地区)
 - ・人権教育指導主事等研修会(4月27日 オンライン)
- ▶ 人権教育指導者育成研修会(5月8日 オンライン及び県庁)
- ▶ 人権教育巡回等指導
 - ・各学校の校内研修や人権教室等への指導主事の派遣等
- ▶ 人権教育研修資料作成
「なくそう差別 築こう明るい社会」の作成(全教職員に配布)



③ 人権教育の充実（人権同和教育課・義務教育課・社会教育課・男女共同参画室）

【令和8年度予算額 31,533千円】

人権尊重の精神に立った学校づくり、地域づくりの推進
～合言葉は「人権教育は全ての教育の基本」～

施策方針

学校教育における人権教育の推進

- 1 児童生徒の人権尊重の精神の涵養
- 2 教職員等の人権意識の高揚と資質の向上
- 3 児童生徒の権利利益の擁護を図り、その最善の利益を実現するための取組の推進
- 4 人権尊重の精神に立った学校づくり、地域づくりの推進

- ◎ 誰一人取り残されず、相互に多様性を認め、高め合い、他者のウェルビーイングを思いやることのできる学校づくり
- ◎ 子どもの権利等についての理解促進
- ◎ 教職員の基本姿勢Mom（見つめる、思いをめぐらす、向き合う）による児童生徒との適切な関わり方の推進
- ◎ 各種研修や人権教育研修資料等の充実による教職員の人権意識の高揚や資質の向上
- ◎ 児童生徒一人一人の自尊感情を高めることができる人権教育の指導内容・方法の工夫・改善
- ◎ 組織的かつ計画的な質の高い取組を目指したカリキュラム・マネジメントの推進

社会教育における人権教育の推進

全ての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、家庭教育の充実をはじめ、様々な機会を捉えて、人権に関する学習の一層の充実を図る。

- ◎ 家庭教育への支援
- ◎ 地域社会における学習機会啓発活動の充実
- ◎ 効果的な人権教育の推進
- ◎ 人権教育を行う指導者の育成・資質向上



主要事業

人権意識の高揚と資質の向上	人権教育の指導内容・方法の工夫・改善	人権教育推進体制の確立
<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育指導者育成研修会 ・教育行政等職員人権教育研修 ・人権教育管理職研修会（任用2年目） ・人権教育教職員等研修会（採用2年目） ・人権同和教育基礎講座 ・課題別研究会 「進路保障」 「地域とつながる人権教育」 「部落問題学習」 ・人権教育講座 （総合教育センター短期研修） ・人権教育巡回等指導（各学校の校内研修や人権教室等への指導主事の派遣等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校力向上人権教育研修 （人権教育授業実践研修会 人権教育指導主事等研修会） ・文科省委託事業「人権教育開発事業」 * 研究指定校 * 総合推進地域 ・県指定「子どもの人権プロジェクト推進校」事業 ・人権教育研修資料及びデジタル研修教材の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育研修推進委員会 ・人権教育推進状況調査 ・人権教育巡回等指導（学校訪問） ・市町村教育委員会との連携及び指導助言（人権教育調査研究） ・人権教育指導者研修会 ・人権教育ブロック別指導者研修会 （県下7ブロック） ・他部局との連携（男女共同参画室） 若年層のための意識啓発 子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業

④ 体験活動の充実

- 体験活動は人づくりの“原点”であり、自己肯定感や協調性などを育みます。これが、ウェルビーイングの向上に資するものであるとの認識の下、地域の特色を生かし、発達の段階に応じた効果的な体験活動を一層推進します。
- 学習指導要領においても、体験活動を重視することが述べられており、今後も学校や青少年教育施設等における体験活動の充実に努めます。
- 青少年社会教育施設において、地域・企業・青少年教育団体等とも連携し、自然体験やボランティア活動を含めた社会体験、国際交流体験など、特に青少年を対象とした様々な体験活動を推進します。
- 青少年社会教育施設において、学校の教育課程と関連付けた活動プログラムを充実させます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○中学生の職場体験学習の継続的な推進(再掲)→p. 37	—	義務教育課
○小学生の体験活動の継続的な推進	—	〃
○地域の農林水産業などの教育資源を生かした体験型の総合的な学習の時間の推進	—	〃
○青少年社会教育施設における研修事業	3,284	社会教育課
○青少年の体験活動の充実 ▶家庭・地域・学校等における体験活動の充実	—	〃
○郷土教育推進事業 ▶ 鹿児島県の未来を担う青少年の志を育む事業「かごしま 夢 有為塾」	4,257	〃
○霧島自然ふれあいセンター管理運営事業 ▶指定管理者による管理運営	84,864	〃
○青少年団体連絡協議会補助事業	500	※青少年男女共同参画課
○鹿児島・岐阜青少年ふれあい事業	989	〃
施策予算額計	93,894	

【主な事業】

○ 青少年社会教育施設における研修事業

(3,284千円)

青少年の自然体験、ボランティア活動など多様な体験活動やふれあい・交流活動の機会と場を拡充し青少年の健全育成を図るとともに、青少年社会教育施設の利用を促進する。

- ▶県立青少年研修センター
(悠遊学舎わくわくキャンプ～サマーキャンプ・ウインターキャンプ～他)
- ▶県立南薩少年自然の家(チャレンジ南薩探検隊 他)
- ▶県立奄美少年自然の家
(奄美クリエイティブワイルドアドベンチャー 他)
- ▶県立霧島自然ふれあいセンター
(チャレンジ霧島 in winter 他)



○ 鹿児島県の未来を担う青少年の志を育む事業「かごしま 夢 有為塾」

(4,257千円)

南北 600 kmの県土を有する鹿児島県の各地の特色ある歴史や伝統、文化、地域の特性などをフィールドワーク等を通して、鹿児島県を丸ごと理解し、郷土鹿児島県の素晴らしさに気付き、誇りをもつとともに、郷土を愛する態度を育み、地域の発展に貢献しようとする青少年を育成する。



④ 体験活動の充実（社会教育課・義務教育課・青少年男女共同参画課）

【令和8年度予算額 93,894千円】

一人一人が自らの課題を乗り越えつつ、
他者と協働して成し遂げる力の育成

ウェルビーイングの向上

学校における体験活動

- ◎ 体験活動の充実
 - ・農林水産体験活動
 - ・社会奉仕体験活動
 - ・自然体験活動
 - ・勤労生産体験活動
 - ・集団宿泊活動 等

【教育課程への位置付け】
各教科、特別の教科道徳、総合的な
学習の時間、特別活動

- 中学生の職場体験学習の推進

【未来を拓くキャリア教育推進事業】
・学校への講師派遣
・中学生のインターシップ
【総合的な学習の時間、特別活動等】

- 小学生の体験活動の推進

【未来を拓くキャリア教育推進事業】
・学校への講師派遣
【各教科、総合的な学習の時間、
特別活動等】

- 地域の農林水産業などの教育資源を生かした体験型の総合的な学習

地域・企業・青少年教育団体等
と連携した体験活動

- 青少年社会教育施設における研修事業
 - ・県立青少年研修センター
（悠遊学舎わくわくキャンプ、
～サマーキャンプ・ウインター
キャンプ 他）
 - ・県立南薩少年自然の家
（チャレンジ南薩探検隊 他）
 - ・県立奄美少年自然の家
（奄美クリエイティブワイルドアドベンチャー 他）
 - ・県立霧島自然ふれあいセンター
（チャレンジ霧島 in Winter 他）
- 鹿児島の未来を担う青少年の志を育む事業「かごしま夢 有為塾」
- 青少年の体験活動の充実
家庭・地域・学校等における体験活動の充実
 - ・自然体験活動
 - ・社会体験活動
 - ・国際交流体験 等
- 青少年団体連絡協議会補助事業
- 鹿児島・岐阜青少年ふれあい事業

連携
・
協働

地域 家庭 企業 青少年教育団体
関係団体・関係部局

背景

自然や生活文化等と直接ふれあう体験の減少

情報化社会

バーチャルな世界

間接体験の増加

⑤ 子供の読書活動の推進

- 「第5次鹿児島県子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭・地域・学校が連携した取組を推進し、引き続き、乳幼児から高校生までを対象とした「1日20分読書」運動を展開します。
- 「不読率の低減」「子どもの視点に立った読書活動の推進」等を基本的方針とし、読書活動を推進します。
- 多様な子供の読書活動の推進のため、教師、学校司書等と保護者の連携・協力を進めるとともに、個別最適な読書環境実現のため、読書活動に携わる人材の資質・向上に努めます。
- 児童生徒の自発的・主体的な学習活動を支援し、必要な情報を収集・選択・活用する能力を育成するために、学習センターや情報センターとしての学校図書館の充実に努めます。
- 教師、学校司書等の関係者と保護者の連携・協力を進め、多様な子供たちの個別最適な読書環境実現に向け、読書活動に携わる人材の資質・能力等向上を図るための継続的・計画的な研修を実施します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○家庭、地域、学校等における子どもの読書活動の推進 ▶ 「1日20分読書」運動の推進	288	社会教育課 義務・高校教育課
○鹿児島県高校生ビブリオバトル大会 ○読書活動推進人材スキルアップ事業 ▶ 講演、取組事例発表、ワークショップ等	1,163 279	社会教育課 〃
○子どもの読書活動推進の支援 ▶ 図書館・室、学校等への講師派遣	—	〃
施策予算額計	1,730	

【主な事業】

- 家庭、地域、学校等における子供の読書活動の推進 (288千円)
「第5次鹿児島県子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭・地域・学校が連携した取組を推進し、乳幼児から高校生までを対象とした「1日20分読書」運動を進める。
▶ 学識経験者、図書館関係者、民間等で構成する子供読書活動推進会議(年2回)
▶ 広報・啓発資料を作成し、保護者、学校、図書館等へ配布



- 鹿児島県高校生ビブリオバトル大会 (1,163千円)
高校生の読書への関心を高め、読書活動を推進するため、書評合戦(ビブリオバトル)や人気作家によるトークショーを実施する。
▶ ビブリオバトル(予選会・決勝大会)
▶ 人気作家によるトークショー



⑤ 子供の読書活動の推進（社会教育課・義務教育課・高校教育課）

【令和8年度予算額 1,730千円】

生涯にわたる読書習慣の確立

子供の読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で重要なもの。

第5次鹿児島県子ども読書活動推進計画

不読率の低減

- 乳幼児期から読書に親しませる。
- 発達段階に応じた読書活動を行う。
- 全校で一斉に読書に取り組む時間を設定する。
- 学習活動で学校図書館を積極的に活用する。
- 友人同士で本を薦め合う活動や電子書籍を利用した読書活動に取り組む。

子どもの視点に立った読書活動の推進

- 読書活動に関する児童生徒の意見を聞く機会を積極的につくる。
- 多様な子どもの意見を、サービスの改善や資料収集に反映させる。
- 児童生徒が主体的に関わるような学校図書館の運営やイベント等を行う。
- 中学生、高校生の要望を生かし、年代に応じた図書の充実を図る。

多様な子どもたちの読書機会の確保

- 多様な資料の整備・充実を図る。
 - 電子書籍
 - デジター図書
 - 新聞
 - 外国語の図書
 - 多様な興味、関心に応える資料
- 幅広く、読書のきっかけをつくる取組の充実を図る。
- 多様な背景をもつ児童生徒の居場所として、読書や学習の場を提供する。

デジタル社会に対応した読書環境の整備

- 図書館のDXを推進する。
 - 図書館情報のデータベース化
 - オンライン上での情報の共有化
- GIGAスクール構想の進展に対応した資料のデジタル化やコンテンツの整備・充実を図る。

子供の読書活動の推進を図るために、「家庭」、「学校」、「地域（公立図書館等）」がそれぞれの役割を果たし、連携・協力を図りながら進めていく必要がある。

県教育委員会

〔社会教育課の取組〕

- 「1日20分読書」運動の推進・促進
- 鹿児島県高校生ビブリオバトル大会の開催
- 県子供読書推進会議の開催
- 啓発資料の作成・配布
- 県教育委員会表彰の実施及び文部科学大臣表彰への推薦〈図書館・学校・団体（個人）〉

〔県立図書館・奄美図書館の取組〕

- 各種講座・研修会等の実施
- おすすめ本の紹介リストの提供
 - ・「こどもの本『児童図書モデルリスト』」
 - ・「鹿児島の高校生が薦める本」
 - ・「にじいろのほん」
- おはなし会の開催

鹿児島県読書バリアフリー計画

鹿児島県で初めて「読書バリアフリー計画」を策定（令和6年度から令和9年度を対象）した。

読書は、乳幼児・青年期から高齢期の生涯にわたって個人の学びや成長を支えるものであり、教育や就労を支える上でも重要な活動である。本計画は、視覚障害者等の読書環境の整備を通して、障害の有無に関わらず等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現に向けて取り組んでいくことを目的としている。

⑥ 文化芸術活動の推進

- 学校において我が国や郷土の伝統と文化に関する関心や理解を深め、それを尊重し、継承、発展させる態度を育成する教育を推進します。
- 子供が文化芸術に触れる機会を拡充するなど、伝統や文化に関する教育を推進します。
- 文化部活動の地域連携や地域文化クラブ活動への移行に向けた環境の整備を進めます。
- 表現力や創造力を更に磨き高め、見識を深めた若手が、将来、本県の文化芸術を先導する人材となるよう、機会の提供に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○小・中学校における図画・作文等のコンクールへの参加促進	—	義務教育課
○小・中・高等学校における地域の伝統文化や文化活動についての理解推進	—	〃
☑ 離島生徒指定大会遠征費助成事業(再掲)→p. 71	25,162	保健体育課 義務・高校教育課
○「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進事業(再掲)→p. 28 ▶ 武道及びダンスの指導の充実	5,069	保健体育課
○青少年のための芸術鑑賞事業(再掲)→p. 86	2,978	※文化振興課
○霧島国際音楽祭運営事業(再掲)→p. 86	39,349	〃
○かごしま文化芸術活動促進事業(再掲)→p. 86	1,025	〃
○文化センター活性化事業(再掲)→p. 86	165,892	〃
○みやまコンセール活性化事業(再掲)→p. 86	150,910	〃
○霧島アートの森活性化事業(再掲)→p. 86	126,400	〃
○「鹿児島県方言週間」普及啓発事業(再掲)→p. 87	—	〃
○「県民の日7. 14」記念事業(再掲)→p. 87	802	〃
○黎明館常設展示運営事業(再掲)→p. 87	27,134	〃
○黎明館企画展示事業(再掲)→p. 87	17,899	〃
○ほこらしや奄美音楽祭開催事業(再掲)→p. 87	5,924	〃
○地域スポーツ・文化活動推進事業(再掲)→p. 28	112,471	保健体育課 義務・高校教育課
施策予算額計	681,015	

【主な事業】

- 小・中学校における図画・作文等のコンクールへの参加促進

小・中学校における図画や作文コンクール等への参加を奨励する。

- ▶ 県図画作品展(6～7月募集、8月発表予定)
- ▶ 県児童生徒作文コンクール(9月募集、12月発表予定)



- 小・中・高等学校における地域の伝統文化や文化活動についての理解推進

小・中・高等学校における地域の伝統文化や文化活動についての理解を深める活動を推進する。

- ▶ 各教科等における文化の理解に係る取組
- ▶ 学校における文化芸術鑑賞・体験事業(文化庁)や舞台芸術等総合支援事業(日本文化振興会)等の活用
- ▶ 地域の伝統文化行事等の鑑賞や参加の促進



⑥ 文化芸術活動の推進（義務教育課・高校教育課・保健体育課・文化振興課）

【令和8年度予算額 681,015千円】

豊かな心や感性、創造性、感動する心の育成に向けての取組
～ 心豊かな人づくり ～

学校における文化活動

- 青少年のための芸術鑑賞事業
- 小・中学校における図画・作文等コンクールへの参加促進
 - ・ 県図画作品展
 - ・ 県児童生徒作文コンクール
- 小・中・高等学校における地域の伝統文化や文化活動についての理解促進
- 離島生徒指定大会遠征費助成事業
- 「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進事業
 - ・ 武道及びダンスの指導の充実
- 地域スポーツ・文化活動推進事業

地域社会における文化活動

- 霧島国際音楽祭運営事業
- 文化センター活性化事業
- みやまコンセール活性化事業
- 霧島アートの森活性化事業
- 黎明館常設展示運営事業
- 黎明館企画展示事業
- ほこらしや奄美音楽祭開催事業

地域や関係機関との連携

学校における文化
芸術活動や伝統文
化の理解

文化芸術に触れ
る機会の拡充

施策の
方向性

郷土に誇りをもつ心の醸成

鹿児島県の歴史や文化を生かした地域づくり

郷土芸能や伝統行事の担い手の育成

⑦ 食育の推進(保健体育課・義務教育課・社会教育課・学校施設課・教職員課)

【令和8年度予算額 43,222千円】

食に関する正しい知識と望ましい食生活を身に付けさせ、
食に関する自己管理能力を育成
～生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む～

視 点

- 食事の重要性
- 心身の健康
- 食品を選択する能力
- 感謝の心(思いやり)
- 社会性(マナー)
- 食文化

学 校

- ・ 学校教育活動全体を通じた「食育」の推進
- ・ 「食に関する指導」の全体計画の作成
(家庭科、保健体育科、総合的な学習の時間、学級活動等)
- ・ 「食に関する指導」の全体計画への評価指標の位置付け
- ・ 学校給食を「生きた教材」として活用する取組
- ・ 個別的な相談指導による食育の推進

- ・ 栄養教諭の配置・活用
- ・ 栄養教諭と連携・協力した「食に関する指導」の充実

連携・協力

家 庭

- ・ 家庭における「共食」を通じた子どもへの食育の推進
- ・ 食の安全に関する情報提供
- ・ 望ましい食習慣に関する情報提供
(「早寝早起き朝ごはん」の啓発)

主
な
事
業

- 学校給食指導事業
- 夜間定時制学校給食管理事業
- 県立学校給食施設改善事業
- 鹿児島をまるごと味わう学校給食

連携・協力

地域社会

- ・ 食育体験の提供(地域の人材や食材を生かした講習会等の活動)
- ・ 食育に関連する事業等の開催
(保健所、医療機関、民間食品会社、NPO法人によるセミナー等)

連携・協力

食と農の先進県づくり大綱

- 豊かな食文化と農林水産物を生かした「食育」の推進

かごしまの“食”交流推進計画

- 学校における「食育」推進
 - ・ 学校における「食育」の指導体制の充実
 - ・ 学校給食等を活用した「食育」の推進

課 題

- 食の変化
- 栄養の偏り
- 不規則な食事(朝食欠食)
- 肥満・やせ
- 生活習慣病の増加
- 食に関する感謝の念の欠如
- 伝統的な食文化の継承

⑧ 体力・運動能力の向上

- 生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するために、学校・家庭・地域が連携を図りながら、積極的に体を動かすことやスポーツに親しむ習慣の育成に努めます。
- 体育・保健体育の授業を中核として、運動する楽しさや喜びを味わわせたり、体力・運動能力、技能の向上を図ったりするために、各種研修の充実や実践研究の推進を図りながら、教員の指導力の向上に努めます。
- 体力・運動能力調査等の結果から得られる、体力・運動能力、運動習慣に対する興味・関心の状況等を踏まえ、各種研修会や実践研究校等における研修・研究内容の充実に努めるとともに、支援を行っていきます。
- 生徒の発達段階やニーズを踏まえたスポーツ環境の整備を目指して、関係部局、関係機関等と連携を図りながら、学校・地域の実情に応じた運動部活動の改革に努めていきます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進事業	5,069	保健体育課
○学校体育指導事業	836	〃
▶県児童生徒体力・運動能力調査の集計・分析		
▶研修講座(県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p.66)		
▶スポーツリフレッシュセミナー 20人		
○離島生徒指定大会遠征費助成事業(再掲)→p.71	25,162	保健体育課 義務・高校教育課
▶離島の中・高校生への県大会等参加助成		
○鹿屋体育大学との研究協力	—	保健体育課
○鹿屋体育大学大学院への派遣(再掲)→p.66 1人	—	〃
○学校体育大会等補助事業	835	〃
▶盲・聾学校競技大会参加助成		
○地域スポーツ・文化活動推進事業	112,471	保健体育課 義務・高校教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p.66 6講座 62人	8,564	義務教育課
施策予算額計	152,937	

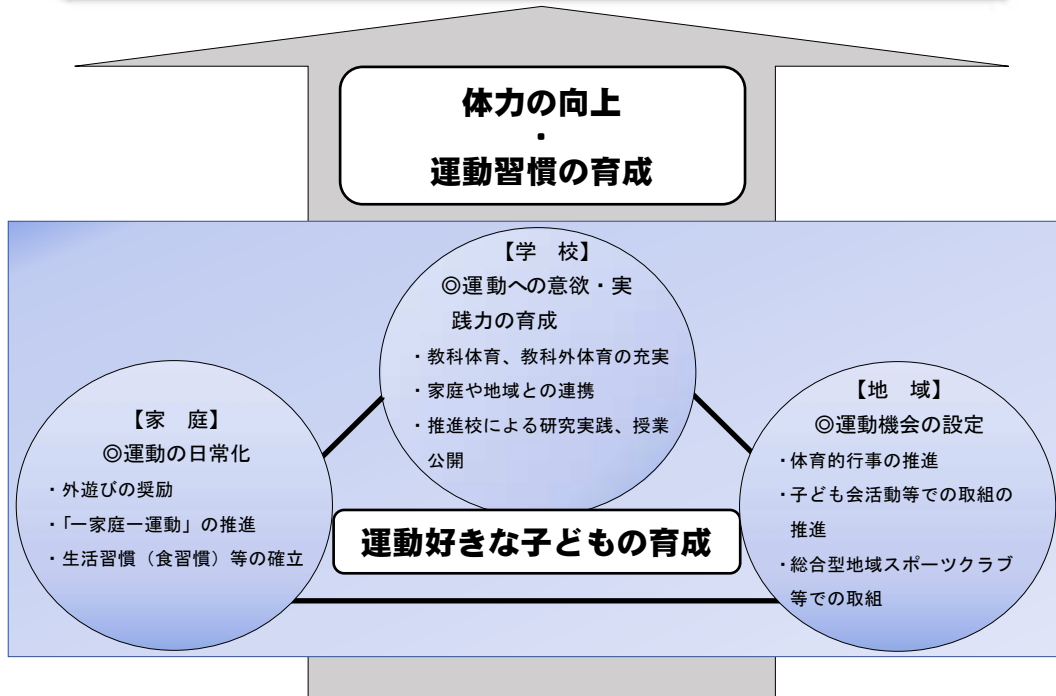
【主な事業】

- 「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進事業 (5,069千円)
 関係機関・団体と連携した推進体制を整備し、学校体育の充実や家庭・地域との連携した体力の向上を図る。また、中学校における武道・ダンスの授業の充実のために、地域の指導者を活用するとともに、安全に関する指導者研修会を実施する。
 - ▶体力向上検討委員会(2回)の開催
 - ▶「運動好きな子供を育てる」指導者研修会(2地区3会場)の開催
 - ▶推進校(5校)の研究公開の実施及び新規推進校(3校)の指定
 - ▶小・中・高等学校版「体力アップ!チャレンジかごしま」の推進
 - ▶小学校教諭等体育セミナーの開催
 - ▶地域連携推進協力者会議の開催(年2回)
 - ▶地域指導者の中学校保健体育科武道等授業への派遣(20人程度)
 - ▶地域連携実践校における実践(5校)
 - ▶中学校武道・ダンス指導者研修会の開催
 - ▶中学校柔道授業の安全に関する指導者研修会(5地区5会場)の開催
- 地域スポーツ・文化活動推進事業 (112,471千円)
 地域の持続可能なスポーツ・文化活動の環境を整備するため、部活動の地域展開等に向けた市町村への支援等を行う。
 - ▶部活動指導員の配置支援
 - ▶部活動の地域展開に係る取組を行う市町村への補助

⑧ 体力・運動能力の向上（保健体育課・義務教育課・高校教育課）

【令和8年度予算額 152,937千円】

運動大好き“かごしまっ子”の育成



「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進事業

■ 推進体制の整備

- 体力向上検討委員会
 - ・児童生徒の運動習慣の改善や体力向上に関する具体的方策等の検討
 - ・体力向上プログラムの活用促進

■ 学校体育の充実

- 教科体育の充実
 - ・推進校の指定、研究公開の実施
 - ・「運動好きな子供を育てる」指導者研修会
 - ・小学校教諭等体育セミナー
- 教科外体育の充実
 - ・一校一運動の推進
 - ・「体力アップ! チャレンジかごしま」の実施
 - ・「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進プランの作成

■ 家庭・地域との連携

- 運動習慣の改善や体力向上への啓発
 - ・「運動習慣育成教室」の実施
 - ・「プラス5分運動」の推進
 - ・「体力アップ! チャレンジかごしま」種目体験

- 地域連携推進協力者会議
- 指導者の派遣と地域連携
 - ・実践校における実践
 - ・学習指導要領の趣旨を踏まえた武道・ダンス授業の研究
 - ・地域の指導者と教員が連携した授業実践
- 武道・ダンス指導者研修会
- 中学校柔道授業の安全に関する指導者研修会

その他の事業

- 学校体育指導事業
- 離島生徒指定大会遠征費助成事業
- 鹿屋体育大学との研究協力
- 鹿屋体育大学大学院への派遣
- 学校体育大会等補助事業
- 地域スポーツ・文化活動推進事業

⑨ 健康教育の充実

- 児童生徒の発達の段階を踏まえた学校保健の充実を図るとともに、学校保健を推進するための保健組織活動の充実に努めます。
- 児童生徒の健康課題に適切に対応するために、学校、家庭、地域、関係機関等との連携を図るとともに、児童生徒の個別の健康課題解決に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○学校保健推進事業 ▶学校保健に関する研修会・講習会等の実施 県健康教育研究大会 学校保健・安全・歯科保健講習会 ▶学校保健優良学校等の表彰 ▶県立学校児童生徒の健康診断 ▶学校保健会、学校医、学校歯科医、学校薬剤師等との連携による学校保健指導、学校環境衛生、薬物乱用防止教育等 ▶がん教育等外部講師連携支援事業	318,081	保健体育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p.66 1講座 10人	8,564	義務教育課
施策予算額計	326,645	

【主な事業】

○ 県健康教育研究大会

学校保健・学校安全・学校体育・学校給食の在り方やその諸課題について研究協議を行い、生涯にわたって健康で安全な生活を自ら実践する幼児・児童・生徒の育成に資する。

- ▶全体会（4分野の優良校・準優良校・功労者等表彰）
- ▶特別講演
- ▶全体講話
- ▶分科会（8分科会で4分野の実践発表及び研究協議）



○ がん教育等外部講師連携支援事業(1,092千円)

学校におけるがん教育への取組を推進するため、教員や外部講師の資質向上を目的とした研修会を実施するとともに、がん教育に取り組む学校を支援する。

- ▶連絡協議会の開催
- ▶がん教育モデル校の指定
- ▶モデル校への外部講師派遣
- ▶研修会への講師派遣
- ▶学校のがん教育授業への講師派遣



⑨ 健康教育の充実（保健体育課・義務教育課）

【令和8年度予算額 326,645千円】

生涯にわたり健康に過ごすことのできる児童生徒の育成
～ 学校を中心とした家庭・地域・関係機関との連携 ～

健 康 教 育

学 校 の 取 組

保健管理

- ・ 健康観察、保健調査
- ・ 健康相談
- ・ 定期健康診断
- ・ 疾病、感染症の予防
- ・ 環境衛生検査・点検
- ・ その他

保健教育

- ・ 体育科、保健体育科
- ・ 関連教科
- ・ 総合的な学習の時間
- ・ 保健室における個別指導等
- ・ 学級活動、ホームルーム
- ・ 学校行事
- ・ その他

組織活動

- ・ 学校内の組織活動
- ・ 学校保健に必要な校内研修
- ・ 家庭、地域社会との連携
- ・ 学校保健委員会
- ・ その他

学校保健推進事業

家庭の取組

（実践の場）
健康的な生活習慣
の確立

- 学校保健に関する研修会・講習会等の実施
 - ・ 学校保健・安全・歯科保健講習会
 - ・ 県健康教育研究大会
- 学校保健優良学校等の表彰
- 学校保健会、学校医、学校歯科医、学校薬剤師等との連携
 - ・ 学校への保健指導
 - ・ 学校環境衛生
 - ・ 薬物乱用防止教育
 - ・ アレルギー疾患への対応 等
- がん教育等外部講師連携支援事業

関係機関

- ・ 学校医
- ・ 学校歯科医
- ・ 学校薬剤師
- ・ 保健所
- ・ 学校保健会 など

独立行政法人日本スポーツ振興センター

学校管理下の事故等の保障
（医療費、災害給付）

健 康 課 題

多様な健康課題への適切な対応

（歯及び口腔、栄養状態、アレルギー疾患、喫煙、飲酒、薬物乱用、感染症、性に関する問題、不登校や保健室登校、がんに対する正しい理解 等）

事故対策

学校管理下の
事故（授業中、
学校行事参加時）

Ⅱ 未来の社会の創り手となる資質・能力を伸ばし、社会で自立する力を育む教育の推進

① 確かな学力の育成

- 児童生徒の学力・学習状況を鹿児島学力・学習状況調査などの客観的な調査に基づき的確に把握し、本県の実態に応じた学力向上策を推進します。
- 学力向上に向けて児童生徒の基礎的・基本的な知識及び技能と思考力、判断力、表現力等、主体的に学習に取り組む態度を育成する観点から、学習者が主体となる「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進します。
- 児童生徒の学力と教員の指導力の向上を図る取組を推進するとともに、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組を推進します。
- 教科等固有の見方・考え方を働かせて自分で考え表現する力、困難を乗り越え、ものごとを成し遂げる力や自己肯定感などの、いわゆる非認知能力も含めて、時代を切り拓く児童生徒に求められる資質能力を育成するため、学校全体で学力向上に向け組織的に取り組むなど、学力向上のPDCAサイクルの充実にに向けた取組を推進します。
- 学校段階間・学校種間及び学校と社会との連携・接続を図りつつ、各学校段階を通じ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力、人間性等の確かな学力の育成、幅広い知識と教養、専門的能力、職業実践力の育成を図ります。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○「学習者主体の授業」への改善推進事業	7,227	義務教育課
○新時代の「確かな学力」育成推進事業	37,442	〃
▶ 鹿児島学力・学習状況調査の実施		
○「新たな教職員の学び」協働開発推進事業	2,000	〃
○ICT教育推進・人材育成事業(再掲)→p.46	27,482	教育DX推進室
○世界をつなぐ英語コミュニケーション能力育成事業(再掲)→p.48	2,283	高校教育課
▶ English Cafe in Kagoshimaの実施		
▶ 高校生イングリッシュトレニングキャンプの実施		
○教室から世界へ!かごしまグローバルクラスルーム事業 (再掲)→p.48	19,544	高校・義務教育課
○世界で輝け!英語コミュニケーション能力育成事業 (再掲)→p.48	2,486	義務教育課
▶ イングリッシュ・デイの実施		
○未来を創る資質・能力育成事業	7,539	高校教育課
○グローバル人材育成促進事業(再掲)→p.48	4,800	〃
○家庭学習マイゴールチャレンジの推進	-	義務教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p.66 74講座 1,233人	8,564	〃
○県総合教育センター調査研究事業	1,049	〃
○「かごしまっ子」すくすくプラン	263,813	教職員課
▶ 義務教育の入門期において、きめ細かな指導を行い、基本的な生活習慣や学習習慣の定着を図るため、小学校1年生及び2年生で30人学級を実施		
○少人数指導等の充実	-	〃
▶ 少人数指導や習熟度別指導など、きめ細かな指導を行う学校の取組に対して教員を配置		
○小学校における教科担任制の推進	-	〃
▶ 教科担任制の効果的な実施方法等について、研究を行う学校の取組に対して教員を配置		

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○中学校免許外教科担任解消事業 ▶ 中学校において、免許教科外で授業を担当する教科担任の解消を図るため、非常勤講師を配置	65,542	教職員課
施策予算額計	449,771	

○ 「学習者主体の授業」への改善推進事業

(7,227千円)

「学習者主体の授業」の実現に向けた授業改善を通し、児童生徒の主体性、協働性、創造性等を育成するため、組織的かつ総合的に確かな学力の育成に向けた取組を推進する。

- ▶ 「学習者主体の授業」実現プロジェクトの実施
- ▶ 授業改善及び学校のPDCAサイクル確立に向けた取組
- ▶ 学び続ける教師の手引書「学びの羅針盤」の活用の促進



○ 新時代の「確かな学力」育成推進事業

(37,442千円)

社会の変化が激しく予測困難な時代に、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、児童生徒に一人一人の能力や適性等に応じて、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を身に付けさせることで、児童生徒が新しい時代を切り拓くための「確かな学力」を育成することを目指す。

- ▶ 鹿児島学力・学習状況調査の実施
- ▶ CBT問題研究委員会の実施
- ▶ 英語担当教員の指導力向上プログラムの実施
- ▶ 家庭学習マイゴールチャレンジの推進



○ 未来を創る資質・能力育成事業

(7,539千円)

令和の教育改革の理念に基づき、社会の変化を乗り越え、未来の社会の創り手となる生徒の資質・能力の確実な育成を目指す。研究指定校や研究推進員と授業改善の研究、科学技術コンソーシアムの創設と構築、高校生探究コンテスト開催をとおして、教員の指導力や総合的な探究の時間の質の向上を推進する。

- ▶ 学びの深化プログラム
- ▶ 探究の真価プログラム



① 確かな学力の育成 (義務教育課・高校教育課・教職員課・教育DX推進室)

【令和8年度予算額 449,771千円】

学習者が主体となる「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図り、児童生徒の基礎的・基本的な知識及び技能、思考力、判断力、表現力等、主体的に学習に取り組む態度を育成する教育の推進



小・中学校

校種間の連携

県立高校

- 「学習者主体の授業」への改善推進事業
- 新時代の「確かな学力」育成推進事業
- 世界で輝け！英語コミュニケーション能力育成事業
- 教室から世界へ！かごしまグローバルクラスルーム事業
- 「新たな教職員の学び」協働開発推進事業
- ICT教育推進・人材育成事業

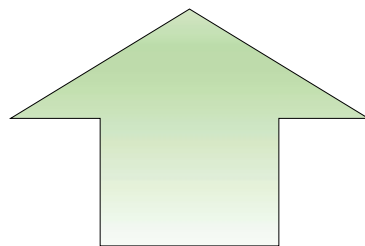
- 世界をつなぐ英語コミュニケーション能力育成事業
- 未来を創る資質・能力育成推進事業
- 教室から世界へ！かごしまグローバルクラスルーム事業
- ICT教育推進・人材育成事業

○県総合教育センター ・ 研修事業(短期) ・ 調査研究事業

○「かごしまっ子」すくすくプラン ○少人数指導の充実 ○中学校免許外教科担任解消事業

学習指導要領
の確実な実施

児童生徒の実態や
課題への対応



施策の
方向性

教員の指導法
の改善・指導力の
向上

基礎的・基本的な知識
及び技能の活用や問題解決
的な学習等の推進

児童生徒の学力
学習状況の的確な
把握

ICTの効果的な利活用

② 特別支援教育の推進

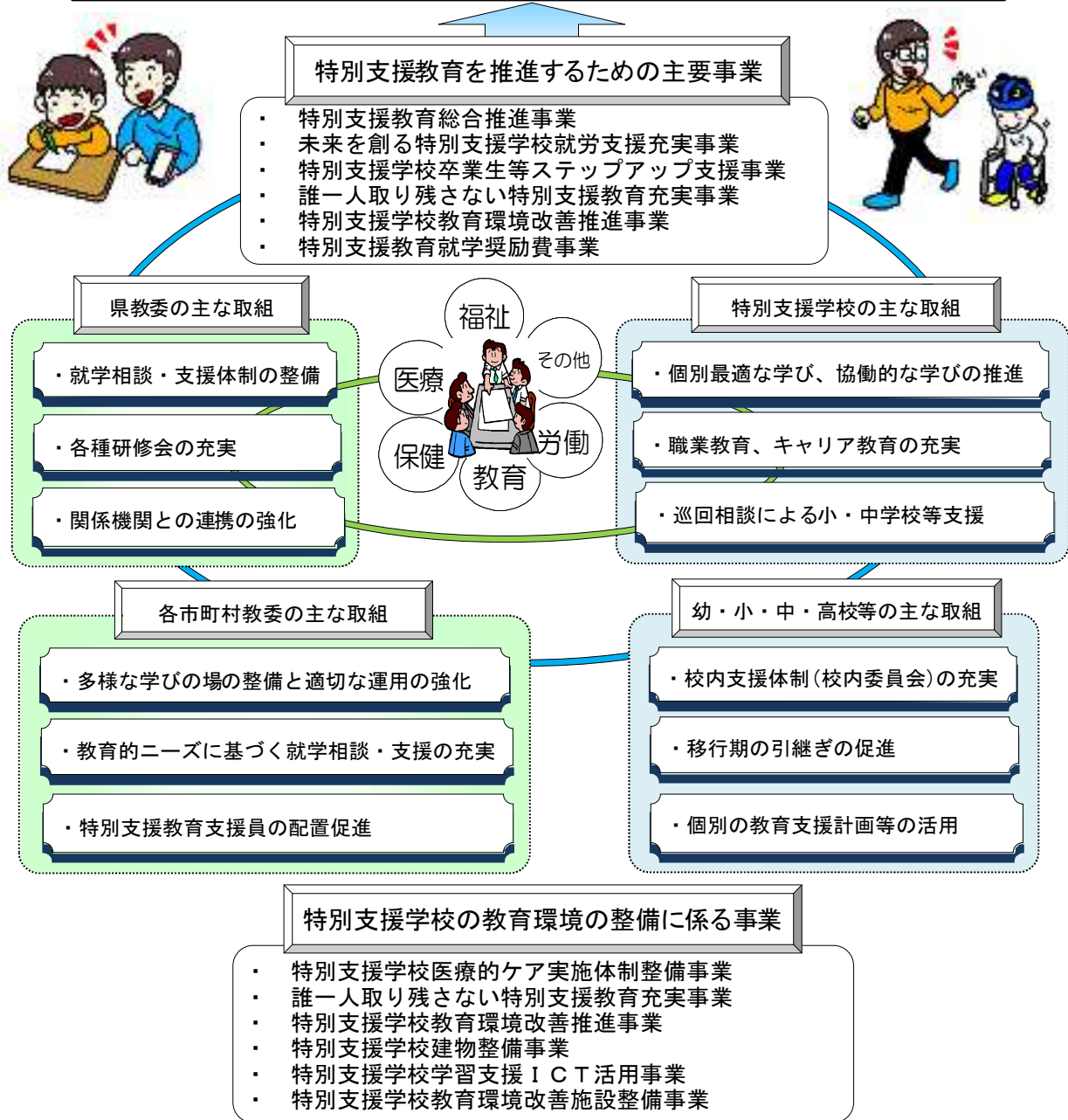
- 障害のある幼児児童生徒に対する正しい理解と認識を図るとともに、相談・支援体制の更なる充実に努めます。
- 多様で柔軟な学びの場を整備するとともに、障害の状態等に応じて適切な指導や必要な支援を受けることができるよう、一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援の一層の充実に努めます。
- 特別な支援が必要な児童生徒を支える校内支援体制、地域支援体制の更なる向上を図ります。
- 県内の全教員等がそれぞれのキャリアステージに応じて特別支援教育に関する知識等を十分に身に付けることができるよう、研修推進体制の充実に努めます。
- 医療的ケア児及びその家族に対する支援の充実に努めるとともに、医療的ケア児等支援センターをはじめとする、医療、福祉、保健等の関係機関と一層の連携を図ります。
- 本県の地理的特色を踏まえた多様な学びの場の整備に努めます。
- 特別支援学校においては、幼児児童生徒の障害特性や教育的ニーズ等に応じた指導・支援の一層の充実に努めるための教職員の専門性の向上やタブレット端末等の支援機器等の整備、分置に向けた取組の推進に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○全ての学校における特別支援教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 交流及び共同学習の積極的推進 ▶ 個別の指導計画等の活用による校内支援体制の充実 ▶ 基礎的環境整備の推進及び適切な合理的配慮の提供 ▶ 特別支援教育支援員の配置の促進 ▶ 高等学校における通級による指導の促進 		－ 特別支援教育課
☑特別支援教育総合推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 県立高校における特別支援教育支援員の配置 	8校 10人 10校 10人	40,616 "
○未来を創る特別支援学校就労支援充実事業 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 特別支援学校技能検定の実施 ▶ 各学校での就労ネットワーク会議の開催 ▶ 就労支援コーディネーターの配置 		2,926 "
○特別支援学校医療的ケア実施体制整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 特別支援学校における非常勤看護師の配置 ▶ 教員等を対象とした「たん」の吸引等研修会 ▶ 看護師を対象とした専門性向上研修会 ▶ 特別支援学校における医療的ケアに関する運営協議会 	12校 41人	152,807 "
☑特別支援学校卒業生等ステップアップ支援事業		20,264 "
○誰一人取り残さない特別支援教育充実事業 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 医療的ケア児通学支援モデル事業 ▶ 巡回型通級指導教室開設のためのモデル事業 ▶ 離島における特別支援教育充実事業 		17,670 "
○特別支援学校教育環境改善推進事業		336 "
○特別支援教育就学奨励費事業 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 保護者等の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学に必要な経費を補助 		326,697 "
○教員経験年次別等研修事業(再掲)→p. 66 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 訪問教育等担当教員研修会 ▶ 特別支援学級等新任担当教員研修会 		45,217 義務・高校教育課 特別支援教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66	25講座 436人	8,564 義務教育課
○特別支援学校学習支援ICT活用事業(再掲)→p. 46		32,206 教育DX推進室
○特別支援学校パソコン整備事業(再掲)→p. 46		4,000 "
○特別支援学校指導者用コンピュータ配備事業(再掲)→p. 46		22,081 "
○特別支援学校建物整備事業(再掲)→p. 69		1,268,320 学校施設課
○特別支援学校教育環境改善施設整備事業(再掲)→p. 69		1,833,495 "
○特別支援学校施設整備管理運営事業(再掲)→p. 69 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 施設整備に併せて必要となる備品や附帯設備の移設等 		2,048 "
○特別支援学校管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 教材備品等及び特別支援教育に必要な設備の整備 		23,514 "
施策予算額計		3,800,761

② 特別支援教育の推進（特別支援教育課・義務教育課・高校教育課・教育DX推進室・学校施設課）

【令和8年度予算額 3,800,761千円】

特別な支援の必要な子ども一人一人の教育的ニーズに応える適切な指導及び必要な支援の充実、一貫した支援体制の整備



【主な事業】

- 誰一人取り残さない特別支援教育充実事業(17,670千円)
 特別な支援を必要とする児童生徒一人一人の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できるように、多様な学びの場の充実を図るとともに、保護者への支援や本県の地理的特色に応じた広域的な特別支援教育体制の整備を行う。
 - ▶ 医療的ケア児通学支援モデル事業
 - ▶ 巡回型通級指導教室開設のためのモデル事業
 - ▶ 離島における特別支援教育充実事業



③ キャリア教育の推進

- 発達の段階に応じた体系的・系統的なキャリア教育を、学校の教育活動全体を通じて推進し、「キャリア・パスポート」等を活用し、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会を構成する一員として自分らしい生き方を実現していくキャリア発達を促進します。
- 子供たちが自分の生き方、働き方について考え、勤労観や職業観を自ら育み、自己実現を図るためのキャリア教育の充実に努めます。
- 社会的・職業的自立に向けて必要となる基礎的・汎用的な能力の更なる育成を図り、多様化する生き方に対応します。
- キャリア教育に関する教員の研修を充実させ、指導力の向上を図ります。
- 勤労観・職業観等を育成するため、企業や経済団体など関係機関との連携の更なる強化を図ります。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
拡 かごしま次世代キャリア創造推進事業	27,847	高校教育課
○未来を拓くキャリア教育推進事業	—	〃
○郷土教育推進事業(再掲)→p.43		
▶地域を担う次世代人材育成プロジェクト	3,312	〃
▶かごしまの産学連携プログラム「アカデミック・インターンシップ」推進事業	2,045	〃
○かごしまの食と農を未来につなぐ農業教育推進事業(再掲)→p.39	5,931	〃
○中学生の職場体験学習の継続的な推進	—	義務教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p.66 2講座 65人	8,564	〃
○未来を創る特別支援学校就労支援充実事業(再掲)→p.35	2,926	特別支援教育課
施策予算額計	50,625	

【主な事業】

拡 かがしま次世代キャリア創造推進事業
(27,847千円)
高校生のキャリア形成や県内就職を含む進路選択を支援するため、高校教育課及び県立高校に配置しているキャリアガイダンススタッフによる就職支援を充実させ、これまで主な対象としていた3年生に加え、1・2年生の早期段階から、地域産業と連携した実践的なキャリア教育を推進するとともに、生徒一人一人の適性や希望に応じた進路支援体制を整備する。



○ かがしまの産学連携プログラム「アカデミック・インターンシップ」推進事業
(2,045千円)
大学や企業等の魅力を発見させ、鹿児島で働くことや暮らすことへの意識を醸成するため、産学連携の取組を実践している県内企業や大学等で講演会、インターンシップ等を実施する。



③ キャリア教育の推進（高校教育課・義務教育課・特別支援教育課）

【令和8年度予算額 50,625千円】

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成
（自分らしい生き方を実現していくキャリア発達の促進、ウェルビーイングの向上）

キャリア教育

高校

将来の社会参画を具体的に見据えて、自己の在り方や生き方を考え、その実現に向け必要な能力や態度を育成する。

- 【未来を拓くキャリア教育推進事業】
- ・キャリア形成のための学校への講師派遣事業
 - ・中・高校生のインターンシップ事業
- 【かごしま次世代キャリア創造推進事業】
- 【特別活動、総合的な探究の時間、各教科等】

中学校

将来の生き方・働き方について考え、目的意識をもって進路選択を行い、実現しようとする能力や態度を育成する。

- 【未来を拓くキャリア教育推進事業】
- ・キャリア形成のための学校への講師派遣事業
 - ・中・高校生のインターンシップ事業
- 【特別活動、各教科、道徳科、総合的な学習の時間】

小学校

夢や希望をもち、目標に向けて努力する態度を育成する。

- 【未来を拓くキャリア教育推進事業】
- ・キャリア形成のための学校への講師派遣事業
- 【特別活動、各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間】

連携協力

連携協力

情報提供

情報提供

家庭・保護者の教育力

（役割）

- ・児童生徒の成長・発達を支える重要な場
- ・職業生活の実際ややりがいを感じさせる
- ・学校と連携し、キャリア教育を実践する

地域・企業・関係機関の教育力

- 県内経済7団体
（県商工会議所連合会
経済同友会等）
- 公共職業安定所
- 商工労働水産部
- 県総合教育センター
（地域社会の役割）
- ・企業からの講師派遣
- ・インターンシップ、職業体験の理解と受け入れ
- ・情報交換会等

※発達段階に応じた体系的な実施
※基礎的・汎用的能力の育成を中心とした様々な教育活動

「精神的・社会的自立が遅れる傾向」や「勤労観・職業観の未熟さ」など発達上の課題



- ・雇用形態の多様化・流動化
- ・学校から職業への移行に問題を抱える若者の増加 等

④ 産業教育の推進

- 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を育成します。
- インターンシップなどの職業教育や地域と連携した探究活動等を通じて、地域や産業界の声を聞くとともに、産業界と高等学校とが一体となって、地域を支える最先端の職業人の育成を行います。
- グローバル化する社会の持続的な発展に向けて、常に学び続ける人材の育成に努めます。
- 急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出していく精神（アントレプレナーシップ）を備えた人材の育成を図ります。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○県産業教育審議会の提言を基にした各専門高校の取組の推進	—	高校教育課
○生徒の専門性の高い技術の習得や高度な職業資格・検定の取得推進	—	〃
○専門高校活性化のための関係機関との連携	—	〃
○郷土教育推進事業(再掲)→p. 43		
▶ 地域を担う次世代人材育成プロジェクト	3,312	〃
▶かごしまの産学連携プログラム「アカデミック・インターンシップ」推進事業	2,045	〃
○地区専門高校フェスタ	—	〃
○ かごしまの食と農を未来につなぐ農業教育推進事業	5,931	〃
〔 拡 〕かごしま次世代キャリア創造推進事業(再掲)→p. 37	27,847	〃
○未来を拓くキャリア教育推進事業(再掲)→p. 37	—	〃
○県立高校パソコン整備事業(再掲)→p. 46	121,478	教育DX推進室
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66 1講座 10人	8,564	義務教育課
○産業教育施設整備事業	207,500	学校施設課
▶実習施設の改修等 2校		
○産業教育設備整備事業	109,385	〃
▶産業教育のための実験・実習設備の整備等(更新を含む) 20校		
〔 新 〕実習船「拓青」代船建造事業	7,172	〃
施策予算額計	493,234	

【主な事業】

- **地域を担う次世代人材育成プロジェクト**
(3,312千円)
地域を担う次世代人材を育成するため、地域と連携・協働して地域を題材とした探究的な学びや、実践的な専門的職業人材育成を推進する。



- **かごしまの食と農を未来につなぐ農業教育推進事業**
(5,931千円)
視野の広い農業の担い手を育成するため、農業高校生を対象とした国内外での現地研修や、農業教員を対象とした技術及び指導力向上研修等を実施する。



④ 産業教育の推進（高校教育課・義務教育課・学校施設課・教育DX推進室）

【令和8年度予算額 493,234 千円】

専門高校の活性化と産業教育の充実

- 1 県産業教育審議会の提言の具体化
- 2 地域の産業社会と連携した職業人材の育成
- 3 専門高校や専門学科の主体的な地域連携や特色ある教育活動の充実
- 4 農業従事者の確保・育成の充実

産業教育の充実

- 1 産業教育審議会
 - 産業教育に関する教育の内容及び方法の改善等について調査審議する。
 - 委員は産業界、学識者、国行政等から選出された15人で構成

- 2 地区専門高校フェスタ
 - 県内5地区で実施
【鹿児島・日置、南薩、北薩、始良・伊佐、大隅】
 - 専門高校の魅力を地域に紹介し、小・中学生の進路選択の意識を高める。
【主催】県産業教育振興会

- 3 施設設備の充実
 - 産業教育施設整備事業
 - 産業教育設備整備事業
 - 県立高校パソコン整備事業
 - 実習船「拓青」代船建造事業

専門高校の活性化

- 1 かごしまの食と農を未来につなぐ農業教育推進事業
 - 農業高校生の海外研修
 - 農業教員のアグリテックマイスター研修
 - 農業教員のフードテックマイスター研修
 - 農業高校生のコラボレーションチャレンジ
 - 農業高校生のアグリビジネス視察研修
 - 農業高校の農産物ブランド化プロジェクト

- 2 郷土教育推進事業
 - 地域を担う次世代人材育成プロジェクト

- 3 教職員研修事業
 - 専門研修（短期研修）
 - 課題研修（長期研修・継続研修）

【連携先】

- 関係行政機関 ○県内各経済団体、企業等
- 小・中学校、短大、大学、研究機関等 ○各教科教育研究会

施策の方向性

- 産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度の育成
- 産業界と高等学校が一体となった地域を支える最先端の職業人の育成
- グローバル化する社会の持続的な発展に向けて、常に学び続ける人材の育成
- 新たな価値を生み出していく精神を備えた人材の育成

⑤ 幼児教育の充実

- 幼稚園等において、小学校以降の教育を見通し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、その土台となる、非認知能力を含む学びに向かう力、知識及び技能の基礎、思考力・判断力・表現力等の基礎を育成することができるよう、関係部局との連携を密にし、幼児教育全体の質の向上に努めます。
- 特別な配慮を必要とする子供を含む全ての子供のウェルビーイングを高めるという観点から、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、遊びを通して育まれる「自立心」や「協同性」などの「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、幼稚園等と小学校等が連携・協働した取組の一層の推進を図ります。
- 幼稚園等、家庭、地域の連携により、幼稚園等を活用した子育ての支援に係る取組を推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○幼児教育の充実 ▶ 幼稚園新規採用教員研修事業 ▶園長等運営管理協議会 ▶幼稚園・小学校教育課程研究協議会 ▶保育技術協議会	2,457	義務教育課
○幼稚園中堅教諭等資質向上研修 園内8日 園外7日	—	〃
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p.66 1講座 10人	8,564	〃
○施設型給付費	18,082,233	※子育て支援課
○子ども・子育て支援総合対策事業	716,947	〃
○子ども・子育て総合推進事業 ▶鹿児島県子ども・子育て支援会議の運営等	1,092	※子ども政策課
○ 幼児教育センター設置運営事業	12,164	※子育て支援課
施策予算額計	18,823,457	

【主な事業】

- 幼稚園新規採用教員研修事業(2,457千円)
幼稚園教諭の新任者に対し、職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を実施する。
▶幼稚園新規採用教員研修の実施(園内11日,園外6日)
▶「研修の手引」の作成(新任教員用・研修指導員用)
▶幼稚園新規採用教員研修運営協議会
- 幼児教育センター設置運営事業(12,164千円)
幼児教育・保育の質の向上を図るため、幼児教育センター・幼児教育アドバイザーを設置し、幼児教育アドバイザーによる幼稚園等への訪問助言等を行う。
▶幼児教育センターの4つの機能
① 研修 ② 助言 ③ 幼保小接続 ④ 情報発信

⑤ 幼児教育の充実（義務教育課・子育て支援課・子ども政策課）

【令和8年度予算額 18,823,457千円】

幼 児 教 育 の 充 実

- 幼児教育の質の向上
- 幼稚園等を活用した子育て支援に係る取組の推進

- | | |
|---|--|
| <p>1 幼児教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none">・ 幼稚園新規採用教員研修・ 研修の手引作成・ 幼稚園新規採用教員研修運営協議会（幼稚園新規採用教員研修実施要項研修計画等）・ 園長等運営管理協議会・ 幼稚園・小学校教育課程研究協議会・ 保育技術協議会 | <p>2 幼稚園中堅教諭等資質向上研修</p> <p>3 県総合教育センター研修事業</p> <p>4 子ども・子育て支援総合対策事業</p> <p>5 子ども・子育て総合推進事業</p> <p>6 幼児教育センター設置運営事業</p> |
|---|--|

義務教育課・県総合教育センター

- ・ 幼稚園新規採用教員研修の企画、実施、運営及び研修の手引作成
- ・ 幼稚園中堅教員等資質向上研修の企画、実施、運営
- ・ 幼児教育短期研修講座の企画、実施、運営
- ・ 幼稚園・小学校教育課程研究協議会、園長等管理運営協議会及び保育技術協議会の企画、実施、運営

子育て支援課・子ども政策課

- ・ 幼保連携型認定こども園保育教諭研修の企画、実施、運営
- ・ 幼稚園新規採用教員研修の運営協力
- ・ 施設型給付費
- ・ 子ども・子育て支援総合対策事業
- ・ 子ども・子育て総合推進事業
- ・ 幼児教育センター設置運営事業

連携・協力

幼稚園

認 定
こども園

保育所

⑥ 郷土教育の推進

- 各学校において、郷土芸能や伝統産業を体験する活動や先人の業績や生き方について学ぶ活動などの充実を図り、鹿児島県の魅力を伝えることができる人材の育成に努めます。
- 我が国や郷土の伝統や文化を受け止め、日本人としての美徳やよさを生かし、それらを継承・発展させるための教育を推進します。
- 地域行事への参加など、地域の中で児童生徒を育成する素地を生かすとともに、青少年社会教育施設や地域の歴史民俗資料館などの利用促進なども含め、郷土教育の推進を図ります。
- 郷土に誇りをもち、未来を担う子供たちを育てるために、教職員が鹿児島県の地理、歴史、伝統、文化、豊かな自然等についての理解を深め、教育実践がなされるよう、郷土教育に関する教職員の資質の向上を図ります。
- 鹿児島県の貴重な伝統文化の継承について、関係機関と連携し、継承できる仕組みづくりなどの取組に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○「学習者主体の授業」への改善推進事業(再掲)→p. 32	7,227	義務教育課
○「かごしまジュニア検定」などの児童生徒の受検や教員研修での活用の推進	—	〃
○各学校における郷土教育の推進	—	〃
○中学生の職場体験学習の継続的な推進(再掲)→p. 37	—	〃
○食農体験学習の推進	—	〃
○文化財等研修講座	74	文化財課
○かごしま無形民俗文化財(民俗芸能)伝承活動表彰(再掲)→p. 88	—	〃
○学校等における文化財伝承活動情報提供事業(再掲)→p. 88	—	〃
○ジョイJ O Yじょうもん事業(再掲)→p. 88	1,500	〃
○学ぼう郷土の自然! 移動博物館事業(再掲)→p. 88	1,163	〃
○南の縄文文化魅力発信事業(一部再掲)→p. 88	246	〃
○発掘調査中の遺跡の公開(再掲)→p. 88	—	〃
○鹿児島をまるごと味わう学校給食(再掲)→p. 26	43市町村	保健体育課
○子ども会、青年団、PTA、公民館活動等における郷土教育への支援	—	社会教育課
○青少年社会教育施設における郷土教育の推進	—	〃
○コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業 (再掲)→p. 74	827	〃
○郷土教育推進事業	12,356	
▶ 鹿児島県の未来を担う青少年の志を育む事業「かごしま 夢 有為塾」		社会教育課
▶ かごしま青年塾運営事業		〃
▶ 地域を担う次世代人材育成プロジェクト		高校教育課
▶ かごしまの産学連携プログラム「アカデミック・インターンシップ」推進事業		〃
▶ 「かごしまの文化財を見る、聞く、ふれる」事業		文化財課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66	7講座77人	義務教育課
○かごしま地域伝統芸能ミュージアム(再掲)→p. 87	—	※文化振興課
○かごしま文化芸術活動促進事業(再掲)→p. 86	1,025	〃
○ほこらしや奄美音楽祭開催事業(再掲)→p. 87	5,924	〃
○「鹿児島県方言週間」普及啓発事業(再掲)→p. 87	—	〃
○「県民の日7. 14」記念事業(再掲)→p. 87	802	〃
○「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業(一部再掲) →p. 88	2,123	※世界文化遺産室
施策予算額計	41,831	

【主な事業】

○ 郷土教育推進事業（12,356千円）

将来鹿児島に住み郷土の発展を支えようとする人材を育成するため、鹿児島の歴史、伝統、文化、産業、地域の特性等を理解し、ふるさとに誇りを持つことができるよう、郷土教育の充実を図る。

- ▶ 鹿児島の未来を担う青少年の志を育む事業
「かごしま 夢 有為塾」
- ▶ かごしま青年塾運営事業
- ▶ 地域を担う次世代人材育成プロジェクト
- ▶ かごしまの産学連携プログラム「アカデミック・インターンシップ」推進事業
- ▶ 「かごしまの文化財を見る、聞く、ふれる」事業



○ 各学校における郷土教育の推進

郷土鹿児島に誇りをもち、鹿児島の魅力を語れる児童生徒を育てるために、郷土の素材を生かして郷土理解を深めさせる体験的な学習の促進、教職員の研修の充実、関係機関と連携した伝統文化の継承など、郷土教育の推進を図る。

- ▶ 郷土素材の収集や教材開発、校内研修の充実
- ▶ 「かごしまの心」「続 郷土の先人『不屈の心』」等の活用
- ▶ 「かごしまジュニア検定」の推進



⑥ 郷土教育の推進 (義務教育課・高校教育課・保健体育課・社会教育課・文化財課・文化振興課・世界文化遺産課)

【令和8年度予算額 41,831千円】

伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養い、これからの社会づくりに貢献できる人間の育成

学校における郷土活動

- 各学校における郷土教育の推進
- 「かごしまタイムトラベル」の活用
- 「かごしまジュニア検定」の活用
- 「かごしまの心」「続 郷土の先人『不屈の心』」等の活用
- 職場体験学習の継続的な推進
- 食農体験学習の推進
- 「学習者主体の授業」への改善推進事業
- 県総合教育センター研修事業（短期）
- 「県民の日」における郷土教育の取組
- 鹿児島島の自然や文化財についての出前授業等の実施

地域社会における郷土活動

- 子ども会、青年団、PTA、公民館活動等における郷土教育への支援
- 青少年社会教育施設における郷土教育の推進
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 鹿児島島の未来を担う青少年の志を育む事業「かごしま 夢 有為塾」
- かごしま青年塾運営事業
- かごしま無形民俗文化財（民俗芸能）伝承活動表彰
- 学校等における文化財伝承活動情報提供事業
- ジョイJOYじょうもん事業
- 学ぼう郷土の自然！移動博物館事業
- 「調べよう！郷土の自然 ジュニア学芸員養成講座」事業
- 南の縄文文化魅力発信事業における学校での「授業支援」
- 発掘調査中の遺跡の公開
- 鹿児島島をまるごと味わう学校給食

地域や関係機関との連携

郷土を学ぶ

郷土で学ぶ

施策の方向性

鹿児島島の魅力と語る人材の育成

伝統的な地域の教育力の活用

郷土教育に関する教職員の資質向上

伝統文化の継承に関する関係機関との連携

⑦ 教育の情報化の推進

- 教科指導等におけるICTの効果的な活用により、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うとともに、情報や情報技術を主体的に選択し活用していく力や情報技術を手段として効果的に活用していく力の育成に努めます。
- 生成AI等、技術の発達により新たな情報技術が生み出され、今後も急速に情報社会が発展していくことから、それらを効果的に活用することに加え、情報や情報技術を適切かつ安全に活用していくために必要な、人権の尊重や危険回避、健康との関わりなどの理解と態度を育成する情報モラル教育の充実を図ります。
- 離島や小規模校等が多いことも踏まえ、遠隔教育システムを効果的に活用した授業実践の充実に努めます。
- 小・中・高校の発達の段階を踏まえたプログラミング教育や教科「情報」の指導の充実に努めます。
- 教育データ等の効果的な活用により、個別に最適化されたきめ細かな指導を目指すとともに、校務における活用を含めてICTを積極的に活用した学校の事例の情報発信に努めます。
- 国のICT環境の整備方針等に基づき、学校におけるICT環境整備の推進に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○教育DX推進事業	20,057	教育DX推進室
○ICT教育推進・人材育成事業	27,482	〃
○魅力ある県立高校づくり推進事業(再掲)→p.62	2,833	高校教育課
○高等学校DX加速化推進事業	221,922	教育DX推進室
○情報教育研修推進事業(高等学校等情報教育継続研修)1年間20日5人	483	義務教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p.66 31講座 633人 ▶ 情報教育(情報モラル)、GIGAスクール構想の推進、校務の情報化	8,564	義務教育課
○県立高校パソコン整備事業	121,478	教育DX推進室
新県立高校ICT環境整備事業	145,695	〃
○県立学校校務用パソコン等整備事業	332,137	〃
○統合型校務支援システム維持管理事業	12,209	〃
○特別支援学校学習支援ICT活用事業	32,206	〃
○特別支援学校パソコン整備事業	4,000	〃
○特別支援学校指導者用コンピュータ配備事業	22,081	〃
○鹿児島県公立学校情報機器等整備費補助事業	1,061,380	〃
施策予算額計	2,012,527	

【主な事業】

- **教育DX推進事業** (20,057千円)
本県の教育の情報化を推進するため、推進連絡協議会を開催するとともに、GIGAスクール運営支援チームを設置し、学校ICTの専門家等による学校や市町村教育委員会への指導・支援等を行う。



【かごしま「教育の情報化」フォーラム】

- 新** **県立高校ICT環境整備事業** (145,695千円)
県立高校において、生徒の個に応じた学習効果を高める観点から、生徒が自分に合った学習者用タブレット端末を選択の上、自ら管理し学校や家庭で利用できるよう、端末の購入が困難な生徒に対して、購入に要する経費の補助を行う。



【県立学校情報セキュリティ担当者及びICT活用推進担当者研修会】

- **鹿児島県公立学校情報機器等整備費補助事業** (1,061,380千円)
鹿児島県公立学校情報機器整備基金を活用し、義務教育段階の公立学校における情報機器の更新等を円滑に行うため、共同調達等に係る会議体を設置し、学習者用端末の整備を行うとともに、市町村が行う整備の補助を行う。



【学習者端末を活用した学びの様子】

情報活用能力を駆使し、他者と協働して
主体的に課題を解決する児童生徒の育成

児童生徒の情報活用能力向上

- 教育DX推進事業
- ICT教育推進・人材育成事業
- 魅力ある県立高校づくり推進事業
- 高等学校DX加速化推進事業
- 特別支援学校学習支援ICT活用事業

校務DXの推進

- 県立高校パソコン整備事業
- 特別支援学校パソコン整備事業
- 県立高校ICT環境整備事業
- 県立学校校務用パソコン等整備事業
- 統合型校務支援システム維持管理事業
- 特別支援学校学習支援ICT活用事業
- 特別支援学校指導者用コンピュータ配備事業
- 鹿児島県公立学校情報機器等整備費補助事業

教職員の資質向上

- 教育DX推進事業
- ICT教育推進・人材育成事業
- 情報教育研修推進事業
（高等学校等情報教育継続研修）
- 県総合教育センター研修事業
 - ・情報教育（情報モラル）
 - ・GIGAスクール構想の推進
 - ・校務の情報化

関係する法律及び計画等

鹿児島県

- 第4期鹿児島県教育振興基本計画 (R6.2)
- 未来を創る鹿児島「教育の情報化」推進プランVer.2.0 (R8.3)

文部科学省

- 学校教育の情報化の推進に関する法律 (R元.6)
- 学校教育情報化推進計画 (R4.12)
- 次世代校務DXガイドブック (R7.3)
- 初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン2.0 (R6.12)

⑧ 国際理解教育の充実

- 小中学校においては、ALT等と実際の生活場面に即したコミュニケーション等を体験することで、外国語に楽しく慣れ親しみ、海外についての興味・関心を高めていくことができるように努めます。
- 各学校段階において、これからの国際社会において自ら思考し判断し、言語や文化が異なる人々と主体的に協働していくことができる児童生徒の育成に努めます。
- グローバル化に対応した英語教育の充実を図るため、国の動向を踏まえ、学習指導要領の着実な実施など、計画的な取組を推進します。
- 日本や外国の言語や文化を理解し、日本や鹿児島への愛着や誇りを持ちつつ、グローバルな視野で活躍するための資質・能力をもった児童生徒の育成に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○「学習者主体の授業」への改善推進事業(再掲)→p. 32	7,227	義務教育課
○世界で輝け!英語コミュニケーション能力育成事業	2,486	〃
○世界をつなぐ英語コミュニケーション能力育成事業	2,283	高校教育課
○教室から世界へ!かごしまグローバルクラスルーム事業	19,544	高校・義務教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66 12講座 231人	8,564	義務教育課
○ALT活用推進事業	217,818	高校教育課
○グローバル人材育成促進事業	4,800	〃
○鹿児島県青少年海外ふれあい事業	2,579	※青少年男女 共同参画課
○薩摩スチューデント派遣事業	4,192	※国際交流課
施策予算額計	269,493	

【主な事業】

- 世界で輝け!英語コミュニケーション能力育成事業

(2,486千円)

小中学生の英語コミュニケーション能力の育成を図り、グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、英語によるコミュニケーションを体験するイングリッシュ・デイなどを実施する。

▶ Let's Enjoy English Day



- 世界をつなぐ英語コミュニケーション能力育成事業

(2,283千円)

英語コミュニケーション能力の育成を図り、グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、英語によるコミュニケーションを体験する高校生イングリッシュトレーニングキャンプ等を実施する。

▶ English Café in Kagoshima

▶ 高校生イングリッシュトレーニングキャンプ



- 教室から世界へ!かごしまグローバルクラスルーム事業

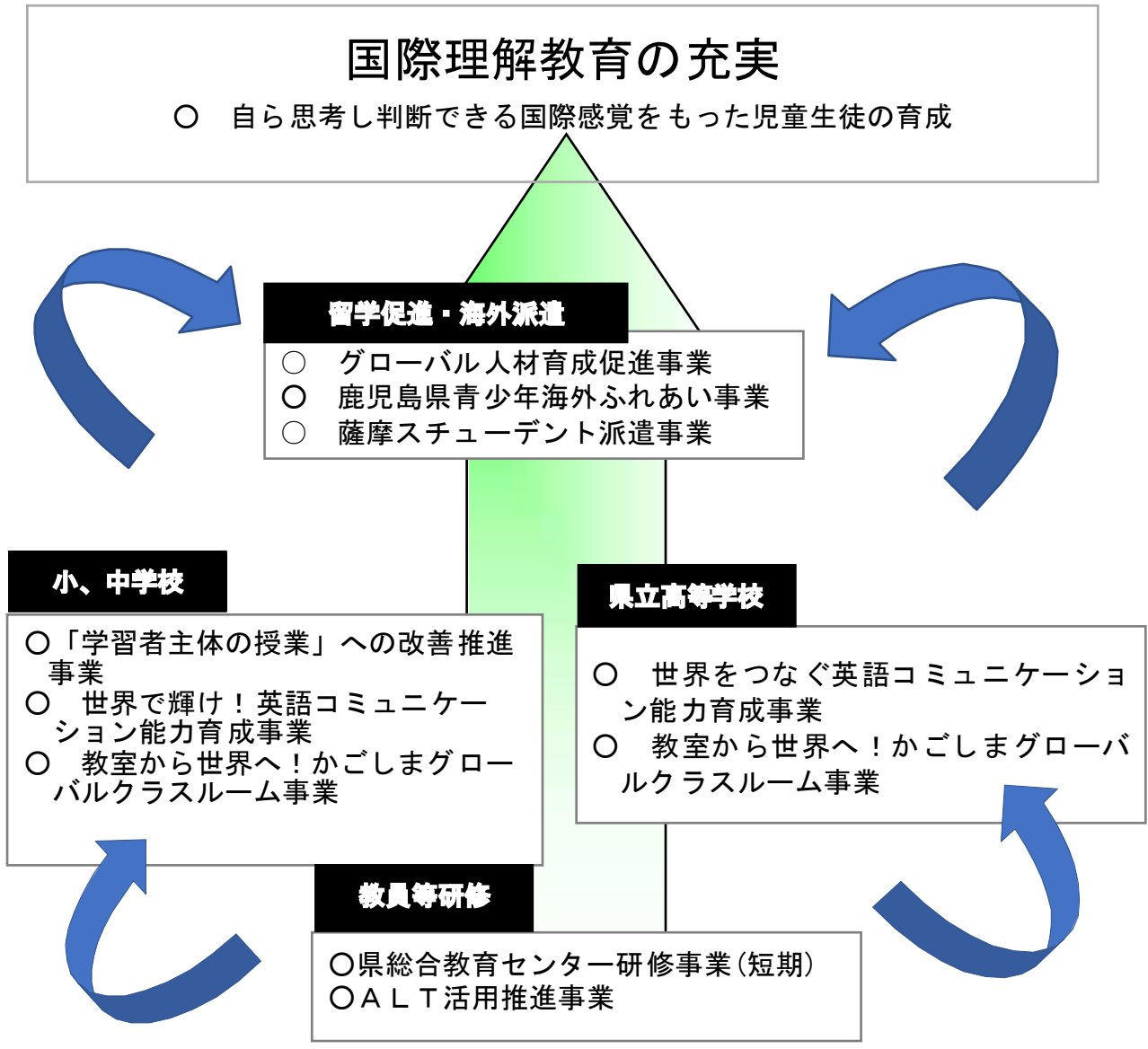
(19,544千円)

語学力の向上と国際意識の醸成を図るため、海外の学校と年間を通じてオンラインで交流するとともに、交流先の学校等へ生徒を派遣する。



⑧ 国際理解教育の充実（高校教育課・義務教育課・青少年男女共同参画課・国際交流課）

【令和8年度予算額 269,493千円】



- 各学校段階において、これからの国際社会において自ら思考し判断し、言語や文化が異なる人々と主体的に協働していくことができる国際感覚をもった児童生徒の育成に努めます。
- グローバル化に対応した英語教育の充実を図るため、国の動向を踏まえ、学習指導要領の着実な実施など、計画的な取組を推進します。
- 日本や外国の言語や文化を理解し、日本や鹿児島への愛着や誇りを持ちつつ、グローバルな視野で活躍するための資質・能力をもった児童生徒の育成に努めます。

⑨ 消費者教育の充実

- 児童生徒が自立した消費者として健全な消費生活を送ることができるようになるために、学校教育段階において学習指導要領に基づき消費者教育の充実に努めます。
- これからの変化の激しい社会において、自ら思考し判断することのできる金銭・金融感覚を持った児童生徒の育成を図ります。
- 成年年齢の引き下げに対応した契約の重要性や、消費者保護に関する指導の充実に努めます。
- 情報機器等を利用した架空請求など、多様化する問題に対応する能力を育成します。
- 外部の関係機関等と連携して、より実践的な指導の充実に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○金融経済教育研究校による実践研究の推進	—	義務教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66 ▶消費生活についての学習指導の工夫に関する講座 2講座 20人	8,564	〃
○外部講師による消費者教育教室など、より実社会に対応した消費者教育の充実	—	高校教育課
○社会教育指導者養成事業(再掲)→p. 74 ▶消費生活に関する研修や情報の提供	443	社会教育課
○消費者教育・啓発	3,779	※消費者行政推進室
施策予算額計	12,786	

【主な事業】

- 金融経済教育研究校による実践研究の推進
2年間の研究指定を受けた金融経済教育研究校において、実践的な研究を行うとともに、その研究成果の普及を図る。
▶金融経済教育研究校での実践研究
▶金融経済教育協議会での成果報告(2月)



- 消費者教育・啓発 (3,779千円)
消費生活に関する啓発広報や情報提供、講座の開催等を行うことにより、消費者トラブルの未然防止を図る。
▶トラブル事例や相談窓口に関する啓発広報事業の実施(若年者向け消費者啓発動画の配信等)
▶くらしの情報紙「マイライフかごしま」の発行(8・1月の計2回、各5千部発行し、全市町村、消費者関係団体、一般県民等に配布)
▶若年者対象消費生活講座の開催(学校や市町村等からの要請に応じ消費生活に関する啓発講座を開催)



⑨ 消費者教育の充実（高校教育課・義務教育課・社会教育課・消費者行政推進室）

【令和8年度予算額 12,786千円】

消費者教育の充実

児童生徒が自立した消費者として健全な消費生活を送ることができる。



学 校

連携

関係機関

- これからの変化の激しい社会において、自ら思考し判断することのできる金銭・金融感覚を持った児童生徒の育成
- 成年年齢の引き下げに対応した契約の重要性や、消費者保護に関する指導の充実
- 情報機器等を利用した架空請求など、多様化する問題に対応する能力を育成
- 外部の関係機関等と連携して、より実践的な指導の充実
 - ・ 金融経済教育研究校による実践研究の推進
 - ・ 県総合教育センター研修事業(短期)
 - ▶ 消費生活についての学習指導の工夫に関する講座
 - ・ 外部講師による消費者教育教室など、より実社会に対応した消費者教育の充実
 - ・ 社会教育指導者養成事業
 - ▶ 消費生活に関する研修や情報の提供
 - ・ 消費者教育・啓発

⑩ 主権者教育

- 主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一員として主体的に担うことができる力を発達の段階等に応じて身につけさせます。
- 地域課題に関する学習、租税や財政の学習、法に関する学習などについて、小・中・高等学校等において学習指導要領に基づき主権者教育の充実に努めます。
- 政治的中立性の確保に留意しながら、国家及び社会の責任ある形成者となるための政治的教養を高める教育の充実に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○外部講師による選挙の出前授業など、体験的な主権者教育の充実 ○未来を創る資質・能力育成事業	— 7,539	高校教育課 〃
(再掲)→p.32 ○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p.66 9講座 120人	8,564	義務教育課
施策予算額計	16,103	

【主な事業】

○ 未来を創る資質・能力育成事業

(7,539千円)

令和の教育改革の理念に基づき、社会の変化を乗り越え、未来の社会の創り手となる生徒の資質・能力の確実な育成を目指す。研究指定校や研究推進員と授業改善の研究、科学技術コンソーシアムの創設と構築、高校生探究コンテスト開催をとおして、教員の指導力や総合的な探究の時間の質の向上を推進する。

- ▶ 学びの深化プログラム
- ▶ 探究の真価プログラム



主権者教育の充実

- 平和的で民主的な国家・社会の形成に主体的に参画する主権者の育成

知識・技能

- 現実社会の諸課題（政治、経済、法など）に関する現状や制度及び概念についての理解
- 調査や諸資料から情報を効果的に調べまとめる技能

思考力・判断力・表現力

- 現実社会の諸課題について、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力
- 現実社会の諸課題の解決に向けて、協働的に追究し根拠をもって主張するなどして合意を形成する力

学びに向かう力・人間性等

- 自立した主体として、よりよい社会の実現を視野に国家・社会の形成に主体的に参画しようとする力

課題学習

外部機関との連携

地域課題

- 平和的で民主的な国家・社会の形成に主体的に参画する主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一員として主体的に担うことができる力を発達の段階等に応じて身につかせます。
- 地域課題に関する学習、租税や財政の学習、法に関する学習などについて、小・中・高等学校等において学習指導要領に基づき主権者教育の充実に努めます。
- 政治的中立性の確保に留意しながら、国家及び社会の責任ある形成者となるための政治的教養を高める教育の充実に努めます。
 - ・ 外部講師による選挙の出前授業など、体験的な主権者教育の充実
 - ・ 未来を創る資質・能力育成事業
 - ・ 県総合教育センター研修事業(短期)

⑪ 社会の変化に対応した教育の推進

(7) 環境教育

- 持続可能な社会の担い手の育成及びウェルビーイングの向上を図るため、学習指導要領に基づき各教科等の学習と体験的な活動を関連付けて、教科等横断的な環境教育を進めます。
- 「鹿児島県環境教育等行動計画」に基づき、学校と地域の人材や関係団体等との連携・協働を図り、地域の特性を生かした自然体験活動の取組を推進します。
- 地域の自然体験活動を通して生物多様性や外来種等への理解を深め、自然保護や環境保全への意識を高める学習を一層推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○各学校における総合的な学習の時間や総合的な探究の時間、特別活動における教育活動の推進	—	義務・高校教育課
○地域の環境保全への参加意識を育てる環境美化活動の充実	—	義務教育課
○環境教育を推進するための核となる人材の育成	—	〃
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p.66 1講座 11人	8,564	〃
施策予算額計	8,564	

【主な事業】

- 各学校における総合的な学習の時間や総合的な探究の時間、特別活動における教育活動の推進
 リサイクル、ごみの分別など学校生活における活動等、環境保全活動や環境教育の充実を図る。
 - ▶地域の環境保全活動への参加意識を育てる環境美化活動の充実
 - ▶世界自然遺産の屋久島、奄美大島、徳之島など、世界に誇る身近な地域の自然について理解を深める体験的な学習の充実

(4) 福祉教育・ボランティア活動

- 児童生徒の発達段階を踏まえた、「福祉の心」を育てる教育の充実に努めます。
- 関係機関等との連携を深め、福祉やボランティアに関する体験的な活動の充実に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○各学校における総合的な学習の時間や総合的な探究の時間、特別活動における教育活動の推進	—	義務・高校教育課
○道徳教育総合支援事業(再掲)→p.14	8,933	義務教育課
▶心の教育振興会議		
▶地区道徳教育研修会		
▶道徳教育実践地区による取組		
▶「不屈の心」「かごしまの心」等、郷土教材の活用		
▶道徳教育フォーラム		
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p.66	8,564	〃
▶福祉教育・ボランティア活動に関する講座 2講座 20人		
○県立図書館高校生ボランティア養成講座	—	社会教育課
▶図書館の事務に関する基本的な知識・技能についての研修		
○社会教育施設の主催事業におけるボランティア体験の場の提供	—	〃
施策予算額計	17,497	

【主な事業】

- 各学校における総合的な学習の時間や総合的な探究の時間、特別活動における教育活動の推進
 児童生徒の発達の段階を踏まえた「福祉の心」を育てる教育や福祉・ボランティアに関する体験活動の充実を図る。
 - ▶乳幼児・高齢者・障害者に対する思いやりの心などを醸成する道徳教育の推進
 - ▶各学校で実施される福祉・ボランティアに関する体験活動の充実

⑪ 社会の変化に対応した教育の推進（義務教育課・高校教育課・社会教育課）

【令和8年度予算額 17,497千円】

※(7)～(4)の重複事業の予算を除く

社会の変化に対応した教育の推進

- 社会の変化に柔軟に対応するための創造力の育成
- 問題を自らの力で解決していこうとする主体的な態度の育成

環境教育

- 持続可能な社会の担い手の育成及びウェルビーイングの向上を図るため、学習指導要領に基づき各教科等の学習と体験的な活動を関連付けた教科等横断的な環境教育の推進
- 「鹿児島県環境教育等行動計画」に基づき、学校と地域の人材や関係団体等との連携・協働を図り、地域の特性を生かした自然体験活動の取組の推進
- 地域の自然体験活動を通じた生物多様性や外来種等への理解及び自然保護や環境保全への意識の向上
 - ・環境美化活動の充実
 - ・県総合教育センター研修事業

福祉教育・ボランティア活動

- 「福祉の心」を育てる教育の充実
- 福祉やボランティアに関する体験的な活動の充実
 - ・道徳教育総合推進事業
 - ・県総合教育センター研修事業
 - ・県立図書館高校生ボランティア養成講座
 - ・社会教育施設の主催行事におけるボランティア体験
- 社会科、家庭科、総合的学習（探究）の時間等での学習
 - ・福祉施設の訪問活動
 - ・地域の高齢者との交流活動
 - ・車椅子体験
 - ・乳幼児との交流等 など
- 青少年赤十字活動

学

校

連 携

関係機関

Ⅲ 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進

① 開かれた学校づくり

- 各学校で実施している学校評価を基にした学校運営のP D C Aサイクルの充実・改善に努めます。
- 家庭や地域に信頼される学校づくりを進めるため、各学校が家庭や地域に説明責任を果たすことにより、学校、家庭、地域の緊密な連携を推進します。
- 保護者や地域住民への学校開放に関わる行事を推進し、県民一人一人が鹿児島県の教育について考える気運を高めます。
- 「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、学校全体で児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握するとともに、地域の教育資源や人材を生かし、教育活動の質を向上させ、学習効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントに努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○地域が育む「かごしまの教育」県民週間	337	総務福利課
○学校評価の推進	—	義務・高校教育課
▶P D C Aサイクルの充実、自己評価、学校関係者評価の充実		
○学校経営の充実(再掲)→p. 58	—	〃
▶指導主事等会議		義務教育課
▶学校訪問指導	年2回(各2日、計4日)	義務・高校教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66	8,564	特別支援教育課
▶学校組織マネジメント(校長)	2講座 26人	義務教育課
▶カリキュラム・マネジメント	1講座 10人	
○コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業(再掲)→p. 74	827	社会教育課
○第2期マイライフ・マイスポーツ運動推進事業(一部再掲)→p. 82	5,143	保健体育課
▶学校体育施設開放の推進		
○管理職研修会(校長、教頭、事務長)(再掲)→p. 58	3,127	教職員課
施策予算額計	18,040	

【主な事業】

- **地域が育む「かごしまの教育」県民週間(337千円)**
 学校・家庭・地域社会のより一層の連携と協力の下に、県民一人一人が鹿児島県の教育について考える気運を高め、本県教育の充実と発展を図る(11月1日～11月7日)。
 ▶各学校における保護者・地域住民への授業公開
 ▶ポスター原画・標語の募集、優秀作品等の表彰
 (ポスター約5千部を市町村教育委員会や県立学校等へ配布)
 ▶県民週間ポスター原画・標語入賞作品展(山形屋)
 ▶県民週間パネル展・学校施設のパネル展
 (県庁行政庁舎1階ロビー及び18階ロビー)



① 開かれた学校づくり

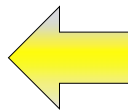
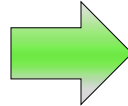
(義務教育課・総務福利課・教職員課・高校教育課・特別支援教育課・保健体育課・社会教育課)

【令和8年度予算額 18,040千円】

開かれた学校づくり

学校

- ・ 家庭・地域との連携
- ・ 学校評価の推進
PDCAサイクルの確立、
自己評価、学校関係者評価の
充実
- ・ 情報の発信、共有
- ・ 学校体育施設開放等



地域・家庭

- ・ 地域学校協働活動等による
学校の支援
- ・ 学校関係者評価等への協力
- ・ スポーツ・レクリエーション活動に親しみ、スポーツを
とおして支え合う社会づくり

県教育委員会

◎ 学校経営の充実

- ・ 指導主事等会議(年2回、計4日)
- ・ 学校訪問指導

◎ 管理職研修会

- ・ 校長、教頭、事務長

◎ 県総合教育センター研修事業(短期)

- ・ 学校組織マネジメント(校長) 2講座 26人
- ・ カリキュラム・マネジメント 1講座 10人

◎ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業

- ・ 鹿児島県CS・地域学校協働活動推進委員会(年2回)
- ・ かがしまCS・地域学校協働活動関係課連絡会(年2回)
- ・ かがしまCS・地域学校協働活動研修会(県内3か所)

◎ 第2期マイライフ・マイスポーツ運動

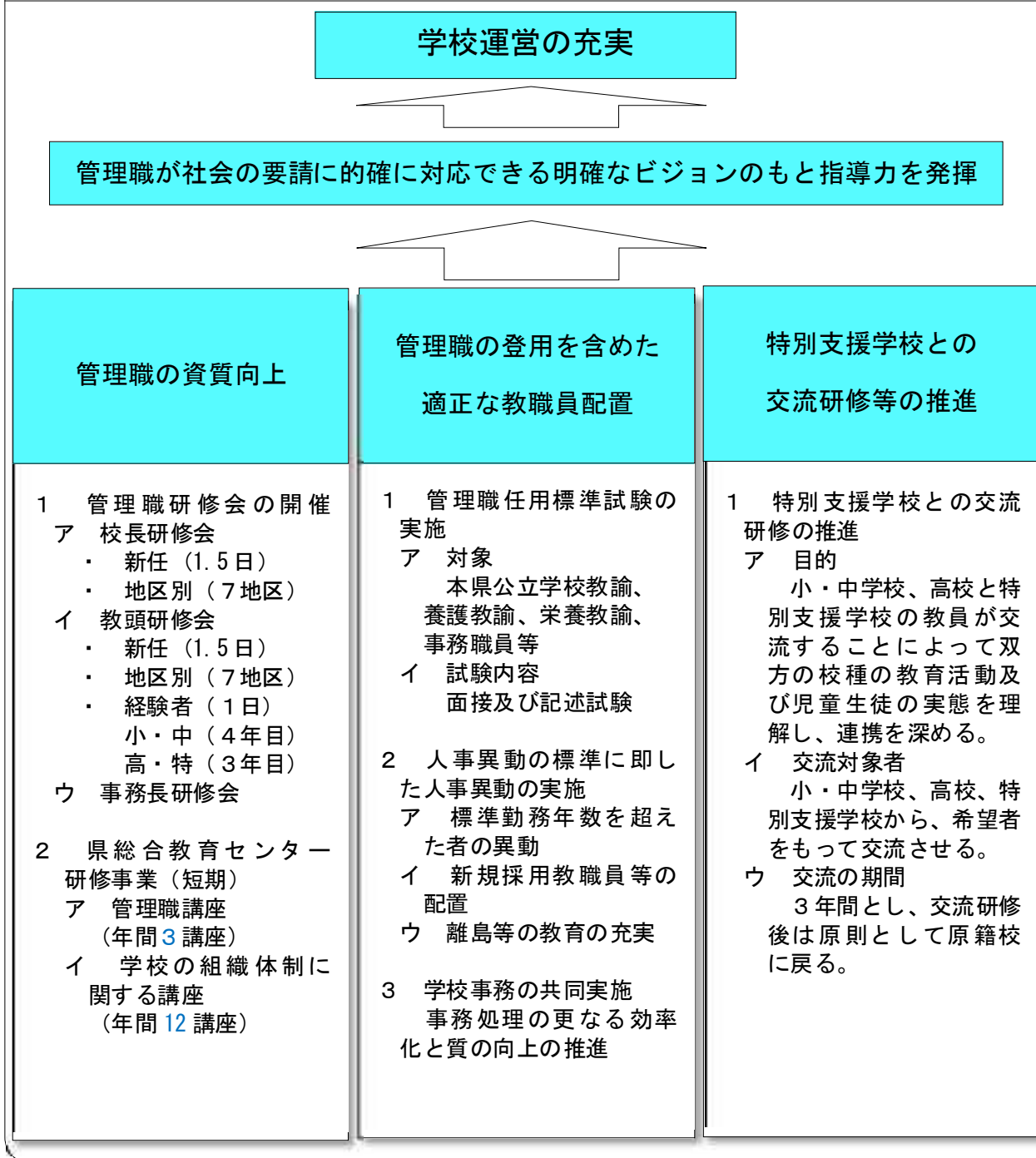
- ・ 県立学校の体育施設開放事業の普及・啓発

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

- ・ 11月1日～7日
(ただし、行事等の設定は、この週を含む前後3週間程度を目安とする。)
- ・ 学校開放の行事等に参加することにより、県民一人一人が「かごしまの教育」について考える気運を高めることをめざす。

② 学校運営の充実（教職員課・義務教育課・高校教育課・特別支援教育課・保健体育課）

【令和8年度予算額 446,467千円】



【主な事業】

- 「かごしまの先生」人材発掘・活躍サポート推進事業（6,581千円）

新たな教員志望者を発掘するため、本県の教員として働くことのやりがいや魅力を積極的にPRするとともに、県外での採用試験やブランクのある教職経験者を支援する研修等を行う。

- ▶ 人材発掘（PR活動、県外での教員採用試験実施、潜在教員の大学等での復帰研修等）
- ▶ 活躍サポート（スクールロイヤーの活用、管理職研修）



③ 学校における働き方改革の推進

- 「基本的には学校以外が担うべき業務」、「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」、「教師の業務だが、負担軽減が可能な業務」の3分類の徹底や業務の効率化など、学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進に努めます。
- 各市町村教育委員会とも連携し、学校における働き方改革の実効性の向上に努めます。
- 質の高い教員の確保に努めるとともに、教職員等の適切な配置を推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○教員採用試験問題作成委託事業 ▶学校における働き方改革を推進するため、教員採用選考試験問題の作成等を業務委託	11,580	教職員課
○業務改善実践校モデル事業 ▶学校における更なる業務改善の推進	1,919	〃
○「かごしまの先生」人材発掘・活躍サポート推進事業 (再掲)→p. 58	6,581	〃
○統合型校務支援システム維持管理事業 (再掲)→p. 46	12,209	教育DX推進室
○コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業 (再掲)→p. 74	827	社会教育課
○学校保健推進事業 ▶県立学校職員安全衛生管理	4,369	保健体育課
○「かごしまっ子」すくすくプラン (再掲)→p. 32	263,813	教職員課
○少人数指導等の充実 (再掲)→p. 32	—	〃
○小学校高学年における教科担任制の推進 (再掲)→p. 32	—	〃
○中学校免許外教科担任解消事業 (再掲)→p. 33	65,542	〃
拡教員業務支援員配置事業 ▶教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を支援するため、市町村が配置する教員業務支援員に要する経費を一部補助	93,999	〃
○地域スポーツ・文化活動推進事業 (再掲)→p. 28 ▶部活動指導員の配置	112,471	保健体育課 義務教育課 高校教育課
○学校保健・食育推進体制支援事業 ▶多様な健康課題を抱える児童生徒へのきめ細やかな支援の充実を図るため、規模の大きい学校や課題のある学校等に対し養護教諭・栄養教諭の経験者や有資格者を派遣し、繁忙期等の業務を支援	2,342	保健体育課
施策予算額計	575,652	

【主な事業】

- 教員採用試験問題作成委託事業(11,580千円)
 学校における更なる働き方改革を推進するため、教員採用選考試験問題の作成業務等の委託を行う。

- 業務改善実践校モデル事業(1,919千円)
 学校における更なる業務改善を推進するため、モデル校を指定し、教職員の働き方改革に関する実践研究を行う。
 - ▶ 民間コンサルタントによる伴走型の学校支援
 - ▶ 画像AIを活用したテストの自動採点



③ 学校における働き方改革の推進

(教職員課・総務福利課・義務教育課・教育DX推進室・特別支援教育課・保健体育課・社会教育課)

【令和8年度予算額 575,652千円】

学校における働き方改革の一層の推進のため、“給特法”に「教育委員会に対し、教員の業務量の適切な管理と健康・福祉を確保するための措置（業務量管理・健康確保措置）を実施するための計画（業務量管理・健康確保措置実施計画。以下「計画」という。）の策定・公表、計画の実施状況の公表を義務付け

「鹿児島県立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」

【計画の内容】

①計画の目標、②計画期間や③業務量管理・健康確保措置として(1)国の「学校又は教師の業務の3分類」を踏まえた優先的・重点的に取り組む事項、(2)各学校における措置の推進を通じて業務の適正化を図る事項、(3)教職員の健康及び福祉を確保するために取り組む事項を体系化するとともに、関連する取組、今後のフォローアップを記載

【計画の目標】

(1) 時間外在校等時間に関する目標

- 1箇月時間外在校等時間が45時間以下の割合：100%
- 1年間時間外在校等時間：360時間以下
- 1年間における1箇月時間外在校等時間の平均時間：30時間程度

(2) ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標

- 年間の年次有給休暇の平均取得日数：15日以上
- ストレスチェックにおける高ストレス者の割合：10%以下
- ストレスチェックにおける各学校の健康リスクの値：100以下
- ストレスチェックにおける「働きがい」や「仕事や生活の満足度」の値の向上
- 子育て目的の休暇等の取得の促進
 - ・ 育児休業取得者数割合：女性職員100%、男性職員85%
 - ・ 男性職員の出産補助休暇、産前・産後休暇年間取得者数割合：100%

令和8年度に取り組む計画に関連する主な事業

- 教員採用試験問題作成委託事業
- 業務改善実践校モデル事業
- 「かごしまの先生」人材発掘・活躍サポート推進事業
- 統合型校務支援システム維持管理事業
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業
- 教員業務支援員配置事業
- 地域スポーツ・文化活動推進事業
- 学校保健推進事業（県立学校職員安全衛生管理）
- 学校保健・食育推進体制支援事業

④ 公立高等学校の活性化

- 生徒の学力向上、学校の特性を生かした教育活動の充実、学校運営の改善、教職員の資質向上等を推進し、学校の活性化を図ります。
- 高等学校学習指導要領や高大接続改革の趣旨を踏まえた指導・評価の工夫・改善を図ります。
- 高等学校の活力や専門性、教育水準の維持向上を図り、地域に信頼され、魅力ある学校にするため、高等学校の在り方について県全体の高校教育振興の視点から検討します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○未来を創る資質・能力育成事業(再掲)→p. 32	7,539	高校教育課
○グローバル人材育成促進事業(再掲)→p. 48	4,800	〃
○郷土教育推進事業 ▶地域を担う次世代人材育成プロジェクト(再掲)→p. 43	3,312	〃
○楠隼中高一貫教育校振興事業	136,443	〃 教育DX推進室
○県立高校振興事業	735	高校教育課
○県立高校の将来ビジョン検討事業	664	〃
○魅力ある県立高校づくり推進事業 ▶小規模校サポート事業 ▶遠隔授業推進事業	2,833	〃
○高等学校DX加速化推進事業(再掲)→p. 46	221,922	教育DX推進室
○県立高校生徒通学支援事業	17,313	高校教育課
○学校評価の推進(再掲)→p. 56	—	〃
○地元企業、大学等との連携による学校活性化の推進	—	〃
○学校職員の人事評価の実施(再掲)→p. 66	—	教職員課
○優秀教職員の表彰(再掲)→p. 66	—	〃
○「ふるさと母校応援プロジェクト」事業	11,076	総務福利課
新 鹿児島県公立高等学校等教育改革推進事業	38,625	高校教育課
施策予算額計	445,262	

【主な事業】

- 楠隼中高一貫教育校振興事業(136,443千円)
楠隼中高一貫教育校において、生徒募集のための周知・広報活動を行うとともに、楠隼の特色ある教育活動を実践する。
▶「シリーズ宇宙学」、「トップリーダー教室」等の実践



- 県立高校の将来ビジョン検討事業(664千円)
県立高校の将来ビジョン検討委員会からの答申や国の動向を踏まえ、今後の望ましい県立高校の教育の在り方について検討を行い、本県の「県立高校の将来ビジョン」を策定する。

- 県立高校生徒通学支援事業(17,313千円)
県立高校における教育に係る経済的負担の軽減を図り、通学費を理由に生徒が希望する学びを諦めることがないよう、高額な通学費を負担している生徒などに対して通学費の一部を支援する。

- 新** 鹿児島県公立高等学校等教育改革推進事業(38,625千円)
高校教育改革を先導する拠点校を設定し、基盤となる連携体制を構築した上で、国が示すアドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援、理数系人材育成支援、多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保の3類型に応じた取組を実施する。

④ 公立高等学校の活性化（高校教育課・教職員課・総務福利課・教育DX推進室）

【令和8年度予算額 445,262 千円】

魅力ある県立高校づくりプロジェクト

現状

I 少子化の進行

- 令和7年度の中卒者数は約15,400人であり、今後さらに減少する見込み
- 中卒者数の減少などにより1学年2、3学級規模の学校が増加、充足率も低下
- 小規模校では教員数が限られ、生徒の多様な学びのニーズに単独で対応することが困難

II 高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）

- 高校教育改革の方向性
 - <視点1> 不確実な時代を自立して生きていく主権者として、AIに代替されない能力や個性の伸長
 - <視点2> 我が国や地域の経済・社会の発展を支える人材育成
 - <視点3> 一人一人の多様な学習ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保
- 実行計画の策定・実施及び支援方策

グランドデザインを踏まえ、都道府県において「高等学校教育改革実行計画」を策定し、その計画を着実に実現できるよう、令和9年度に新たに創設する「高等学校教育改革交付金（仮称）」により、地域人材育成の中心となる公立高校を広く応援し、高校生の学びを支援。緊要性のある取組については、令和8年度から基金で支援

今後の方向性

「学びたい学びがあり」「充実した楽しい生活が送れ」
「進路目標が達成できる」魅力ある県立高校づくり

- 1 県立高校の将来ビジョン検討事業
検討委員会からの答申や国の動向を踏まえ、本県の「県立高校の将来ビジョン」を策定
- 2 魅力ある県立高校づくり推進事業
 - ① 小規模校サポート事業
複数の小規模校を1つのグループとみなし、学習活動や行事等を合同で実施できるように支援
 - ② 遠隔授業推進事業
離島の小規模高等学校に単位認定が可能な遠隔授業を配信、多様な進路実現に向けた教育を実施
- 3 高等学校DX加速化推進事業
 - ① 情報・数学等を重視した学科への転換、コースの設置
情報Ⅱ等の履修とICTを活用した学びを通して、デジタル等成長分野を支える人材育成を図る。
 - ② デジタルを活用した文理横断的、探究的な学びの実施
学校内だけでなく地域を超えた横断的、探求的な学びの充実を図り、取組成果を県内外に発信する。
 - ③ 専門高校における高度な専門教科指導の実施と高大接続の強化
デジタル機器等の学習環境を生かした実践的な学びを充実させるとともに、専門的な外部人材の活用や大学等との連携を図る。
- 4 県立高校生徒通学支援事業
高額な通学費を負担している県立高校生に、通学費の一部を補助
- 5 「居場所」と「絆」プロジェクト
「発達支持的生徒指導」による授業・行事の改善等や「心の健康観察」の推進で居場所と絆づくり
- 6 県立高校魅力発信プロジェクト
県教委HPやポータルサイト『高校検索ガイド』、公式SNSで県立高校の魅力を中学生等へ発信

生徒一人一人が輝く場所に！

5 「居場所」と「絆」プロジェクト

デジタル等成長分野を支える人材の育成

3-① 情報・数学等を重視した教育の充実

専門的な外部人材活用及び大学等との連携

3-③ 高度な専門教科指導の実施と高大接続の強化

学校の魅力をダイナミックに発信！

6 県立高校魅力発信プロジェクト

学校内だけでなく横断的、探究的な学びの実施

3-② デジタルを活用した文理横断的、探求的な学びの実施

学校間連携による魅力的な教育活動の実施！

2-① 小規模校サポート事業

本県の「県立高校の将来ビジョン」を策定

1 県立高校の将来ビジョン検討事業

高額な通学費を負担している生徒への支援

4 県立高校生徒通学支援事業

どの高校でも「学びたい学び」が受けられるように

2-② 遠隔授業推進事業

⑤ へき地・小規模校教育の振興

- ウェルビーイングの向上を図るために、へき地・小規模校ならではのよさを積極的に生かした特色ある教育活動を推進するとともに、オンライン等のICT活用により、教育環境を補うような取組を進めます。
- 複式学級の指導の在り方や各教科等の授業の進め方等に係る教職員の指導力の向上を図るとともに、へき地・小規模校に勤務する教職員の研修機会の確保に努めます。
- 市町村が実施している山村留学の円滑な受け入れを推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○教員経験年次別等研修事業(一部再掲)→p. 66 ▶中学校臨時免許状等による教科担任等研修会	35,722	義務教育課
○学力水準向上費 ▶へき地教育の充実	2,508	義務教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66 ▶移動講座(へき地) 24講座 384人 ▶複式学習指導 7講座 108人	8,564	〃
○中学校免許外教科担任解消事業(再掲)→p. 33 ▶中学校において、免許教科外で授業を担当する教科担任の解消を図るため、非常勤講師を配置	65,542	教職員課
○県総合教育センター調査研究事業(再掲)→p. 32	1,049	義務教育課
施策予算額計	113,385	

【主な事業】

- 学力水準向上費(2,508千円)
へき地の小・中学校を計画的に訪問し、へき地校における教育活動の実態を把握するとともに、学習指導、生徒指導等について、具体的指導を行う。
 - ▶へき地・小規模校訪問指導
 - ▶ICTを活用した遠隔合同授業の推進
 - ▶へき地・小規模校教育優秀校の表彰(11月)
 - ▶へき地・複式教育指導資料の作成
 - ▶山村留学・小規模特認校制度への支援



⑤ へき地・小規模校教育の振興（義務教育課・教職員課）

【令和8年度予算額 113,385千円】

へき地・小規模校教育の振興

- へき地・小規模校のよさを生かした特色ある教育活動の推進
- 教職員の指導力の向上
(複式学級の指導、へき地・小規模校での授業の進め方等)

- 教員経験年次別等研修事業
 - ・ 中学校臨時免許状等による教科担任等研修会
- へき地・小規模校教育の充実
 - ・ へき地・小規模校訪問指導
 - ・ ICTを活用した遠隔教育の推進
 - ・ へき地・小規模校教育優秀校の表彰
 - ・ へき地・複式教育指導資料作成
 - ・ 山村留学・小規模特認校制度への支援
- 中学校免許外教科担任解消事業

- 県総合教育センター研修事業
 - ・ 移動講座
 - ・ 複式学習指導

へき地・小規模校教育の充実 ①

へき地・小規模校訪問指導

- ・ 学校や教員のニーズに応じた指導や支援

へき地・小規模校教育の充実 ③

優秀校の表彰

- ・ へき地・小規模校のよさを生かして優れた活動を実践している学校の表彰
- ・ へき地・小規模校教育の振興・充実

へき地・小規模校教育の充実 ⑤

山村留学・小規模特認校制度への支援

- ・ 県ホームページ等での周知
- ・ 市町村とのネットワーク構築(山村留学連絡協議会の開催)

へき地・小規模校教育の充実 ②

ICTを活用した遠隔教育の推進

- ・ オンラインによる遠隔交流学習、遠隔合同授業、教員研修等の推進
- ・ 遠隔教育の実践事例等の波及

へき地・小規模校教育の充実 ④

指導用資料の作成

(「南北600キロの教育」)

- ・ 複式学級における授業の進め方等の手掛かりとして活用
- ・ へき地・複式教育の課題を克服するために取り組んだ実践の紹介

へき地・小規模校教育の現状

⑥ 教職員の資質向上

- 教職員の人事評価を一層充実させ、教職員一人一人の資質向上を図り、学校組織の活性化に努めます。
- かがしま県教員等育成指標及びかがしま県教員等研修計画に基づき、教職員研修の内容の充実、精選、効率化を図り、教職員の資質向上に努めます。
- 教職員としてふさわしい優れた人材を確保するとともに、適切な人事管理に努めます。
- 信頼される学校づくりのために、服務規律に関する指導の徹底を図ります。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○鹿児島県公立学校教員等採用選考試験 ▶特別選考 保健体育、臨時的任用教員、障害者、小学校英語、現職教員、社会人、本県正規教員経験者、優秀教員、教職大学院、大学推薦	4,706	教職員課
○管理職研修会(校長・教頭・事務長)(再掲)→p. 58	3,127	〃
○公立小中学校事務職員研修(新規採用、中堅)	—	〃
○免許法認定講習 13講座 2日	1,369	〃
○人事異動の標準に即した人事異動(再掲)→p. 58	5,326	〃
○「資質の向上を必要とする教員」の人事管理	243	〃
○学校職員の人事評価の実施	—	〃
○優秀教職員の表彰	—	〃
○幼稚園新規採用教員研修事業(再掲)→p. 41	2,457	義務教育課
○幼稚園中堅教諭等資質向上研修(再掲)→p. 41	—	〃
○教員経験年次別等研修事業	45,217	義務・高校・特支課
○県総合教育センター研修事業	10,511	義務教育課
▶短期研修 171講座 2,907人		
▶長期研修(1年間) 小、中、高、特別支援 10人		
▶情報教育研修推進事業(高等学校等情報教育継続研修)(再掲)→p. 46		
▶来所研究		
▶土曜講座		
○未来を創る子供を支える生徒指導体制構築プログラム(再掲) →p. 16	2,484	〃
○「学習者主体の授業」への改善推進事業(再掲)→p. 32	7,227	〃
○未来を創る資質・能力育成事業(再掲)→p. 32	7,539	高校教育課
○養護教諭研修事業(新規採用、経験者)		
○栄養教諭研修事業(新規採用、経験者)	15,146	保健体育課
○大学院派遣(鹿屋体育大学)	1,739	〃
○学校体育指導事業(スポーツリフレッシュセミナー)(一部再掲)→p. 28	308	〃
○学校図書館講座	536	社会教育課
▶「幼稚園・小学校」講座		
▶「中学校・高等学校」講座		
○「かごしまの先生」人材発掘・活躍サポート推進事業(再掲)→p. 58	6,581	教職員課
▶県外での採用選考試験の実施		
▶本県の教員として働くことのやりがいや魅力に関するPR活動		
▶ブランクのある教職経験者を支援する研修等		
施策予算額計	113,686	

【主な事業】

- 教員経験年次別等研修事業(45,217千円)
教職員の資質向上を図るために、各種研修、シンポジウム等を実施する。
 - ▶教職経験者研修
 - 初任者研修（1年目～4年目）
 - パワーアップ研修（中堅教諭等資質向上研修）
 - ベテラン研修（前期・後期）
 - ▶中学校臨時免許状等による教科担任等研修会(4・6・8月9教科)
 - ▶特別支援学級等新任担当教員研修会(5月)
 - ▶教員民間企業等派遣研修
 - ▶大学院派遣研修(鹿児島大学教職大学院等)
 - ▶未来を拓く鹿児島の教育フォーラム(8月)



⑥ 教職員の資質向上

(教職員課・義務教育課・高校教育課・特別支援教育課・保健体育課・社会教育課)

【令和8年度予算額 113,686千円】

〈教職員研修の充実〉

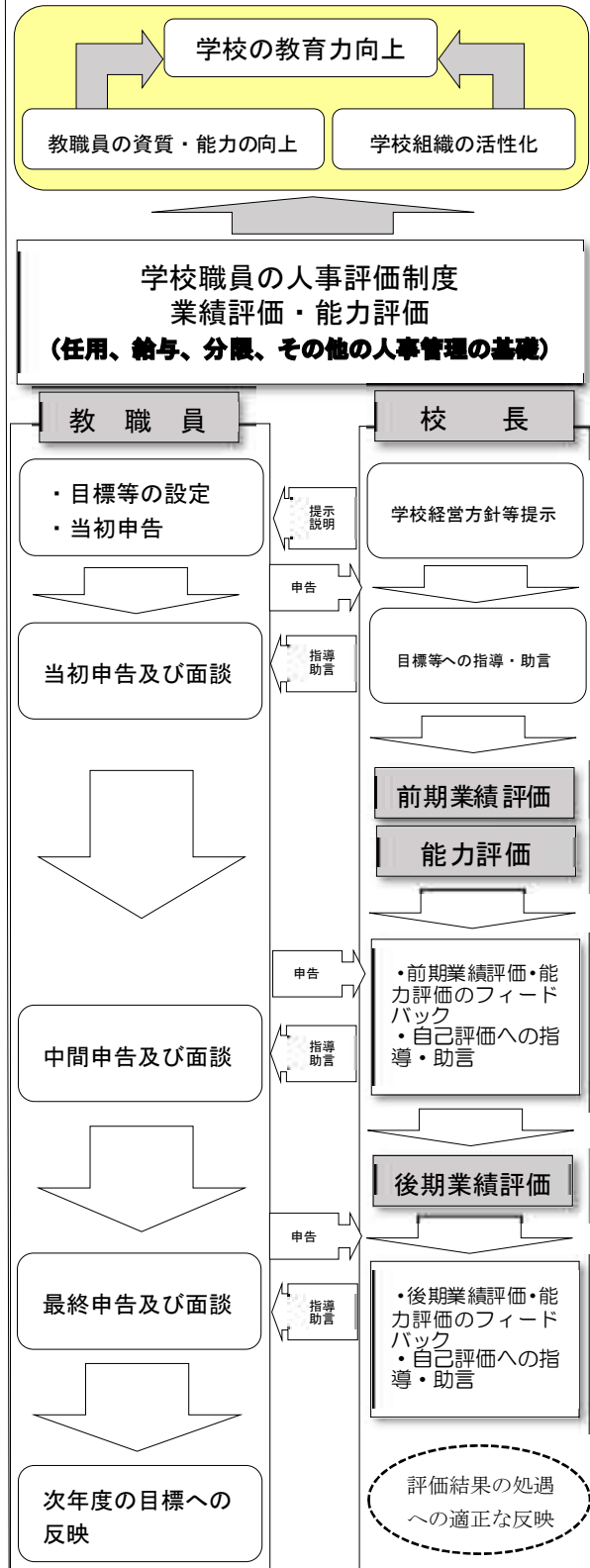
「かごしま県教員等育成指標」の活用

年	期	経験年次によって受講する研修
30	ステージⅣ	※ 人権教育管理職研修会 (任用2年目の校長)
		※ 新任校長研修会 ※ ベテラン研修(後期)
25	ステージⅣ	※ 経験者教頭研修会 (小・中学校4年目の教頭) (県立学校3年目の教頭)
		※ 人権教育管理職研修会 (任用2年目の教頭)
20	ステージⅣ	※ 新任教頭研修会 ※ ベテラン研修(前期)
		○ 独立行政法人教職員支援機構 ・ 教職員等中央研修 ・ 生徒指導指導者養成研修 等 ◎ 小・中学校管理職任用標準試験 (35歳～)
10	ステージⅢ	※ パワーアップ研修 (中堅教諭等資質向上研修)
		○ 独立行政法人教職員支援機構 ・ 教職員等中央研修 ・ 生徒指導指導者養成研修 等 ◎ 小・中学校管理職任用標準試験 (35歳～)
5	ステージⅡ	※ フレッシュ研修 (初任校研修 1～4年目)
		・ 人権教育教職員等研修会(2年目)

教育課題解決に向けての研修

- 長期研修 ○ 短期研修講座
- 土曜講座 ○ 継続研修(高等学校等情報教育)
- 生徒指導実践力・チーム力向上プログラム
- 中学校臨時免許状等による教科担任等研修会
- 大学院派遣研修
- 教員民間企業等派遣研修
- 未来を拓く鹿児島県の教育フォーラム
- かごしま学びチャレンジ推進事業
- 未来の創り手育成プログラム(高等学校)
- 未来の創り手を育成する学力向上プログラム
(小・中・特別支援学校)
- 高等学校等教育実践研究会
- 健康教育研究大会
- 幼稚園・小学校教育課程研究協議会
- ブランクのある教職経験者等を支援する研修 等

〈学校職員の人事評価の実施〉



⑦ 安全・安心な学校づくり

- 学校施設の非構造部材について耐震化を図ります。
- 社会状況の変化・多様な学習活動等に対応できるよう、老朽化した学校施設の教育環境向上と長寿命化を図ります。
- 関係機関と連携し、児童生徒への安全教育を推進するとともに、各学校の安全管理体制整備を推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○地域ぐるみ学校安全体制推進事業(再掲)→p. 76	11,098	保健体育課
○「学校における危機管理の手引」の活用とそれに基づく避難訓練等の実施	—	〃
○学校安全推進事業	4,338	〃
○市町村立学校施設の耐震化促進 ▶非構造部材の落下防止対策	—	学校施設課
○市町村立学校施設の老朽化対策等の促進 ▶校舎や屋内運動場の新增築、改築、大規模改造及び長寿命化改良 ▶へき地教職員住宅、体育施設及び給食施設	—	〃
○市町村立学校教育設備の整備促進	—	〃
○高等学校建物整備事業	4,611,614	〃
▶校舎等の改修工事等 37校		
▶校舎等の維持補修等 61校		
○高等学校施設整備管理運営事業 ▶施設整備に併せて必要となる備品や附帯設備の移設等	35,003	〃
○産業教育施設整備事業(再掲)→p. 39	2校 207,500	〃
○県立高校空調設備整備事業 ▶調理実習室等への整備	2校 80,800	〃
○運動場整備事業 ▶整地、排水対策工事等	1校 7,410	〃
○県立高等学校体育施設整備事業 ▶屋内運動場の外壁改修	1校 30,080	〃
○特別支援学校建物整備事業	1,268,320	〃
▶校舎等の改修工事等 11校		
▶校舎等の維持補修等 15校		
○特別支援学校教育環境改善施設整備事業	1,833,495	〃
○特別支援学校施設整備管理運営事業 ▶施設整備に併せて必要となる備品や附帯設備の移設等	2,048	〃
○県立学校降灰除去事業	3,000	〃
○県立学校施設災害復旧事業	80,000	〃
○理科教育等設備整備事業	31校 10,450	〃
○産業教育設備整備事業(再掲)→p. 39	109,385	〃
新 実習船「拓青」代船建造事業(再掲)→p. 39	7,172	〃
○特別支援学校管理運営事業(再掲)→p. 35	23,514	〃
○県立学校給食設備改善事業	17,576	〃
施策予算額計	8,342,803	

【主な事業】

- 学校安全推進事業(4,338千円)
防災、防犯、交通安全のモデル実践として、学校と地域、関係機関が連携した地域ぐるみでの学校安全体制構築に向け、学校安全の組織的取組と外部専門家の活用、学校間の連携の在り方についての研究・実践を行う。
また、教職員対象の学校安全に関する研修会を開催する。
▶モデル地域(防災、防犯、交通安全)：指宿市、中種子町
いちき串木野市
▶防犯・交通安全・防災の各講習会の開催



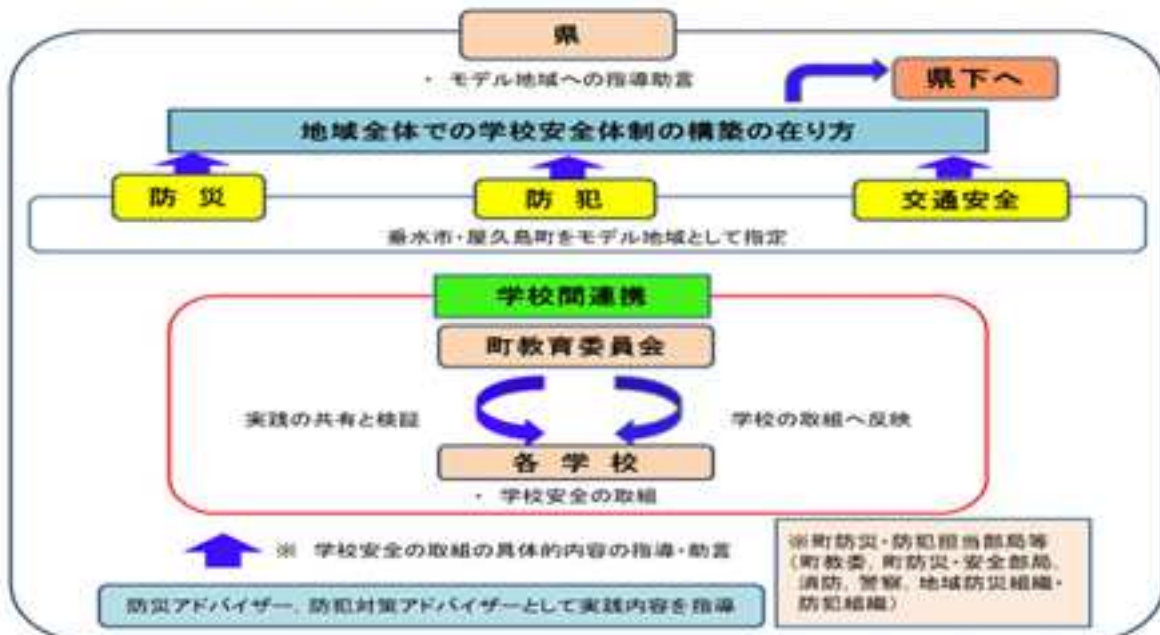
⑦ 安全・安心な学校づくり（学校施設課・保健体育課）

【令和8年度予算額 8,342,803千円】

〈学校施設を取り巻く現状や課題と取組〉



〈学校安全推進事業〉



【学校安全に関する研修会】

- ・ 令和8年度開催地区：防犯（大島地区）、交通安全（北薩地区）、防災（大隅地区）

【主な事業】

- 高等学校建物整備事業（4,611,614千円）
高等学校における生徒の安全性の確保や円滑かつ効果的な学校運営が実施できるよう、老朽化した校舎等の改築や改修等を行い、教育環境の向上を図る。
- 特別支援学校建物整備事業（1,268,320千円）
特別支援学校における児童生徒の安全性の確保や円滑かつ効果的な学校運営が実施できるよう、老朽化した校舎等の改築や改修等を行い、教育環境の向上を図る。



⑧ 「学びのセーフティネット」の充実

- 家庭の経済状況や地理的条件等にかかわらず、安心して教育を受けられるような環境づくりを図ります。
- 高等学校等における教育に係る経済的負担の軽減を図るとともに、経済的理由により、就学を断念することがないよう、必要な支援を行います。
- 生活困窮世帯の子供は、自尊感情の醸成、ソーシャルスキルや生活環境の向上など生活面の課題を抱えている場合があることや、子供との関わりが少ない親等の養育に関する課題があるため、子供の居場所の提供や親への養育支援等、地域における家庭教育支援の推進に向けた子育て支援との連携を進めます。
- 教育機会確保法に基づき、年齢や国籍等に関わりなく、様々な人々のニーズに対応した教育機会の提供に努め、ウェルビーイングの向上を図ります。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
拡 公立高等学校就学支援金等事業	3,218,871	総務福利課
○育英財団貸付事業	—	〃
▶ 高校生等に対する奨学金の貸与		
○大学在学時奨学金返還支援基金事業	—	〃
○大学等入学時奨学金貸付事業	196,729	〃
新 日本語指導充実促進事業	8,423	義務教育課
○学力水準向上費(再掲)→p.64	2,508	〃
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p.66	8,564	〃
▶ 日本語指導が必要な児童生徒の指導に関する講座 1講座 13人		
拡 奨学のための給付金事業	1,041,365	高校教育課
○定通教育振興奨励事業	5,003	〃
○生徒指導対策総合推進事業(再掲)→p.16	215,281	高校・義務教育課
▶ スクールカウンセラー配置事業		
▶ スクールソーシャルワーカー活用事業		
○特別支援教育就学奨励費事業(再掲)→p.35	326,697	特別支援教育課
拡 離島生徒指定大会遠征費助成事業	25,162	保健体育課 義務・高校教育課
○県立高校生徒通学支援事業(再掲)→p.62	17,313	高校教育課
○夜間定時制学校給食管理事業(再掲)→p.26	16,593	保健体育課
新 公立学校給食費負担軽減事業	4,684,563	〃
施策予算額計	9,790,832	

【主な事業】

新 日本語指導充実促進事業(8,423千円)
外国人材の帯同家族を含む日本語指導が必要な児童生徒の転入があった際、各小中学校が日本語指導体制を迅速に構築できるよう、日本語指導支援専門員を配置し、教員等に対して日本語指導の手法などの助言等を行う。



拡 離島生徒指定大会遠征費助成事業(25,162千円)
離島生徒の経済的負担を軽減するため、県が指定する大会等に参加する生徒に対し、航路運賃及び楽器等の輸送費を含む費用の一部を助成する。



新 公立学校給食費負担軽減事業(4,684,563千円)
子育て支援に取り組む自治体を支援する観点から、県立特別支援学校小学部及び各市町村へ補助金を交付する。

⑧ 「学びのセーフティネット」の充実

(総務福利課・義務教育課・高校教育課・特別支援教育課・保健体育課)

【令和8年度予算額 9,790,832千円】

「学びのセーフティネット」の充実

- 家庭の経済状況や地理的条件等にかかわらず安心して教育を受けられる環境づくりの推進
- 年齢や国籍等に関わりなく、様々な人々のニーズに応じた教育機会の提供

学校段階に応じた支援

大学・短大等

- 奨学金制度の充実・周知
 - ・大学等在学中に借りた奨学金の返還支援
 - ・大学等入学時奨学金貸付事業

高等学校

- 授業料等に対する支援
 - ・公立高等学校就学支援金等事業
 - ・奨学のための給付金事業
 - ・高校生等に対する奨学金の貸与 など
- 通学に対する支援
 - ・県立高校生徒通学支援事業

小・中学校等

- 就学援助制度の周知
 - ・要保護児童生徒援助費補助金(市町村実施)
 - ・準要保護児童生徒援助費(市町村実施)

特別支援学校

- 特別支援教育就学奨励費制度の充実・周知
 - ・特別支援教育就学奨励費事業
(特別支援学校→県、特別支援学級→市町村)

地理的条件に対する支援

- 離島生徒指定大会遠征費助成事業
- 離島高校生修学支援事業(市町村実施)
- へき地児童生徒援助費(市町村実施)

様々なニーズに対する教育機会の提供

- 日本語指導充実促進事業
- 総合教育センター研修事業(短期研修)
 - ・日本語指導が必要な児童生徒の指導に関する講座

⑨ 私立学校教育の振興

- 建学の精神に基づき、特色ある教育活動を展開し、教育の質の向上にも取り組みながら、公立学校とともに本県の学校教育の中で重要な役割を果たしている私立学校の教育条件の維持・向上、健全な発達を図るとともに、時代のニーズに即応した高度な専門的技術や知識を持った人材の育成に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○私立学校運営費補助	6,875,143	※学事法制課・子育て支援課
○私立学校運営費特別補助	296,710	〃
○私立高等学校入学金・授業料補助	133,799	※学事法制課
○私立学校退職金補助	126,440	※学事法制課・子育て支援課
○日本私立学校振興・共済事業団掛金補助	191,667	※学事法制課
○私立専修学校運営費補助	33,221	〃
○高等学校等就学支援金事業	10,990,178	〃
○高校生等・新修学支援事業	1,582	〃
○奨学給付金事業	638,638	〃
○私立小中学校等経済的支援事業	4,368	〃
○私立専門学校修学支援事業	1,033,881	〃
○私立専門学校人材育成・県内定着促進事業	2,600	〃
○私立学校耐震化促進補助事業	31,858	〃
○幼保施設耐震診断促進事業	1,466	※子育て支援課
施策予算額計	20,361,551	

【主な事業】

- 奨学給付金事業(638,638千円)
授業料以外の教育費負担を軽減するため、国が定める所得要件を満たす世帯の高校生等に対して、奨学のための給付金を支給する。

⑩ 魅力ある県立短期大学づくり

- 予測困難で変化の激しい時代の要請に対応するとともに、持続可能な社会の創り手を育成するため、鹿児島県の魅力を活かす教育、高度情報化やグローバル化に対応する教育など、時代の要請に対応した教育内容や教育方法の充実などに取り組むとともに、地元企業等と連携した人材の育成及び定着に取り組み、地域住民のリカレント教育にも貢献する魅力ある県立短期大学づくりを推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○教育研究調査推進事業	33,381	※学事法制課
○魅力ある短大づくり事業	63,105	〃
○施設整備事業	81,520	〃
施策予算額計	178,006	

Ⅳ 地域全体で子供を守り育てる環境づくりの推進

① 地域を支える次世代の人づくり

- 異年齢による青少年組織である「かごしま地域塾」を県内全域へ展開し、学習活動や体験活動、精神鍛錬等を通じて、郷土に誇りを持ち、心身ともにたくましい子供を育成します。
- 地域社会に蓄積された様々な知恵を生かし、学校、家庭、地域が一体となった青少年の健全育成のための活動を推進し、地域を支える人材を育成します。
- 様々な地域での活動の中核となり、コーディネートできる中高校生・青年層のリーダー育成や大人の指導者の養成を図ります。
- 本県の偉人の足跡や教育的風土、伝統を生かした、幅広い視野と高い見識を養う取組等を通して、様々な分野で地域社会をリードする人材を育成します。
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することにより、地域学校協働活動を更に充実させ、地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりを推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○かごしま地域塾推進事業 ▶地域塾への活動支援助成 ▶優れた地域塾の認証 ▶かごしま地域塾活動活性化セミナー	1,729	※青少年男女 共同参画課
○社会教育指導者養成事業 ▶社会教育関係団体指導者等研修会 ▶ジュニア・リーダー研修会	443	社会教育課
○郷土教育推進事業 ▶鹿児島県の未来を担う青少年の志を育む事業「かごしま 夢 有為塾」(再掲) →p.20 ▶かごしま青年塾運営事業	4,257 2,191	〃 〃
○コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業	827	〃
○社会教育関係団体の育成・支援	5,214	〃
施策予算額計	14,661	

【主な事業】

○ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業 (827千円)

学校と地域住民の連携・協働を進め、一体となって子どもたちの成長を支えていく体制を構築するため、地域とともにある学校づくりと、学校を核とした地域づくりを推進する。

- ▶鹿児島県 CS・地域学校協働活動推進委員会(年2回)の開催
- ▶かごしま CS・地域学校協働活動研修会(県内3か所)の開催
- ▶かごしま CS・地域学校協働活動関係課連絡会(年2回)の開催
- ▶広報・啓発活動(広報啓発資料の作成等)
- ▶県立学校へのコミュニティ・スクールの導入(モデル校)

○ かごしま青年塾運営事業(2,191千円)

これからの鹿児島を担う青年層を対象に、各界で活躍する経営者やリーダー等との交流や現地での研修、ワークショップを通して、郷土の発展を支えようとする人材を育成する。

- ▶講演、現地研修、交流会、ワークショップ等



地域を支える次世代の人づくり

本県の教育的な風土や伝統

～地域全体で子どもたちを育てるといふ

伝統的な地域の教育力～

郷土に誇りを持ち、心身ともに
たくましい子供の育成

かごしま地域塾推進事業

家庭・学校・職場・地域が
一体となった青少年の健全育成

「青少年育成の日」の取組 (毎月第3土曜日)

地域での活動の中核となる
リーダー・指導者の養成

社会教育指導者養成事業

- 社会教育関係団体指導者等研修会
- ジュニア・リーダー研修会

様々な分野で地域社会を
リードする人材の育成

郷土教育推進事業

- 鹿児島島の未来を担う志を育む事業
「かごしま 夢 有為塾」
- かごしま青年塾運営事業

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクール

(学校運営協議会制度を導入した学校)



学校を核とした地域づくり

かごしま地域学校協働活動

現 状

- 地域住民同士の結びつき
- 助け合いの精神
- 教育を大事にする伝統
- 各種団体等による子供の育成活動

課 題

- 少子化による青少年を主体とした団
体会員の減少
- 部活動やスポーツ少年団との両立
- 新規学卒者の県外流出

② 地域ぐるみでの安全・安心な環境づくり

- 更なる地域ぐるみによる児童生徒等の安全確保に努めるため、地域のボランティア団体等と一体となった取組を推進します。
- 市町村教育委員会、関係機関及び関係団体等との連携を強化して、地域全体で子供の安全を見守る体制を整備します。
- 学校において安全教育や安全管理を推進する立場にある教職員等に対する講習会等の充実を図ります。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○地域ぐるみ学校安全体制推進事業	11,098	保健体育課
○「走る子ども 110 番」による児童生徒の安全確保 ▶児童生徒の安全に対する県民の意識の高揚 ▶外勤中の県職員による通学路の安全確認と緊急時の対応	—	〃
○通学路を中心とした「安全マップ」の見直しと活用	—	〃
○コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業 (再掲)→p. 74	827	社会教育課
○青少年環境づくり推進事業	1,296	※青少年男女 共同参画課
施策予算額計	13,221	

【主な事業】

- 地域ぐるみ学校安全体制推進事業(11,098千円)
学校管理下における事件・事故に対して、家庭や地域の関係機関・団体及び地域ボランティア等と連携しながら、地域社会全体で学校の安全確保に取り組む体制を整備し、児童生徒が安心して教育を受けられるよう各種の取組を行う。
 - ▶スクールガード・リーダーを配置する市町村への助成
(スクールガード・リーダー 35市町村 76人)
 - ▶スクールガード・防犯ボランティア等研修会の開催
(県内8会場5～6月に実施)
- 青少年環境づくり推進事業(1,296千円)
有害環境から青少年を守るため、立入調査、青少年環境づくり懇談会及び青少年保護育成審議会の開催など、学校や地域、関係団体等と連携した環境づくりを推進する。
 - ▶条例に基づく立入調査の実施
 - ▶青少年環境づくり懇談会の開催(県内7地域)
 - ▶青少年環境情報紙「ヘルシーユースかごしま」発行
(10,000部)

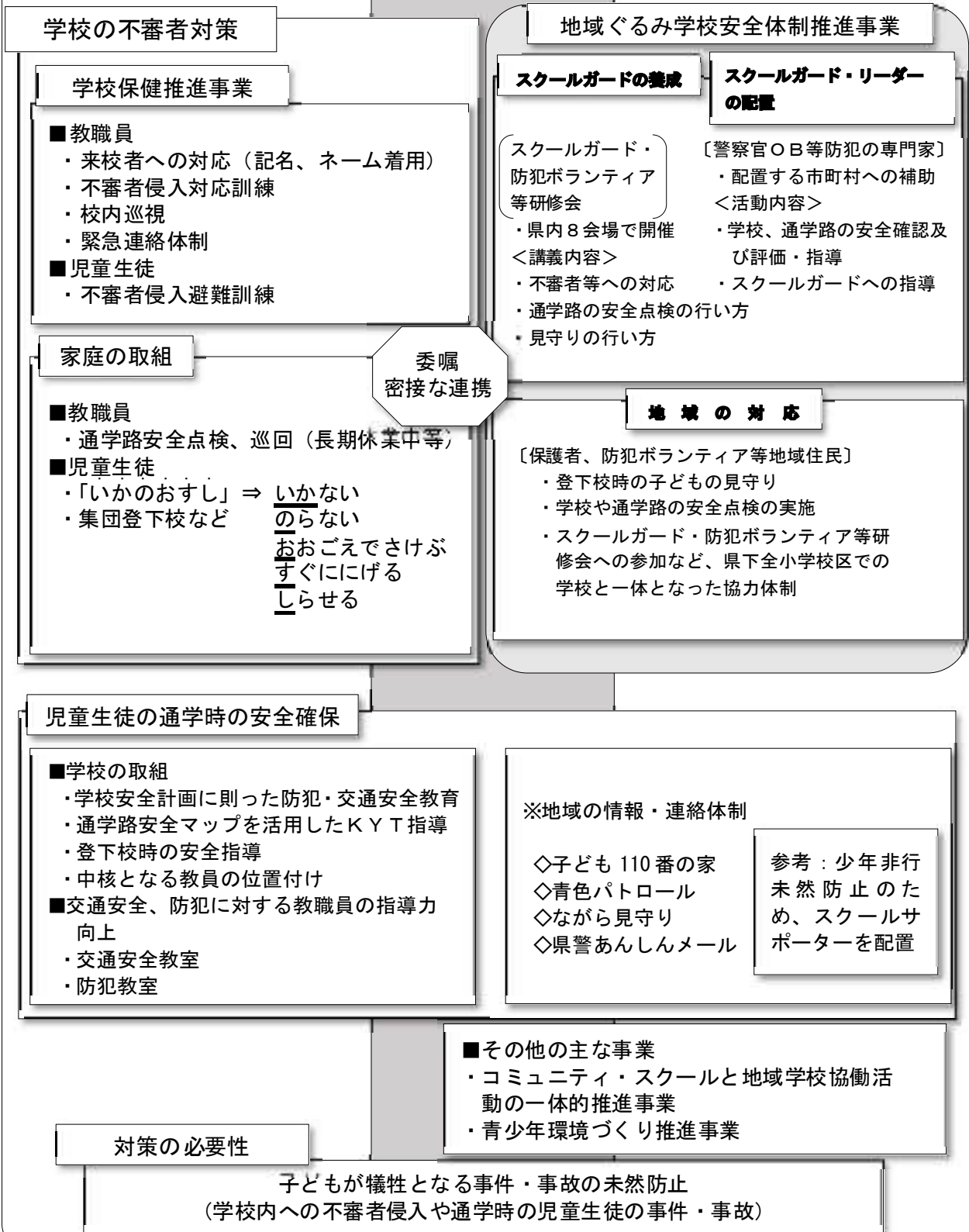


② 地域ぐるみでの安全・安心な環境づくり

(保健体育課・社会教育課・青少年男女共同参画課)

【令和8年度予算額 13,221千円】

安全で安心な学校を確立するための体制の整備
 ～ 学校内及び登下校時における児童生徒の安全対策の取組 ～



③ 家庭教育支援の充実

- 家庭教育支援条例制定の趣旨を踏まえ、家庭教育の自主性を尊重しつつ、家庭の教育力を高めるため、地域ぐるみで子育てを支援する基盤の整備に努めます。
- 子供を育てる上で不安を感じる等、身近に相談相手がいない状況にある保護者を、乳幼児期から就学期以降にわたり切れ目なく支援するため、家庭教育支援員等の人材養成及び活用を図ります。
- 家庭教育を支援するための学習機会の提供や相談体制の整備を図るとともに、家庭教育に関する情報提供に努めます。
- 市町村、学校・家庭・地域、保健福祉関係機関、企業等と連携・協働し、家庭教育支援を推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○地域で支える家庭教育推進事業	4,387	社会教育課 義務教育課
○幼児教育の充実(再掲)→p. 41 ▶幼稚園教育課程研究協議会 ▶保育技術協議会	—	
○家庭学習マイゴールチャレンジの推進(再掲)→p. 32 ▶学校と家庭が連携し、児童生徒の学習習慣を身につける取組	—	〃
○道徳教育総合支援事業(再掲)→p. 14 ▶心の教育振興会議 ▶道徳教育フォーラム	8,933	〃
○いじめ、不登校、情報モラル等についての広報・啓発(再掲)→p. 16	—	高校・義務教育課 教育DX推進室
○「郷土に学び・育む青少年運動」推進事業	2,975	※青少年男女 共同参画課
○家庭児童相談室設置事業	18,159	※子ども福祉課
施策予算額計	34,454	

【主な事業】

- **地域で支える家庭教育推進事業(4,387千円)**
地域における効果的な家庭教育支援活動を推進するため、家庭、学校、地域、企業等の様々な機関・団体が連携し、学習機会の充実や家庭教育支援に関する人材の養成、広報・啓発活動等を実施する。
 - ▶家庭教育推進委員会(年2回)
 - ▶家庭教育学級長等研修会(阿久根市、和泊町)
 - ▶参加型学習による家庭教育支援研修会
つながる広場「かごスマイル」
 - ▶家庭教育支援員研修会(鹿児島市、奄美市)
 - ▶家庭教育支援モデル市町村への助成(家庭教育アドバイザー設置を含む)
 - ▶広報・啓発資料の作成・配布
 - ▶家庭教育支援キャラバン「親子すくすくフェスタ」の実施(霧島市)



③ 家庭教育支援の充実

(社会教育課・義務教育課・高校教育課・教育DX推進室・青少年男女共同参画課・子ども福祉課)

【令和8年度予算額 34,454千円】

家庭教育支援の充実

地域ぐるみの家庭教育支援

家庭

連携・協働

市町村

保健福祉関係機関

学校

地域

企業

地域ぐるみで子育てを支援する基盤の整備

- 家庭教育支援員等の人材養成及び活用
- 学習機会の提供
- 情報提供
- 相談体制の整備
- 「家庭の日」の取組

家庭教育支援の気運の醸成

県教育委員会の取組

<地域で支える家庭教育推進事業>

- ・ 推進体制の整備
- ・ 家庭教育に関する学習機会の提供
- ・ 家庭教育支援に関する人材の養成・活動の場の創出
- ・ 関係者の連携した家庭教育支援活動の推進
- ・ 家庭教育に関する広報・啓発
- ・ 家庭教育について企業の理解促進

<幼児教育の充実>

- ・ 保育技術協議会
- ・ 幼稚園・小学校教育課程研究協議会

<家庭学習マイゴールチャレンジの推進>

- ・ 学校と家庭が連携し、児童生徒の学習習慣を身につける取組

<道徳教育総合支援事業>

- ・ 心の教育振興会議
- ・ 道徳教育フォーラム

<いじめ、不登校、情報モラル等についての広報・啓発>

<郷土に学び・育む青少年運動>

<家庭児童相談室設置事業>

背景

家庭を取り巻く環境の変化

共働き家庭の増加

ひとり親家庭の増加

身近に相談相手がいない状況

地域社会のつながりの希薄化

保護者の孤立

V 生涯を通して学び活躍できる環境づくりとスポーツ・文化の振興

① 生涯学習環境の充実

- 障害の有無にかかわらず、県民の誰もが、生涯にわたって学び続けられる環境づくりに取り組みます。
- 「鹿児島県読書バリアフリー計画」に基づき、視覚障害者等による図書館の利用に係る体制の整備やインターネットを利用したサービスを提供できるよう体制づくりに努めます。
- 市町村等におけるICT機器等を有効に活用できる指導者等を養成するとともに、デジタルデバイス解消に向けたデジタル人材の育成を通じて、ICT機器等を活用した生涯学習を推進します。
- 大学等との連携を更に充実させ、県民の多様化・高度化するニーズや現代的課題に対応した学習機会の提供を図るとともに、地域社会において学習成果を幅広く活用できる体制づくりに取り組みます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○学習機会提供事業 ▶生涯学習県民大学講座 ▶メディア研修講座 ○かごしま県民大学連携講座 ▶大学等とかごしま県民大学中央センターの連携講座 ○郷土教育推進事業 ▶かごしま青年塾運営事業(再掲)→p.74 ○かごしま県民大学中央センター大学等連携懇談会	2,885 — —	社会教育課 〃 〃
○県立図書館「海音寺潮五郎記念事業」 ▶海音寺潮五郎記念文化講演会 ○県立奄美図書館「あまみならでは学舎」 ▶奄美地域における郷土の学習資源を生かした講座 ○青少年社会教育施設における生涯学習環境の提供	6,119 — —	〃 〃 〃
施策予算額計	11,236	

【主な事業】

- **学習機会提供事業(2,885千円)**
 市町村や大学等と連携して、現代的課題や市町村が抱える課題を解決するための学習機会を提供することにより、市町村の実情に即した生涯学習の振興を支援する。
 ▶生涯学習県民大学講座(26講座)
 ▶メディア研修講座
- **県立図書館「海音寺潮五郎記念事業」(6,119千円)**
 海音寺潮五郎の文業をたたえその功績を後代に伝えるとともに、本県文化振興のための講演会や文芸ゼミナールなど、学習機会の提供を図る。
 ▶海音寺潮五郎文庫の充実
 ▶海音寺潮五郎記念文化講演会の開催
 ▶海音寺潮五郎記念文芸ゼミナールの実施
 ▶貴重資料等のデジタル化



生涯学習社会の実現

～人生100年時代を見据え、全ての人のウェルビーイングの実現～

[県教育委員会の取組]

かごしま県民大学中央センター

- 学習機会提供事業
 - ・生涯学習県民大学講座
市町村・大学等と連携した現代的課題等の解決に資する講座の実施
 - ・メディア研修講座
社会教育関係者対象の講座の実施
- かごしま県民大学連携講座
 - ・大学等とかごしま県民大学中央センターの連携講座
- 郷土教育推進事業
 - ・かごしま青年塾運営事業
郷土の発展を支えようとする人材の育成
- かごしま県民大学中央センター大学等連携懇談会

県立図書館・県立奄美図書館等

- 県立図書館
 - ・「海音寺潮五郎記念文化講演会」等の実施
- 県立奄美図書館
 - ・「あまみならでは学舎」等の実施
- 青少年社会教育施設における生涯学習環境の提供

社会教育課

- 公民館活動の支援
- 鹿児島県読書バリアフリー計画の周知・啓発

障害の有無にかかわらず、県民の誰もが、生涯にわたって学び続けられる環境づくり

障害者の
生涯学習の充実

県読書バリアフリー
計画に基づく図書館
の利用体制の整備等

デジタル人材の
育成

多様化・高度化する
ニーズ等に対応した
学習機会の提供

背景・課題

生涯学び、活躍できる環境
を整備する必要性

障害者の生涯学習の充実に
向けた、学習機会の提供や学
習環境の整備を図る必要性

大学や市町村と連携した学
習機会の提供、学習情報の提
供の必要性

② 生涯スポーツの推進

- 県民の誰もが、いつでも、どこでも、だれでもそれぞれの関心や適性に応じて、生涯にわたって主体的・継続的にスポーツ・レクリエーションに親しむことは、体力の向上や健康の保持増進はもとより、明るく豊かで活力のある生活の実現につながることから生涯スポーツの推進を図ります。
- 「する」「みる」「ささえる」など多様化する県民のスポーツに関するニーズに適切に応え、県民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備します。
- 市町村や公益財団法人鹿児島県スポーツ協会をはじめとする各関係団体と連携・協働して取り組みます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○第2期マイライフ・マイスポーツ運動推進事業	7,211	保健体育課
○社会体育指導事業	611	〃
▶スポーツ推進審議会 ほか		
○スポーツに関する情報提供及び相談	—	〃
○社会体育団体育成事業	13,522	〃
○社会体育大会等補助事業	545	〃
○国民スポーツ大会等補助事業(県民スポーツ大会)	9,594	〃
○県体育施設等管理運営事業	298,484	〃
▶指定管理者による管理運営(鴨池陸上競技場等及び県立サッカー・ラグビー場の運動施設等)		
○総合体育センター管理運営事業	39,428	保健体育課
▶運動施設を総合的かつ効率的に活用するための施設設備の整備及び維持管理		〃
○鴨池公園・鴨池緑地公園長寿命化対策事業	132,640	〃
○市町村立社会体育施設の整備促進	—	〃
○障害者スポーツ振興事業	6,904	※障害福祉課
施策予算額計	508,939	

【主な事業】

- 第2期マイライフ・マイスポーツ運動推進事業
(7,211千円)

県民の誰もが、それぞれの関心や適性に応じて主体的・継続的にスポーツ・レクリエーション活動に親しみ、スポーツの楽しさや感動を味わい、生涯にわたって健康で活力ある生活の実現を推進する。

- ▶スポーツ・レクリエーション「フェスティバル」の開催



② 生涯スポーツの推進（保健体育課・障害福祉課）

【令和8年度予算額 508,939千円】

～ 「第2期マイライフ・マイスポーツ運動」 ～

県民の誰もが

- それぞれの関心や適性に応じて主体的・継続的にスポーツ・レクリエーション活動に親しむ。
- スポーツの楽しさや感動を味わい、生涯にわたって健康で活力ある生活を実現することを目指す。

数値目標

指 標	中間目標値（令和9年度）	目標値（令和14年度）
成人の週1回以上のスポーツ実施率が70%	60.0%	70.0%

すべての県民の参加
（幼児から高齢者、障害者まで）

総合型地域スポーツクラブ

～地域における生涯スポーツ活動の拠点～

総合型地域スポーツクラブとはスポーツ活動をとおして地域づくりを図り、地域の日常的なスポーツ活動の場として、地域の住民自ら主体となって運営するスポーツクラブ

県スポーツ協会

- 総合型地域スポーツクラブ育成・支援
 - ・スポーツ振興くじ助成に関する支援業務
 - ・クラブアドバイザーの配置
 - ・総合型地域スポーツクラブの巡回指導
 - ・未育成市町村への総合型地域スポーツクラブ普及・啓発
 - ・クラブ登録・認証制度の推進

県総合体育センター

- 広域スポーツセンター事業の推進
 - ・クラブの育成・充実のための支援
 - ・総合型地域スポーツクラブ及び市町村への設立支援
 - ・認定クラブ制度の普及・啓発
- クラブ運営のための指導者養成
- スポーツ・レクリエーション「フェスティバル」の開催
 - ・モデルイベントの開催
- スポーツ・レクリエーション活動の支援
 - ・県民のニーズや相談に応じた情報の提供

市町村及び教育委員

- 運動の普及・啓発
- 体育施設開放の推進
- 総合型地域スポーツクラブの設立・育成、質の向上
- 地域スポーツ団体等の連携・協働

スポーツ推進委員の指導・助言・調整

保健体育課

- マイライフ・マイスポーツ運動の普及・啓発
 - ・県ホームページや広報誌等の活用
 - ・各種イベントや会議等における啓発
 - ・関係機関と連携したパラスポーツの普及
- マイライフ・マイスポーツ運動の推進と充実
 - ・地域スポーツ環境の構築
 - ・総合型地域スポーツクラブの体制強化と活用
 - ・市町村やスポーツ少年団、競技団体等との連携
- 体育・スポーツ施設の有効活用
 - ・県立学校体育施設開放事業
 - ・人材の養成及び有効活用
 - ・各種研修会等におけるスポーツ指導者の資質向上
- マイライフ・マイスポーツ運動の推進体制の充実
 - ・関係団体・他部局との連携
 - ・進捗状況と検証と方針の見直し

※ 関連する主な事業

- 社会体育指導事業
- 社会体育団体育成事業
- 社会体育大会等補助事業
- 国民スポーツ大会等補助事業（県民スポーツ大会）
- 県体育施設及び総合体育センター管理運営事業
- 障害者スポーツ振興事業

③ 競技スポーツの推進

- 「燃ゆる感動かごしま国体」で高められた競技力の維持・定着に努め、これまでに築いてきた中央競技団体とのつながりを生かし、国際大会や国民スポーツ大会等で活躍できる選手や団体の重点的な強化を図ります。
- 各競技団体や関係機関と連携を図りながら、県民のスポーツに関する意識の高揚や競技団体組織の活性化などに努めるとともに、育成・強化されたアスリートが競技生活終了後に指導者として県内の次世代アスリートを育成する競技力向上の長期的な好循環を生み出すために、競技力向上の土台となる組織と環境を充実させ、アスリートの発掘・育成・強化と指導者の資質向上を推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○競技スポーツ強化対策事業	93,230	保健体育課
○地域に根ざしたスポーツ振興事業	3,000	〃
○国民スポーツ大会等補助事業(国民スポーツ大会)	170,111	〃
▶国民スポーツ大会第46回九州ブロック大会		
前期 鹿児島県・熊本県・佐賀県 5月24日～7月26日 14競技		
後期 鹿児島県 8月21日～8月30日 17競技		
冬季 福岡県(アイスホッケー) 12月5日～12月6日 1競技		
▶第80回国民スポーツ大会		
会期前Ⅰ 青森県 9月3日～9月13日 12競技		
会期前Ⅱ 青森県 10月2日～10月7日 2競技		
本会期 青森県 10月10日～10月19日 26競技		
▶第81回国民スポーツ大会		
冬季 山梨県・岐阜県(スケート) 2月5日～2月10日 1競技		
神奈川県(アイスホッケー) 1月31日～2月4日 1競技		
岩手県(スキー) 2月18日～2月21日 1競技		
○保健体育管理運営事業	1,329	保健体育課
▶知事表彰「スポーツ部門」など		
施策予算額計	267,670	

【主な事業】

- 競技スポーツ強化対策事業(93,230千円)
令和8年度競技スポーツ強化対策事業を推進し、本県の競技力向上を図る。
▶計画的な県内外強化合宿及び強化練習の推進 など



【主な事業】

- 地域に根ざしたスポーツ振興事業(3,000千円)
「かごしま国体」を契機に地域に根ざしたスポーツの振興を図る。
▶県内市町村が実施するスポーツ振興に資する事業に対して、対象経費を助成する。



③ 競技スポーツの推進（保健体育課）

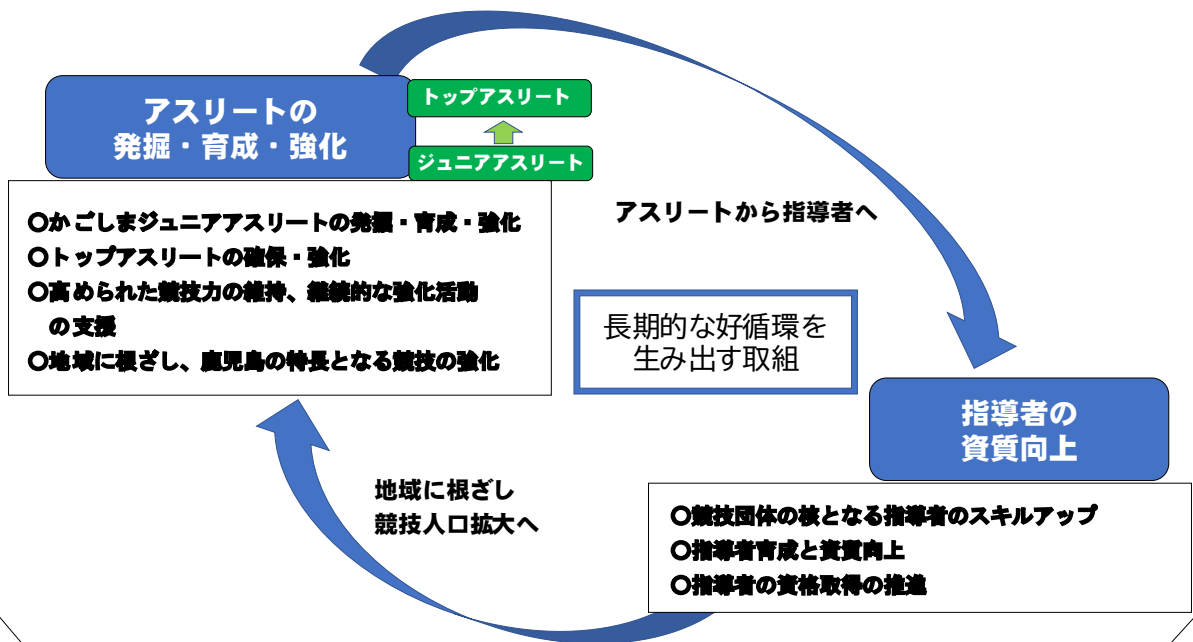
【令和8年度予算額 267,670千円】

競技力の向上によるスポーツの振興

- 「かごしま国体」の成果を引き継ぎ、競技水準を維持し、競技力向上対策を継続する。
- 全国さらには世界の舞台で活躍できる人材を育成する取組を推進する。
- 地域に根ざした競技の強化により、地域住民との一体感・連帯感を醸成する。

推進のイメージ図

「かごしま国体」で得られた成果を次世代へ継承する。育成・強化されたアスリートが各大会等で活躍し、その後指導者として次世代アスリートを育成する競技力向上の長期的な好循環を生み出すため、各競技団体等と連携をとりながら、競技力向上の土台となる組織と環境を充実させ、アスリートの発掘・育成・強化と指導者の資質向上を推進してい



競技力向上の土台となる組織と環境

競技団体組織の更なる充実

- 競技団体組織の更なる充実、指導体制への支援
- 競技団体のガバナンス構築とコンプライアンスの徹底
- 競技団体へのスポーツ医・科学面からのサポート

競技力向上のための環境整備

- 鹿児島体育大学と連携したスポーツパフォーマンスの向上
- コンディショニングサポートの充実
- 特殊競技の基盤整備対策
- アスリートの就職支援
- スポーツに対する意識の高揚
- 団体を契機とした開催市町、強化拠点との連携強化

【関連する事業】

- 競技スポーツ強化対策事業
- 国民スポーツ大会等補助事業
- 地域に根ざしたスポーツ振興事業
- 保健体育管理運営事業

④ 文化芸術活動の促進と鑑賞機会の充実

- 全ての県民が、年齢、障害の有無、経済的な状況又は居住する地域にかかわらず、生涯にわたって継続的に文化芸術を創造し、享受することができるよう、県民の創造活動への支援や環境整備に努めます。
- 文化芸術の振興を支える人材を育成するため、研修の充実や人材情報の提供等に努めます。
- 文化芸術を通して、国内外との交流促進と情報発信に努めます。
- 学校における文化芸術活動を充実するとともに、子供が文化芸術に触れる機会を拡充するなど、文化芸術に関する教育を推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○青少年のための芸術鑑賞事業	2,978	※文化振興課
○霧島国際音楽祭運営事業	39,349	〃
▶第47回霧島国際音楽祭(7月24日～8月9日予定)の開催		
○文化芸術交流促進事業	4,185	〃
▶海外の文化芸術団体等との交流の促進(香港)		
新文化芸術ステップアップ支援事業	10,847	〃
新文化芸術情報発信事業	300	〃
○ほこらしや奄美音楽祭開催事業(再掲)→p.87	5,924	〃
○かごしま文化芸術活動促進事業	1,025	〃
▶県文化協会が開催する「県民文化フェスタ」に係る支援		
○文化センター活性化事業	165,892	〃
▶宝山ホール(県文化センター)において、優れた音楽、演劇等の公演などを実施		
○みやまコンセール活性化事業	150,910	〃
▶みやまコンセールにおいて、優れた演奏家によるコンサートや音楽鑑賞のためのレクチャーコンサートなどを実施		
○霧島アートの森活性化事業	126,400	〃
▶霧島アートの森において、常設展をはじめ、特別企画展や作品鑑賞プログラムなどを実施		
○文化芸術に親しむ月間	—	〃
▶11月の「文化芸術に親しむ月間」において、市町村、文化芸術団体等との連携による鑑賞機会などの提供		
○「鹿児島県方言週間」普及啓発事業(再掲)→p.87	—	〃
○「県民の日7.14」記念事業(再掲)→p.87	802	〃
○県美展の開催	—	〃
○各種文化行事等の後援	—	〃
○障害者芸術文化活動普及支援事業	6,004	※障害福祉課
▶障害者芸術文化活動支援センターにおいて、障害者の芸術文化活動を支援		
○「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進事業(再掲)→p.28	5,069	保健体育課
▶武道及びダンスの指導の充実		
施策予算額計	519,685	

【主な事業】

- 青少年のための芸術鑑賞事業(2,978千円)
県内の小中学校や特別支援学校の児童・生徒に対して優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供する。
- ▶分野 音楽(器楽又は声楽(それぞれに邦楽を含む。))
舞踊(バレエ及び日本舞踊)
- ▶5月から7月にかけて公演を実施(9回程度)



⑤ 地域文化の継承・発展と地域づくりへの活用

- 郷土芸能や伝統行事、方言、史跡など、県内各地の個性豊かな地域文化の保存・継承を図るとともに、観光、まちづくりなど関連施策との連携により、地域の個性を生かした地域づくりを推進します。
- 学校において伝統文化に接する機会を充実します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○かごしま地域伝統芸能ミュージアム ▶県内各市町村の伝統芸能に関する情報の発信	—	※文化振興課
○かごしま文化芸術活動促進事業(再掲)→p. 86	1,025	〃
○文化芸術に親しむ月間(再掲)→p. 86	—	〃
○「鹿児島県方言週間」普及啓発事業 ▶11月第3週の「鹿児島県方言週間」において、方言の保存継承に向けた広報活動や、方言に関するイベント等の情報発信を実施	—	〃
○「県民の日7. 14」記念事業 ▶7月14日の「県民の日」において、郷土の歴史や文化など郷土に対する理解と関心を深めるための取組を実施	802	〃
○各種文化行事等の後援(再掲)→p. 86	—	〃
○黎明館常設展示運営事業 ▶展示、企画展、講演会等の開催	27,134	〃
○黎明館企画展示事業 ▶企画特別展などの開催や令和9年度の企画特別展西南戦争150年開催に向けたPR映像等企画制作を実施	17,899	〃
新 鹿児島城跡を親しみ、楽しみ、学ぶ事業	7,726	〃
新 西南戦争150年「西南戦争を学び直す」事業	9,676	〃
○ほこらしや奄美音楽祭開催事業 ▶ほこらしや奄美音楽祭の開催	5,924	〃
施策予算額計	62,232	

【主な事業】

新 鹿児島城跡を親しみ、楽しみ、学ぶ事業

(7,726千円)

県民の文化的生活の向上や郷土に誇りを持つ心の醸成を図るため、鹿児島城跡で幅広い世代が鹿児島の歴史や文化、自然に「親しみ、楽しみ、学ぶ」イベントを実施する。



新 西南戦争150年「西南戦争を学び直す」事業

(9,676千円)

西南戦争について県民の理解を深めるとともに、西南戦争遺跡について県民及び観光客への周知拡大のため、ガイドブックの作成やシンポジウム及び遺跡ウォークを開催する。



⑥ 文化財の保存・活用

- 郷土にある未指定を含めた文化財の幅広い保護、文化財を生かした郷土に誇りを持つ心の醸成や地域づくりの促進、観光資源としての魅力向上など、文化財を地域のよりどころとして、文化財の保存・活用に地域社会全体で取り組める環境づくりを推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○文化財の保護管理(指定・登録等による保護の推進) ▶ 文化財の管理指定・調査、銃砲刀剣類登録審査 ▶ 県文化財保護審議会の開催及び県文化財保護指導委員の設置	4,865	文化財課
○文化財愛護思想の普及 ▶ 文化財研修講座、九州地区民俗芸能大会(佐賀大会)への参加	1,463	〃
○文化財保護事業の助成	17,683	〃
○埋蔵文化財発掘調査事業	452,845	〃
○かごしまの日本遺産魅力推進事業	13,160	〃
○旧考古資料館保存活用事業	223	〃
○かごしま無形民俗文化財(民俗芸能)伝承活動表彰	—	〃
○学校等における文化財伝承活動情報提供事業	—	〃
○郷土教育推進事業 ▶ 「かごしまの文化財を見る、聞く、ふれる」事業 (一部再掲)→p. 43	551	〃
○「上野原縄文の森」運営事業 ▶ 指定管理者による管理運営, ジョイJOYじょうもん事業等	346,726	〃
新 かごしまの神楽魅力発見事業	5,932	〃
新 守ろう 奄美の天然記念物事業	1,358	〃
新 鹿児島県の近世・近代遺跡総合調査事業	8,627	〃
○博物館活動事業—展示活動・教育普及活動— ▶ 常設展示、企画展、プラネタリウムの投影, 教育支援活動等	2,366	〃
○学ぼう 郷土の自然! 移動博物館事業 ▶ 収蔵品の移動展示	1,163	〃
○埋蔵文化財専門職員養成講座 ▶ 基礎講座・技術研修講座(調査技術)・技術研修講座(調査研究法)	156	〃
○南の縄文文化魅力発信事業	4,582	〃
○かごしま遺跡フォーラム	—	〃
○発掘調査中の遺跡の公開	—	〃
○「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業 ▶ 構成資産の管理保全、小学生向け副読本「かごしまタイムトラベル」の配布等	11,926	※世界文化遺産室
施策予算額計	873,626	

【主な事業】

- 新** かごしまの神楽魅力発見事業(5,932千円)
県内に所在する神楽(神舞)の魅力・価値を発信し、次世代に継承する地域の担い手の確保・育成や、文化・観光資源としての活用促進を図るため、国の重要無形民俗文化財の指定に向けて、県内の神楽(神舞)の調査等を実施する。



文化財を生かした郷土に誇りを持つ心の醸成と 地域社会全体による文化財の保存・活用

- ・文化財の調査・研究
- ・文化財の指定・登録等と保存・継承
- ・文化財に関する財政措置
- ・文化財に係る人材の育成
- ・文化財の活用の推進

- 未指定を含めた文化財の幅広い保護
- 文化財の指定・登録の推進と建造物の活用、史跡整備や民俗芸能の発表機会の提供等による文化財の保存・継承の推進
- 指定文化財等の修理等事業の計画的な推進と助成制度の周知活用
- 文化財の保存・活用に係る県全体の体制強化と外部人材等の活用
- 文化財を活用した地域振興等への取組の実施や、より多くの県民が郷土の文化財に触れ、学び、親しめる機会の充実
- 「明治日本の産業革命遺産」等の次世代への継承

連携



協力

市町村
教育委員会等

県立博物館

- ・郷土の豊かな自然資料の収集・調査・研究
- ・常設展示・企画展の開催や館外での移動展示など自然に親しみ、学べる場の提供

県立埋蔵文化財センター

- ・埋蔵文化財の発掘調査
- ・発掘調査中の遺跡の公開

上野原縄文の森

- ・国指定史跡「上野原遺跡」の公開、保存及び活用
出土品の展示、企画展
縄文の森春・秋まつり
考古学講座、体験活動
- ・ボランティアの活用
縄文の森支援友の会など

市町村立歴史民俗資料館など

3 計画の実現に向けた事業概要

1 開かれた教育行政の推進

(1) 教育委員会の会議の公開等

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(地教行法)の規定に基づき、教育委員会の会議を原則公開するとともに、会議の開催日時や議決事項等を公表します。また、各種審議会等についても情報公開条例に則り、会議の公開に努め、開かれた教育行政を推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○移動教育委員会の開催 ▶ 鹿児島市以外の地域 年1回	13	総務福利課
○教育委員と地域住民等との意見交換会の実施 ▶ 移動教育委員会の開催場所又は学校訪問の会場 年1回	—	〃
○教育委員と関係団体との意見交換会の実施 ▶ 教育に関係のある各種団体と教育委員の意見交換 随時	—	〃
○広聴・広報活動の実施 ▶ 県民からの教育行政についての意見、要望等の広聴活動 ▶ ホームページ、広報紙(誌)による広報活動	—	〃
予 算 額 計	13	

(2) 教育委員会の事務の点検・評価

地教行法の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行います。また、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表します。

なお、この点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることで、評価の客観性を確保します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○教育委員会の事務の点検・評価	195	総務福利課
予 算 額 計	195	

2 市町村教育委員会との連携・協力

市町村教育委員会を対象とした会議や各種研修会において、県の施策について理解を図るとともに、協議や意見交換を行い、連携を強化します。

地方分権が進む中、市町村教育委員会には一層の自主性・積極性の発揮が求められており、自主的な取組への助言、支援に取り組みます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○市町村教育委員会との連携強化 ▶ 教育行政説明会、市町村教育長会との意見交換会等の開催	—	総務福利課
○学習機会提供事業(再掲)→p. 80 ▶ 生涯学習県民大学講座	2,885	社会教育課
○社会教育研修事業 ▶ 公民館関係者研修会 年1回 ▶ 社会教育主事等研修会 年1回	255	〃
予 算 額 計	3,140	

3 関係部局・関係機関との連携・協力

現在の多岐にわたる教育課題に対応するためには、知事部局、大学やNPO法人、その他の関係機関との連携・協力が必要です。知事部局とは、食育の推進、特別支援教育、環境教育、文化・芸術の振興、青少年育成などにおいて、担当する部局との連携・協力を図るとともに、大学とは、児童生徒への教育内容や相談体制の充実、教職員の資質向上、生涯学習の推進などにおいて、高度な専門性とその機能を活用した積極的な連携を図ります。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○知事部局との連携 ▶ 高校生とかごしまの今と未来を語る会	395	総務福利課
▶ 教育委員と関係部局との意見交換会の実施	—	〃
▶ 家庭教育支援施策関係課連絡会議の実施	—	社会教育課
▶ かがしまCS・地域学校協働活動関係課連絡会の実施	—	〃
○大学及び他機関との連携 ▶ 鹿児島大学教育学部への職員派遣	—	総務福利課
▶ 県総合教育センターにおける大学や専門機関との連携	—	義務教育課
ア 大学と連携した短期研修講座 34講座 590人		
イ 専門機関と連携した短期研修講座 14講座 195人		
ウ 教員経験年次別等研修事業(中堅教諭等資質向上研修) (再掲)→p. 66		
エ 未来を創る子供を支える生徒指導体制構築プログラム (再掲)→p. 16 13講座 1,300人		
○大学等と連携した生涯学習の推進 ▶ かがしま県民大学連携講座(再掲)→p. 80	—	社会教育課
▶ 放送大学鹿児島学習センターの支援	—	〃
▶ かがしま県民大学中央センター大学等連携懇談会(再掲)→p. 80	41	〃
予 算 額 計	436	

この『令和8年度 教育行政の施策概要』は、

鹿児島県教育委員会ホームページにも掲載しています。

鹿児島県教育委員会ホームページ

(<https://www.pref.kagoshima.jp/kyoiku/>)

ホーム>教育・文化・交流>教育委員会について>教育施策
>教育振興基本計画及び施策概要>令和8年度教育行政の施策概要

令和8年度 教育行政の施策概要

発行日 令和8年3月

発行 鹿児島県教育庁総務福利課

所在地 〒890-8577
鹿児島市鴨池新町10番1号

☎ 099(286)5191

FAX 099(286)5661

地域が育む
「かごしまの教育」県民週間(11月1日~7日)

この機会に、地域の方々にも、ぜひ声をかけていただき、一緒に学校へお出かけください。心からお待ちしています。